

大学番号：060

注3

事前伺い

[平成30年度設置]

計画の区分： 研究科の専攻の設置又は課程の変更  
注1

奈良女子大学大学院 人間文化研究科

注2

## 【事前伺い】設置に係る設置計画履行状況報告書

国立大学法人 奈良女子大学

平成30年5月1日現在

### 作成担当者

担当部局（課）名 総務・企画課

職名・氏名 課長補佐・荒堀 陽子

電話番号 0742-20-3692

（夜間） 0742-20-3692

F A X 0742-20-3205

e-mail hyoka@jim.nara-wu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(◇◇学部(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- ・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- ・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- ・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- ・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- ・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 大学番号の欄については、平成29年3月31日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。



# 目次

## 人間文化研究科

<人間科学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	5
2. 授業科目の概要	9
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	15
5. 教員組織の状況	17
6. 留意事項等に対する履行状況等	26
7. その他全般的事項	27

<心身健康学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	29
2. 授業科目の概要	33
3. 施設・設備の整備状況、経費	37
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	38
5. 教員組織の状況	40
6. 留意事項等に対する履行状況等	48
7. その他全般的事項	49

<情報衣環境学専攻>	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	51
2. 授業科目の概要	55
3. 施設・設備の整備状況、経費	59
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	60
5. 教員組織の状況	62
6. 留意事項等に対する履行状況等	69
7. その他全般的事項	70

＜数物科学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	73
2. 授業科目の概要	77
3. 施設・設備の整備状況、経費	82
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	83
5. 教員組織の状況	85
6. 留意事項等に対する履行状況等	97
7. その他全般的事項	98

＜化学生物環境学専攻＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	101
2. 授業科目の概要	105
3. 施設・設備の整備状況、経費	115
4. AC対象学部等を含む大学等の状況	116
5. 教員組織の状況	118
6. 留意事項等に対する履行状況等	143
7. その他全般的事項	144

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 奈良女子大学

## (2) 大学名

奈良女子大学

## (3) 大学の位置

〒630-8506

奈良県奈良市北魚屋西町（奈良県奈良市北魚屋東町）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(イマオカ ハルキ) 今岡 春樹 (平成29年4月)		
研究科長	(タカダ マサシ) 高田 将志 (平成29年4月)		
専攻長	(クヌギ トシオ) 功刀 俊雄 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
人間文化研究科 人間科学専攻 (博士前期課程) 修士(文学) 修士(学術)	文学関係 教育学・保育学 関係	2年	12人	24人	基礎となる学部等  文学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	12 ( - ) [ - ]		( ) ( ) [ ]	0.83 倍				
志願者数	11 ( 2 ) [ 2 ]	( ) ( ) [ ]						
受験者数	11 ( 2 ) [ 2 ]	( ) ( ) [ ]						
合格者数	10 ( 2 ) [ 1 ]	( ) ( ) [ ]						
B 入学者数	10 ( 2 ) [ 1 ]	( ) ( ) [ ]						
入学定員超過率 B/A	0.83							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成30年度		平成31年度				備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	10 [ 1 ] ( - )	[ ] ( )					
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
計	10 [ 1 ] ( - )	[ ] ( )					

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数で**記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	10人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
合計	10人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0.00} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\phantom{0.00}} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<人間文化研究科 人間科学専攻>

### (1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目群	研究倫理	1・2前	1			1						兼4 兼4
	学びをつむぐⅠ	1前	1			1						
	学びをつむぐⅡ	2通	1			1						
	アクティブ・ゼミナール	1・2後	1			1						
専門群 教育学・人間学コース	哲学思想史特論	1・2前	2			1						兼1 兼1 兼1 兼1
	哲学思想史演習	1・2後	2			1						
	倫理学特論	1・2前	2			1						
	倫理学演習	1・2後	2			1						
	教育人間学特論A	1・2前	2				1					
	教育人間学演習A	1・2後	2				1					
	教育人間学特論B	1・2前	2				1					
	教育人間学演習B	1・2後	2				1					
	教育史特論	1・2前	2									
	教育史演習A	1・2後	2									
	教育史演習B	1・2後	2									
	子ども史特論	1・2前	2									
	教育社会学特論A	1・2後	2				1					
	教育社会学演習A	1・2後	2				1					
	教育社会学特論B	1・2後	2				1					
	教育社会学演習B	1・2後	2				1					
	音楽教育学特論	1・2前	2				1					
	音楽教育学演習	1・2後	2				1					
	音楽と子ども特論	1・2前	2				1					
	音楽と子ども演習	1・2前	2				1					
	身体文化学特論A	1・2前	2				1					
	身体文化学演習A	1・2前	2				1					
身体文化学特論B	1・2前	2				1						
身体文化学演習B	1・2前	2				1						
生活と社会特論	1・2前	2				1						
身体文化史特論A	1・2前	2				1						
身体文化史演習A	1・2後	2				1						
身体文化史特論B	1・2前	2				1						
身体文化史演習B	1・2後	2				1						
専門群 心理学コース	認知心理学特論	1・2前	2				1					兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	認知心理学演習	1・2前	2				1					
	認知学習心理学特論	1・2後	2				1					
	認知学習心理学演習	1・2後	2				1					
	発達臨床学特論	1・2前	2				1					
	発達臨床心理学演習	1・2後	2				1					
	発達支援特論	1・2後	2				1					
	発達心理学演習	1・2前	2				1					
	対人心理学特論	1・2前	2				1					
	対人心理学演習	1・2前	2				1					
	社会心理学特論	1・2後	2				1					
	社会心理学演習	1・2後	2				1					
	教育心理学特論	1・2後	2				1					
	教育心理学演習	1・2後	2				1					
	子ども心理学特論	1・2前	2				1					
	子ども心理学演習	1・2前	2				1					
	発達心理学特論A	1・2前	2					1				
発達心理学特論B	1・2後	2					1					
生涯発達心理学特論	1・2前	2						1				
人間関係学特論	1・2後	2							1			
人格心理学特論	1・2前	2								1		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目群	研究倫理	1・2前	1									兼1 兼6 兼5 兼1
	学びをつむぐⅠ	1後	1									
	学びをつむぐⅡ	2通	1									
	アクティブ・ゼミナール	1・2後	1									
専門群 教育学・人間学コース	哲学思想史特論	1・2前	2				1					兼1 兼1 兼1 兼1
	哲学思想史演習	1・2後	2				1					
	倫理学特論	1・2前	2				1					
	倫理学演習	1・2後	2				1					
	教育人間学特論A	1・2前	2					1				
	教育人間学演習A	1・2後	2					1				
	教育人間学特論B	1・2前	2					1				
	教育人間学演習B	1・2後	2					1				
	教育史特論	1・2前	2									
	教育史演習A	1・2後	2									
	教育史演習B	1・2後	2									
	子ども史特論	1・2前	2									
	教育社会学特論A	1・2後	2					1				
	教育社会学演習A	1・2後	2					1				
	教育社会学特論B	1・2後	2					1				
	教育社会学演習B	1・2後	2					1				
	音楽教育学特論	1・2前	2					1				
	音楽教育学演習	1・2後	2					1				
	音楽と子ども特論	1・2前	2					1				
	音楽と子ども演習	1・2前	2					1				
	身体文化学特論A	1・2前	2					1				
	身体文化学演習A	1・2前	2					1				
身体文化学特論B	1・2前	2					1					
身体文化学演習B	1・2前	2					1					
生活と社会特論	1・2前	2						1				
身体文化史特論A	1・2前	2					1					
身体文化史演習A	1・2後	2					1					
身体文化史特論B	1・2前	2					1					
身体文化史演習B	1・2後	2					1					
専門群 心理学コース	認知心理学特論	1・2前	2					1				兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1 兼1
	認知心理学演習	1・2前	2					1				
	認知学習心理学特論	1・2後	2					1				
	認知学習心理学演習	1・2後	2					1				
	発達臨床学特論	1・2前	2						1			
	発達臨床心理学演習	1・2後	2						1			
	発達支援特論	1・2後	2						1			
	発達心理学演習	1・2前	2						1			
	対人心理学特論	1・2前	2					1				
	対人心理学演習	1・2前	2					1				
	社会心理学特論	1・2後	2					1				
	社会心理学演習	1・2後	2					1				
	教育心理学特論	1・2後	2						1			
	教育心理学演習	1・2後	2						1			
	子ども心理学特論	1・2前	2							1		
	子ども心理学演習	1・2前	2							1		
	発達心理学特論A	1・2前	2								1	
発達心理学特論B	1・2後	2								1		
生涯発達心理学特論	1・2前	2							1			
人間関係学特論	1・2後	2							1			
人格心理学特論	1・2前	2								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門群 心理学コース	臨床心理学特論	1・2後	2								兼1
	心理学研究法演習	1・2前	2			1					
	心理学データ解析法演習	1・2前	2			1					
	心理実践実習Ⅰ	1通	2			1	3				
	心理実践実習Ⅱ	2通	2			1	3				
実践群	実践スキルゼミナール（心理学）	1・2前	1								兼1
キャリア形成群	専門応用英語プレゼンテーション演習	1・2後	2								兼1
	女性専門職キャリア論	1・2前	2								兼1
	インターンシップ実習	1・2前	1								兼1
	インターンシップ専門実習	1・2通	1								兼1
	Study of Nara	1・2前	1								兼1
DD科目群	Japanese History	1・2後	1								兼1
	Contemporary Japanese Religion	1・2後	1								兼1
	Japanese Pop Culture	1・2前	1								兼1
	Tradition in Modern Society	1・2後	1								兼1
	Tourism and Religion	1・2前	1								兼1
	Traditional Architecture in Nara and Kyoto	1・2前	1								兼1
	Architectural and Environmental Engineering in Japan	1・2後	1								兼1
	Cloth and Culture in Japan	1・2前	1								兼1
	Women in Japan	1・2前	1								兼1
	Gender in Asia	1・2後	1								兼1
	Human Relations and Food, Life in Various Cultures	1・2後	1								兼1
	日本文学史特論A	1・2後	2								兼1
	日本文学史特論B	1・2前	2								兼1
	日本語学特論	1・2後	2								兼1
	日本語文化特論	1・2前	2								兼1
日本文化学特論A	1・2前	2								兼1	
日本文化学特論B	1・2後	2								兼1	
日本文化学特論C	1・2前	2								兼1	
論文等作成群	演習指導Ⅰ	1・2前	2			3	7				
	演習指導Ⅱ	1・2後	2			3	7				
	Tutorial I	1・2前	2			3	7				
	Tutorial II	1・2後	2			3	7				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門群 心理学コース	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	1・2後	2								兼1
	福祉分野に関する理論と支援の展開	1・2前	2								兼1
	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践	1・2前	2								兼1
	心理支援に関する理論と実践	1・2後	2								兼1
	心理学研究法演習	1・2前	2			2	1				
	心理学データ解析法演習	1・2前	2			2	1				
実践群	心理実践実習Ⅰ	1通	2			2	1				
	心理実践実習Ⅱ	2通	2			2	1				
実践群	心理的アセスメントに関する理論と実践	1・2前	2								兼1
キャリア形成群	専門応用英語プレゼンテーション演習	1・2後	2								兼1
	女性専門職キャリア論	1・2前	2								兼1
	インターンシップ実習	1・2前	1			1					兼1
	インターンシップ専門実習	1・2通	1			1					兼1
	Study of Nara	1・2前	1								兼1
DD科目群	Japanese History	1・2後	1								兼2
	Contemporary Japanese Religion	1・2後	1								兼2
	Japanese Pop Culture	1・2前	1				1				兼1
	Tradition in Modern Society	1・2後	1								兼2
	Tourism and Religion	1・2前	1								兼2
	Traditional Architecture in Nara and Kyoto	1・2前	1								兼2
	Architectural and Environmental Engineering in Japan	1・2後	1								兼3
	Cloth and Culture in Japan	1・2前	1								兼1
	Women in Japan	1・2前	1								兼1
	Gender in Asia	1・2後	1								兼1
	Human Relations and Food, Life in Various Cultures	1・2後	1								兼2
	日本文学史特論A	1・2後	2								兼1
	日本文学史特論B	1・2前	2								兼1
	日本語学特論	1・2後	2								兼1
	日本語文化特論	1・2前	2								兼1
日本文化学特論A	1・2前	2								兼1	
日本文化学特論B	1・2後	2								兼1	
日本文化学特論C	1・2前	2								兼1	
論文等作成群	演習指導Ⅰ	1・2前	2			4	5				
	演習指導Ⅱ	1・2後	2			4	5				
	Tutorial I	1・2前	2			4	5				
	Tutorial II	1・2後	2			4	5				

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。  
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

<ul style="list-style-type: none"> <li>・「研究倫理」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。</li> <li>・教養科目においては、より専門分野を超えてものごとを俯瞰する力を培うため、「学びをつむぐⅠ」の専任教員等の配置及び配当年次を「准教授1、兼任4」から「兼任5、兼任1」に変更。</li> <li>・教養科目においては、より専門分野を超えてものごとを俯瞰する力を培うため、「学びをつむぐⅡ」の専任教員等の配置を「准教授1、兼任4」から「兼任5」に変更。</li> <li>・教養科目においては、より専門分野を超えてものごとを俯瞰する力を培うため、「アクティブ・ゼミナール」の専任教員等の配置を「教授1」から「兼任1」に変更。</li> <li>・授業内容の充実をはかるため、「教育人間学特論A」の専任教員等の配置を「准教授1」から「准教授1、兼任1」に変更。</li> <li>・専任教員の昇任により、「認知心理学特論」「認知心理学演習」「認知学習心理学特論」「認知学習心理学演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。</li> <li>・専任教員の就任辞退に伴う兼任講師への担当変えにより、「教育心理学特論」「教育心理学演習」「子ども心理学特論」「子ども心理学演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「兼任1」に変更。</li> <li>・授業内容の充実をはかるため、「生涯発達心理学特論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1」に変更。</li> <li>・授業内容の充実をはかるため、「人間関係学特論」、「人格心理学特論」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に、「インターンシップ実習」、「インターンシップ専門実習」の専任教員等の配置を「兼任1」から「教授1」に変更。</li> <li>・授業内容の充実をはかるため、「心理学研究法演習」、「心理学データ解析法演習」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授2、准教授1」に変更。</li> <li>・専任教員の昇任及び就任辞退により、「心理実践実習Ⅰ」、「心理実践実習Ⅱ」の専任教員等の配置を「教授1、准教授3」から「教授2、准教授1」に変更。</li> <li>・公認心理師に対応するため、「福祉分野に関する理論と支援の展開」、「家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践」、「心理支援に関する理論と実践」を追加。</li> <li>・公認心理師に対応するため、授業科目の名称を「臨床心理学特論」から「産業・労働分野に関する理論と支援の展開」に変更。また、同理由で授業科目の名称を「実践スキルゼミナール(心理学)」から「心理的アセスメントに関する理論と実践」に変更し、単位数を1から2に変更。</li> <li>・専任教員の昇任及び辞職により、「演習指導Ⅰ」、「演習指導Ⅱ」、「TutorialⅠ」、「TutorialⅡ」の専任教員等の配置を「教授3、准教授7」から「教授4、准教授5」に変更。</li> <li>・授業内容を充実させるため、「Japanese History」、「Contemporary Japanese Religion」、「Tradition in Modern Society」、「Tourism and Religion」、「Traditional Architecture in Nara and Kyoto」、「Human Relations and Food, Life in Various Cultures」の専任教員等の配置を「兼任1」から「兼任2」に変更。</li> <li>・授業内容を充実させるため、「Japanese Pop Culture」の専任教員等の配置を「兼任1」から「准教授1、兼任1」に変更。</li> <li>・授業内容を充実させるため、「Architectural and Environmental Engineering in Japan」の専任教員等の配置を「兼任1」から「兼任3」に変更。</li> </ul>
--

- (注) ・ 変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
2 科目	86 科目	0 科目	88 科目	2 科目 [ 0 ]	89 科目 [ 3 ]	0 科目 [ 0 ]	91 科目 [ 3 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり, 何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 教職大学院の場合は, 「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{88} = \boxed{0.00}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで表示されます。  
 ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体  その他には附属学校等 敷地を含む。			
	校舎敷地	66,081㎡	0㎡	0㎡	66,081㎡				
	運動場用地	10,179㎡	0㎡	0㎡	10,179㎡				
	小 計	76,260㎡	0㎡	0㎡	76,260㎡				
	そ の 他	104,050㎡	0㎡	0㎡	104,050㎡				
	合 計	180,310㎡	0㎡	0㎡	180,310㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		59,605㎡ ( 59,605㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	59,605㎡ ( 59,605㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	他に、大学全体の共用 教室を利用。		
		0室	0室	5室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		大学院人間文化研究科人間科学専攻			9 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	専攻単位での特定が不 能なため、大学全体の 数	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					
		冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
		大学院 人間文化研究科 人間科学専攻	585,332[160,100] (585,332[160,100])	20,657[6,936] (20,657[6,936])	3,875[3,875] (3,875[3,875])	11,015 (11,015)	1,466 (1,466)		162 (162)
計	585,332[160,100] (585,332[160,100])	20,657[6,936] (20,657[6,936])	3,875[3,875] (3,875[3,875])	11,015 (11,015)	1,466 (1,466)	162 (162)			
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		4,523㎡		154	488,253				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
		1,822㎡		テニスコート3面		弓道場			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当たり研究費等	—	—	図書購入費	—	—	—	
		共同研究費等	—	—	設備購入費	—	—	—	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
			—	—	—	—	—		
学生納付金以外の維持方法の概要			—						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	奈良女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<学部>									
文学部							昭和24年度	奈良県奈良市北魚屋西町	
人文社会学科	4	60		240	学士(文学)	一括募集	平成7年度		
言語文化学科	4	50		200	学士(文学)	1.11	平成7年度		
人間科学科	4	40		160	学士(文学)		平成7年度		
(学部共通)			3年次 16	32					
理学部							昭和28年度	奈良県奈良市北魚屋西町	
数物科学科	4	63		252	学士(理学)	1.21	平成26年度		
化学生物環境学科	4	87		348	学士(理学)	1.19	平成26年度		
数学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	昭和28年度		平成26年度から学生募集停止
物理科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	平成8年度		平成26年度から学生募集停止
化学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	昭和28年度		平成26年度から学生募集停止
生物科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	平成8年度		平成26年度から学生募集停止
情報科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	平成3年度		平成26年度から学生募集停止
(学部共通)			3年次 10	20					
生活環境学部							平成5年度	奈良県奈良市北魚屋西町	
食物栄養学科	4	35	-	140	学士(生活環境学)	1.12	平成17年度		
心身健康学科	4	40		160	学士(生活健康科学)	1.20	平成26年度		
情報衣環境学科	4	35		140	学士(生活環境学)	1.17	平成26年度		
住環境学科	4	35		140	学士(生活環境学)	1.12	平成18年度		
生活文化学科	4	30		120	学士(生活環境学)	1.14	平成18年度		
生活健康・衣環境学科	4	-	-	-	学士(生活環境学)	-	平成17年度		平成26年度から学生募集停止
(学部共通(食物栄養学科除く))			3年次 14	28					

＜大学院＞							
人間文化研究科						昭和56年度	奈良県奈良市 北魚屋西町
(博士前期課程)							
人文社会学専攻	2	24	-	48	0.60	平成10年度	
言語文化学専攻	2	18	-	36	0.30	平成10年度	
人間科学専攻	2	12		12	0.83	平成30年度	
食物栄養学専攻	2	13	-	26	0.92	平成19年度	
心身健康学専攻	2	22	-	22	0.72	平成30年度	
情報衣環境学専攻	2	10		10	1.00	平成30年度	
生活工学共同専攻	2	7	-	14	0.78	平成28年度	
住環境学専攻	2	13	-	26	1.19	平成19年度	
生活文化学専攻	2	9	-	18	0.72	平成19年度	
数物科学専攻	2	28	-	28	1.00	平成30年度	
化学生物環境学専攻	2	42	-	42	1.42	平成30年度	
人間行動科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
心身健康学専攻	2	-	-	-	-	平成26年度	平成30年度から学生募集停止
数学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
物理科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
化学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
生物科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
情報科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
(博士後期課程)							
比較文化学専攻	3	10	-	32	0.63	平成11年度	
社会生活環境学専攻	3	15	-	45	0.64	平成15年度	
共生自然科学専攻	3	8	-	31	0.75	平成15年度	
生活工学共同専攻	3	2	-	6	1.16	平成28年度	
複合現象科学専攻	3	3	-	14	0.66	平成15年度	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人間文化研究科 人間科学専攻（博士前期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 担当授業科目名
専	教授	功刀 俊雄 ( ) <平成30年4月> 身体文化史特論A 身体文化史演習A 身体文化史特論B 身体文化史演習B 演習指導I 演習指導II Tutorial I Tutorial II  アクティブ・ゼミナール	専	教授	功刀 俊雄 ( ) <平成30年4月> 身体文化史特論A 身体文化史演習A 身体文化史特論B 身体文化史演習B 演習指導I 演習指導II Tutorial I Tutorial II
			兼任	教授	石崎 研二 ( ) <平成30年4月> アクティブ・ゼミナール
専	教授	柳澤 有吾 ( ) <平成30年4月> 哲学思想史特論 哲学思想史演習 倫理学特論 倫理学演習 演習指導I 演習指導II Tutorial I Tutorial II  研究倫理	専	教授	柳澤 有吾 ( ) <平成30年4月> 哲学思想史特論 哲学思想史演習 倫理学特論 倫理学演習 演習指導I 演習指導II Tutorial I Tutorial II
			兼任	教授	林 拓也 ( ) <平成30年4月> 研究倫理
専	教授	中山 満子 ( ) <平成30年4月> 対人心理学特論 対人心理学演習 社会心理学特論 社会心理学演習 心理実践実習I 心理実践実習II 演習指導I 演習指導II Tutorial I Tutorial II	専	教授	中山 満子 ( ) <平成30年4月> 対人心理学特論 対人心理学演習 社会心理学特論 社会心理学演習 心理実践実習I 心理実践実習II 演習指導I 演習指導II Tutorial I Tutorial II  心理学研究法演習【隔年】 心理学データ解析法演習【隔年】
兼任	講師	亀島 信也 ( ) <平成30年4月> 人間関係学特論			人間関係学特論
兼任	講師	中間 玲子 ( ) <平成30年4月> 人格心理学特論			人格心理学特論
兼任	教授	松岡 悦子 ( ) <平成30年4月> インターンシップ実習 インターンシップ専門実習			インターンシップ実習 インターンシップ専門実習
専	准教授	伊藤 一也 ( ) <平成30年4月> 教育人間学特論A 教育人間学演習A 教育人間学特論B 教育人間学演習B 演習指導I 演習指導II Tutorial I Tutorial II	専	准教授	伊藤 一也 ( ) <平成30年4月> 教育人間学特論A 教育人間学演習A 教育人間学特論B 教育人間学演習B 演習指導I 演習指導II Tutorial I Tutorial II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	鈴木 康史 ( ) <平成30年4月>	専	准教授	鈴木 康史 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ 身体文化学特論A 身体文化学演習A 身体文化学特論B 身体文化学演習B 生活と社会特論 演習指導Ⅰ 演習指導Ⅱ TutorialⅠ TutorialⅡ			身体文化学特論A 身体文化学演習A 身体文化学特論B 身体文化学演習B 生活と社会特論 演習指導Ⅰ 演習指導Ⅱ TutorialⅠ TutorialⅡ <b>Japanese Pop Culture</b>
専	准教授	保田 卓 ( ) <平成30年4月>	専	准教授	保田 卓 ( ) <平成30年4月>
		教育社会学特論A 教育社会学演習A 教育社会学特論B 教育社会学演習B 演習指導Ⅰ 演習指導Ⅱ TutorialⅠ TutorialⅡ			教育社会学特論A 教育社会学演習A 教育社会学特論B 教育社会学演習B 演習指導Ⅰ 演習指導Ⅱ TutorialⅠ TutorialⅡ
専	准教授	藤井 康之 ( ) <平成30年4月>	専	准教授	藤井 康之 ( ) <平成30年4月>
		音楽教育学特論 音楽教育学演習 音楽と子ども特論 音楽と子ども演習 演習指導Ⅰ 演習指導Ⅱ TutorialⅠ TutorialⅡ			音楽教育学特論 音楽教育学演習 音楽と子ども特論 音楽と子ども演習 演習指導Ⅰ 演習指導Ⅱ TutorialⅠ TutorialⅡ
専	准教授	本山 方子 ( ) <平成30年4月>	兼任	講師	本山 方子 ( ) <平成30年4月>
		教育心理学特論 教育心理学演習 子ども心理学特論 子ども心理学演習 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ 演習指導Ⅰ 演習指導Ⅱ TutorialⅠ TutorialⅡ			教育心理学特論 教育心理学演習 子ども心理学特論 子ども心理学演習
専	准教授	天ヶ瀬 正博 ( ) <平成30年4月>	専	教授	天ヶ瀬 正博 ( ) <平成30年4月>
		認知心理学特論 認知心理学演習 認知学習心理学特論 認知学習心理学演習 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ 演習指導Ⅰ 演習指導Ⅱ TutorialⅠ TutorialⅡ			認知心理学特論 認知心理学演習 認知学習心理学特論 認知学習心理学演習 心理実践実習Ⅰ 心理実践実習Ⅱ 演習指導Ⅰ 演習指導Ⅱ TutorialⅠ TutorialⅡ <b>心理学研究法演習【隔年】</b> <b>心理学データ解析法演習【隔年】</b>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	狗巻 修司 ( ) <平成30年4月> 発達臨床学特論 発達臨床心理学演習 発達支援特論 発達心理学演習 心理学研究法演習【隔年】 心理学データ解析法演習【隔年】 心理実践実習 I 心理実践実習 II 演習指導 I 演習指導 II Tutorial I Tutorial II
		小松 孝至 ( ) <平成30年4月> 生涯発達心理学特論
		西村 拓生 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐ I 学びをつむぐ II 教育史特論 教育史演習 B 子ども史特論
		駒谷 昇一 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐ I 学びをつむぐ II
		高田 将志 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐ I 学びをつむぐ II プレゼンテーション演習 女性専門職キャリア論
		宮路 淳子 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐ I 学びをつむぐ II
		阪本 美江 ( ) <平成30年4月> 教育史演習 A
		小松 孝至 ( ) <平成30年4月> 発達心理学特論 A
		古池 若葉 ( ) <平成30年4月> 発達心理学特論 B

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	狗巻 修司 ( ) <平成30年4月> 発達臨床学特論 発達臨床心理学演習 発達支援特論 発達心理学演習 心理学研究法演習【隔年】 心理学データ解析法演習【隔年】 心理実践実習 I 心理実践実習 II 演習指導 I 演習指導 II Tutorial I Tutorial II
		西村 拓生 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐ I 学びをつむぐ II 教育史特論 教育史演習 B 子ども史特論
		駒谷 昇一 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐ I 学びをつむぐ II
		高田 将志 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐ I 学びをつむぐ II プレゼンテーション演習 女性専門職キャリア論
		宮路 淳子 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐ I 学びをつむぐ II
		酒井 敦 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐ I 学びをつむぐ II
		薦野 克己 ( ) <平成30年4月> 教育人間学特論 A
		杉山 晋平 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐ I
		阪本 美江 ( ) <平成30年4月> 教育史演習 A
		小松 孝至 ( ) <平成30年4月> 発達心理学特論 A
古池 若葉 ( ) <平成30年4月> 発達心理学特論 B		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	高原 龍二 ( ) <平成30年4月> 臨床心理学特論
兼任	講師	河越 隼人 ( ) <平成30年4月> 実践スキルゼミナール(心理学)
兼任	教授	松岡 悦子 ( ) <平成30年4月> 専門応用英語 Women in Japan Gender in Asia
兼任	教授	寺岡 伸悟 ( ) <平成30年4月> Study of Nara
兼任	教授	山辺 規子 ( ) <平成30年4月> Japanese History
兼任	教授	水垣 源太郎 ( ) <平成30年4月> Contemporary Japanese Religion 日本文化学特論A 日本文化学特論B
兼任	教授	武藤 康弘 ( ) <平成30年4月> Japanese Pop Culture Tourism and Religion
兼任	教授	内田 忠賢 ( ) <平成30年4月> Tradition in Modern Society
兼任	教授	藤田 盟児 ( ) <平成30年4月> Traditional Architecture in Nara and Kyoto

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	高原 龍二 ( ) <平成30年4月> <b>産業・労働分野に関する理論と支援の展開</b>
兼任	講師	河越 隼人 ( ) <平成30年4月> <b>心理的アセスメントに関する理論と実践</b> <b>心理支援に関する理論と実践</b>
兼任	講師	小玉 彰二 ( ) <平成30年4月> <b>福祉分野に関する理論と支援の展開</b>
兼任	講師	東村 知子 ( ) <平成30年4月> <b>家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践</b>
兼任	教授	松岡 悦子 ( ) <平成30年4月> 専門応用英語 Women in Japan Gender in Asia
兼任	教授	寺岡 伸悟 ( ) <平成30年4月> Study of Nara
兼任	教授	山辺 規子 ( ) <平成30年4月> Japanese History
兼任	准教授	河上 麻由子 ( ) <平成30年4月> <b>Japanese History</b>
兼任	教授	水垣 源太郎 ( ) <平成30年4月> Contemporary Japanese Religion 日本文化学特論A 日本文化学特論B
兼任	教授	武藤 康弘 ( ) <平成30年4月> Japanese Pop Culture Tourism and Religion <b>Contemporary Japanese Religion</b>
兼任	教授	内田 忠賢 ( ) <平成30年4月> Tradition in Modern Society <b>Tourism and Religion</b>
兼任	教授	小川 伸彦 ( ) <平成30年4月> <b>Tradition in Modern Society</b>
兼任	教授	藤田 盟児 ( ) <平成30年4月> Traditional Architecture in Nara and Kyoto
兼任	准教授	山本 直彦 ( ) <平成30年4月> <b>Traditional Architecture in Nara and Kyoto</b>

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤平 真紀子 ( ) <平成30年4月>
		Architectural and Environmental Engineering in Japan
兼任	教授	佐野 敏行 ( ) <平成30年4月>
		Cloth and Culture in Japan
兼任	准教授	安藤 香織 ( ) <平成30年4月>
		Human Relations and Food, Life in Various Cultures
兼任	准教授	尾山 慎 ( ) <平成30年4月>
		日本語学特論
		日本語文化特論
		日本文学史特論A 日本文学史特論B
兼任	准教授	浅田 晴久 ( ) <平成30年4月>
		日本文化学特論C

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	准教授	藤平 真紀子 ( ) <平成30年4月>
		Architectural and Environmental Engineering in Japan
兼任	准教授	吉田 伸治 ( ) <平成30年4月>
		Architectural and Environmental Engineering in Japan
兼任	講師	瀧野 敦夫 ( ) <平成30年4月>
		Architectural and Environmental Engineering in Japan
兼任	教授	佐野 敏行 ( ) <平成30年4月>
		Cloth and Culture in Japan
兼任	准教授	安藤 香織 ( ) <平成30年4月>
		Human Relations and Food, Life in Various Cultures
兼任	助教	青木 美紗 ( ) <平成30年4月>
		Human Relations and Food, Life in Various Cultures
兼任	准教授	尾山 慎 ( ) <平成30年4月>
		日本語学特論
		日本語文化特論
		日本文学史特論A 日本文学史特論B
兼任	准教授	浅田 晴久 ( ) <平成30年4月>
		日本文化学特論C

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。  
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・平成30年4月 天ヶ瀬正博准教授 教授昇任
- ・林拓也教授 兼任教員就任。
- ・教養科目においては、より専門分野を超えてものを俯瞰する力を培うため、石崎研二教授、酒井敦教授、兼任教員就任。
- ・教養科目においては、より専門分野を超えてものを俯瞰する力を培うため、杉山晋平 兼任教員就任
- ・授業科目の充実のため、小川伸彦教授、河上麻由子准教授、山本直彦准教授、吉田伸治准教授、瀧野教夫講師、青木美紗助教 兼任教員就任。
- ・平成30年3月 本山方子准教授が就任を辞退し、兼任教員に就任。
- ・公認心理士対応のため、小玉彰二、東村知子 兼任教員就任
- ・授業科目の充実のため、髙野克己 兼任教員就任
- ・授業科目の充実のため、兼任教員である亀島信也、中間玲子より専任教員の中山満子教授に変更。
- ・授業科目の充実のため、兼任教員である松岡悦子教授より中山満子教授に変更。
- ・授業科目の充実のため、兼任教員である小松孝至より専任教員の狗巻修司准教授に変更。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **課内で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
3	2	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
3	7	0	0	10	4	5	0	0	9	4	6	0	0	10
(4)	(5)	(0)	(0)	(9)						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
10	0	0			9	0	0			10	0	0		
(9)	(0)	(0)								[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記(B)）の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{10}{10} = \boxed{100.00} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{9} = \boxed{0.00} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
1	准教授	中山 方子	選択	教育心理学特論	②	H30.3.31付け奈良女子大学辞職のため就任辞退 (30)	
			選択	教育心理学演習	②		
			選択	子ども心理学特論	②		
			選択	子ども心理学演習	②		
			選択	心理実践実習Ⅰ	①		
			選択	心理実践実習Ⅱ	①		
			必修	演習指導Ⅰ	①		
			必修	演習指導Ⅱ	①		
			選択	TutorialⅠ	①		
			選択	TutorialⅡ	①		
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	8 科目	選択	4 科目	選択	4 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	10 科目	計	6 科目	計	4 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
1	人	必修	2 科目	必修	2 科目	必修	0 科目
		選択	8 科目	選択	4 科目	選択	4 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	10 科目	計	6 科目	計	4 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{1}{10} = 10.00 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専任教員就任辞退に伴い、他の専任教員及び同人を兼任教員として授業科目を担当させることとしており、教育の質の維持は確保できる。また学生に対してはガイダンスにより周知がはかられている(30)。</p>
---

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<人間文化研究科 人間科学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況, 今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 人間文化研究科FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年数回開催</p> <p>c 委員会の審議事項等 大学院におけるFDの実施及び実施体制に関すること FDの評価に関すること その他FDに関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 大学院FD活動の作成 FD研修会の実施</p> <p>b 実施方法 人間文化研究科で実施する</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 年1回実施</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 学生アンケートについて、結果を大学院担当教員にフィードバックしている</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 学年末に学生アンケートを実施</p> <p>b 教員や学生への公開状況, 方法等 人間文化研究科FD活動報告を含めたFD活動実績報告書を教員に配付するとともに、学生には学術情報処理センターにおいて閲覧可能にしている</p>
--

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的等、設置計画どおりに実施している。今後も引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施することとしている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・平成31年8月末 公表予定

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

平成31年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）による大学機関別認証評価を受審予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有  無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成30年 6月 30日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 奈良女子大学

## (2) 大学名

奈良女子大学

## (3) 大学の位置

〒630-8506

奈良県奈良市北魚屋西町（奈良県奈良市北魚屋東町）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(イマオカ ハルキ) 今岡 春樹 (平成29年4月)		
研究科長	(タカダ マサシ) 高田 将志 (平成29年4月)		
専攻長	(イノウエ ヨウイチ) 井上 洋一 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
人間文化研究科 心身健康学専攻 (博士前期課程) 修士(学術) 修士(生活環境学) 修士(家政学)	文学関係	2	22	44	基礎となる学部等
	家政関係				生活環境学部
	体育関係				

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	22 ( - ) [ - ]		( ) ( ) [ ]	0.72 倍				
志願者数	34 ( 2 ) [ 1 ]	( ) ( ) [ ]						
受験者数	32 ( 1 ) [ 1 ]	( ) ( ) [ ]						
合格者数	17 ( 0 ) [ 1 ]	( ) ( ) [ ]						
B 入学者数	16 ( 0 ) [ 1 ]	( ) ( ) [ ]						
入学定員超過率 B/A	0.72							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成30年度		平成31年度				備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	16 [ 1 ] ( - )	[ ] ( )					
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
計	16 [ 1 ] ( - )	[ ] ( )					

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数で記入してください。**該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	16人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
合計	16人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0.00} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\phantom{0.00}} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<人間文化研究科 心身健康学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目群	研究者倫理	1前		1								兼1
	技術者倫理	1後		1								兼2
	学びをつむぐⅠ	1後		1								兼5
	学びをつむぐⅡ	2通		1								兼5
	アクティブ・ゼミナール	1・2後		1								兼1
専攻共通	心身健康学特論A	1前		1		2	3		1			
	心身健康学特論B	1前		1		3	1		1			
	心身健康学特論C	1前		1		2	1	1	1			
専門群	環境生理論	1前		2		1						
	環境生理論演習	1後		2		1						
	心身医学特論	1前		2		1						
	生活医学演習	1後		2		1						
	環境人間工学特論	1前		2								兼1
	環境人間工学演習	1後		2								兼1
	生体機能調節論	1前		2		1						
	生体機能調節論演習	1後		2		1						
	食と自律神経学特論	1前		2			1					
	食と自律神経学演習	1後		2			1					
	生活適応学	1前		2					1			
	生活適応学演習	1後		2					1			
	生活健康論A	1前		2		1	1					
	生活健康論B	1後		2		2	2		1			
神経生理学特論	1前		2		1	1						
専門群	スポーツ法学特論	1前		2		1						
	スポーツ法学演習	1・2後		2		1						
	バイオメカニクス特論	1前		2								兼1
	バイオメカニクス演習	1後		2								兼1
	身体表現学特論	1前		2		1						
	身体表現学演習	1後		2		1						
	スポーツ生理学特論	1前		2			1					
	スポーツ生理学演習	1・2後		2			1					
	スポーツ社会学特論	1前		2			1					
	スポーツ社会学演習	1後		2			1					
	スポーツ行動心理学特論	1前		2			1					
	スポーツ行動心理学演習	1後		2			1					
	運動文化論特論	1・2前		2								兼1
	運動文化論演習	1・2後		2		1						
身体運動学特論	1・2前		2								兼1	
身体運動学演習	1・2後		2			1						
専門群	臨床心理学特論Ⅰ	1前		2					1			
	臨床心理学特論Ⅱ	1後		2			1					
	臨床心理学面接特論Ⅰ	1前		2		1						
	臨床心理学面接特論Ⅱ	1後		2		1						
	臨床心理査定演習Ⅰ	1前		2		1	1		1			

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目群	研究者倫理	1前		1								兼1
	技術者倫理	1後		1								兼2
	学びをつむぐⅠ	1後		1								兼6
	学びをつむぐⅡ	2通		1								兼5
	アクティブ・ゼミナール	1・2後		1								兼1
専攻共通	心身健康学特論A	1前		1			2	3		1		
	心身健康学特論B	1前		1			3	1		1		
	心身健康学特論C	1前		1			2	1	1	1		
専門群	環境生理論	1前		2		1						
	環境生理論演習	1後		2		1						
	心身医学特論	1前		2		1						
	生活医学演習	1後		2		1						
	環境人間工学特論	1前		2								兼1
	環境人間工学演習	1後		2								兼1
	生体機能調節論	1前		2		1						
	生体機能調節論演習	1後		2		1						
	食と自律神経学特論	1前		2			1					
	食と自律神経学演習	1後		2			1					
	生活適応学	1前		2						1		
	生活適応学演習	1後		2						1		
	生活健康論A	1前		2		1	1					
	生活健康論B	1後		2		2	2		1			
神経生理学特論	1前		2		1	1						
専門群	スポーツ法学特論	1前		2		1						
	スポーツ法学演習	1・2後		2		1						
	バイオメカニクス特論	1前		2								兼1
	バイオメカニクス演習	1後		2								兼1
	身体表現学特論	1前		2		1						
	身体表現学演習	1後		2		1						
	スポーツ生理学特論	1前		2			1					
	スポーツ生理学演習	1・2後		2			1					
	スポーツ社会学特論	1前		2			1					
	スポーツ社会学演習	1後		2			1					
	スポーツ行動心理学特論	1前		2			1					
	スポーツ行動心理学演習	1後		2			1					
	運動文化論特論	1・2前		2								兼1
	運動文化論演習	1・2後		2		1						
身体運動学特論	1・2前		2								兼1	
身体運動学演習	1・2後		2			1						
専門群	臨床心理学特論Ⅰ	1前		2						1		
	臨床心理学特論Ⅱ	1後		2			1					
	臨床心理学面接特論Ⅰ	1前		2		1						
	臨床心理学面接特論Ⅱ	1後		2		1						
	臨床心理査定演習Ⅰ	1前		2		1	1		1			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門群 臨床心理学コース	臨床心理査定演習Ⅱ	1後		2		1		1	1			
	臨床心理基礎実習Ⅰ	1前		1		1		1	1			
	臨床心理基礎実習Ⅱ	1後		1		1		1	1			
	臨床心理実習Ⅰ	2前		1		1	1		1			
	臨床心理実習Ⅱ	2後		1		1	1		1			
	心理学研究法特論	1・2後		2				1				
	心理統計法特論	1・2前		2				1				
	臨床心理学研究法特論	1・2前		2					1			
	発達心理学特論	1・2前		2					1			
	教育心理学特論	1・2後		2		1						
	学習心理学特論	1・2後		2				1				
	家族心理学特論	1・2後		2					1			
	犯罪心理学特論	1・2前		2		1						
	臨床心理関連行政論	1・2後		2							兼1	
	精神医学特論	1・2後		2							兼1	
	投映法特論	1・2前		2							兼1	
心理療法特論	1・2前		2			1						
学校臨床心理学特論	1・2後		2		1							
論文等作成群	生活健康学特別研究	1前～2後		10		3	1		1			
	スポーツ科学特別研究	1前～2後		10		2	3					
	臨床心理学特別研究	1前～2後		10		2	1	1	2			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門群 臨床心理学コース	臨床心理査定演習Ⅱ	1後		2		1		1	1			
	臨床心理基礎実習Ⅰ	1前		1		1		1	1			
	臨床心理基礎実習Ⅱ	1後		1		1		1	1			
	臨床心理実習Ⅰ	2前		1		1	1		1			
	臨床心理実習Ⅱ	2後		1		1	1		1			
	心理学研究法特論	1・2後		2				1				
	心理統計法特論	1・2前		2				1				
	臨床心理学研究法特論	1・2前		2						1		
	発達心理学特論	1・2前		2						1		
	教育心理学特論	1・2後		2		1						
	学習心理学特論	1・2後		2				1				
	家族心理学特論	1・2後		2					1			
	犯罪心理学特論	1・2前		2		1						
	臨床心理関連行政論	1・2後		2							兼1	
	精神医学特論	1・2後		2							兼1	
	投映法特論	1・2前		2							兼1	
心理療法特論	1・2前		2			1						
学校臨床心理学特論	1・2後		2		1							
心の健康教育に関する理論と実践	1・2後		2								兼1	
心理実践実習Ⅰ	1・2前		2		2	1	1	1				
心理実践実習Ⅱ	1・2後		2		2	1	1	1				
心理実践実習Ⅳ	1・2後		2		2	1	1	1				
論文等作成群	生活健康学特別研究	1前～2後		10		3	1		1			
	スポーツ科学特別研究	1前～2後		10		2	3					
	臨床心理学特別研究	1前～2後		10		2	1	1	2			

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成30年度】**

・教養科目においては、より専門分野を超えてものごとを俯瞰する力を培うため、「学びをつむぐⅠ」の専任教員等の配置を「兼担5」から「兼担5、兼任1」に変更。  
 ・公認心理師に対応するため、「心の健康教育に関する理論と実践」、「心理実践実習Ⅰ」、「心理実践実習Ⅱ」、「心理実践実習Ⅳ」を追加。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
0 科目	65 科目	0 科目	65 科目	0 科目 [ 0 ]	69 科目 [ 4 ]	0 科目 [ 0 ]	69 科目 [ 4 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{65} = \boxed{0.00}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体  その他には附属学校等 敷地を含む。			
	校舎敷地	66,081㎡	0㎡	0㎡	66,081㎡				
	運動場用地	10,179㎡	0㎡	0㎡	10,179㎡				
	小 計	76,260㎡	0㎡	0㎡	76,260㎡				
	そ の 他	104,050㎡	0㎡	0㎡	104,050㎡				
	合 計	180,310㎡	0㎡	0㎡	180,310㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		59,605㎡ ( 59,605㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	59,605㎡ ( 59,605㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	他に、大学全体の共用 教室を利用。		
		0室	2室	18室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		大学院人間文化研究科心身健康学専攻			19 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位での特定が不 能なため、大学全体の 数	
	大学院 人間文化研究科 心身健康学専攻	585,332[160,100] (585,332[160,100])	20,657[6,936] (20,657[6,936])	3,875[3,875] (3,875[3,875])	11,015 (11,015)	1,466 (1,466)	162 (162)		
	計	585,332[160,100] (585,332[160,100])	20,657[6,936] (20,657[6,936])	3,875[3,875] (3,875[3,875])	11,015 (11,015)	1,466 (1,466)	162 (162)		
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		4,523㎡		154	488,253				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
		1,822㎡		テニスコート3面		弓道場			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当たり研究費等	—	—	図書購入費	—	—	—	
	共同研究費等	—	—	設備購入費	—	—	—		
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		—	—	—	—	—	—		
学生納付金以外の維持方法の概要			—						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	奈良女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定容員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<学部>									
文学部							昭和24年度	奈良県奈良市北魚屋西町	
人文社会学科	4	60		240	学士(文学)	一括募集	平成7年度		
言語文化学科	4	50		200	学士(文学)	1.11	平成7年度		
人間科学科	4	40		160	学士(文学)		平成7年度		
(学部共通)			3年次 16	32					
理学部							昭和28年度	奈良県奈良市北魚屋西町	
数物科学科	4	63		252	学士(理学)	1.21	平成26年度		
化学生物環境学科	4	87		348	学士(理学)	1.19	平成26年度		
数学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	昭和28年度		平成26年度から学生募集停止
物理科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	平成8年度		平成26年度から学生募集停止
化学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	昭和28年度		平成26年度から学生募集停止
生物科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	平成8年度		平成26年度から学生募集停止
情報科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	平成3年度		平成26年度から学生募集停止
(学部共通)			3年次 10	20					
生活環境学部							平成5年度	奈良県奈良市北魚屋西町	
食物栄養学科	4	35	-	140	学士(生活環境学)	1.12	平成17年度		
心身健康学科	4	40		160	学士(生活健康科学)	1.20	平成26年度		
情報衣環境学科	4	35		140	学士(生活環境学)	1.17	平成26年度		
住環境学科	4	35		140	学士(生活環境学)	1.12	平成18年度		
生活文化学科	4	30		120	学士(生活環境学)	1.14	平成18年度		
生活健康・衣環境学科	4	-	-	-	学士(生活環境学)	-	平成17年度		平成26年度から学生募集停止
(学部共通(食物栄養学科除く))			3年次 14	28					

＜大学院＞							
人間文化研究科						昭和56年度	奈良県奈良市 北魚屋西町
(博士前期課程)							
人文社会学専攻	2	24	-	48	0.60	平成10年度	
言語文化学専攻	2	18	-	36	0.30	平成10年度	
人間科学専攻	2	12		12	0.83	平成30年度	
食物栄養学専攻	2	13	-	26	0.92	平成19年度	
心身健康学専攻	2	22	-	22	0.72	平成30年度	
情報衣環境学専攻	2	10		10	1.00	平成30年度	
生活工学共同専攻	2	7	-	14	0.78	平成28年度	
住環境学専攻	2	13	-	26	1.19	平成19年度	
生活文化学専攻	2	9	-	18	0.72	平成19年度	
数物科学専攻	2	28	-	28	1.00	平成30年度	
化学生物環境学専攻	2	42	-	42	1.42	平成30年度	
人間行動科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
心身健康学専攻	2	-	-	-	-	平成26年度	平成30年度から学生募集停止
数学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
物理科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
化学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
生物科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
情報科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
(博士後期課程)							
比較文化学専攻	3	10	-	32	0.63	平成11年度	
社会生活環境学専攻	3	15	-	45	0.64	平成15年度	
共生自然科学専攻	3	8	-	31	0.75	平成15年度	
生活工学共同専攻	3	2	-	6	1.16	平成28年度	
複合現象科学専攻	3	3	-	14	0.66	平成15年度	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人間文化研究科 心身健康学専攻（博士前期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	芝崎 学 ( ) <平成30年4月>	専	教授	芝崎 学 ( ) <平成30年4月>
		心身健康学特論B※ 生体機能調節論 生体機能調節論演習 生活健康論B※ 生活健康学特別研究			心身健康学特論B※ 生体機能調節論 生体機能調節論演習 生活健康論B※ 生活健康学特別研究
専	教授	鷹股 亮 ( ) <平成30年4月>	専	教授	鷹股 亮 ( ) <平成30年4月>
		心身健康学特論C※ 環境生理論 環境生理論演習 生活健康論A※ 神経生理学特論※ 生活健康学特別研究			心身健康学特論C※ 環境生理論 環境生理論演習 生活健康論A※ 神経生理学特論※ 生活健康学特別研究
専	教授	森本 恵子 ( ) <平成30年4月>	専	教授	森本 恵子 ( ) <平成30年4月>
		心身健康学特論A※ 心身医学特論 生活医学演習 生活健康論B※ 生活健康学特別研究			心身健康学特論A※ 心身医学特論 生活医学演習 生活健康論B※ 生活健康学特別研究
専	教授	井上 洋一 ( ) <平成30年4月>	専	教授	井上 洋一 ( ) <平成30年4月>
		心身健康学特論B※ スポーツ法学特論 スポーツ法学演習 運動文化論演習 スポーツ科学特別研究			心身健康学特論B※ スポーツ法学特論 スポーツ法学演習 運動文化論演習 スポーツ科学特別研究
専	教授	成瀬 九美 ( ) <平成30年4月>	専	教授	成瀬 九美 ( ) <平成30年4月>
		心身健康学特論A※ 身体表現学特論 身体表現学演習 スポーツ科学特別研究			心身健康学特論A※ 身体表現学特論 身体表現学演習 スポーツ科学特別研究
専	教授	伊藤 美奈子 ( ) <平成30年4月>	専	教授	伊藤 美奈子 ( ) <平成30年4月>
		心身健康学特論C※ 臨床心理学面接特論I 臨床心理査定演習I※ 臨床心理基礎実習I※ 臨床心理基礎実習II※ 教育心理学特論 学校臨床心理学特論 臨床心理学特別研究			心身健康学特論C※ 臨床心理学面接特論I 臨床心理査定演習I※ 臨床心理基礎実習I※ 臨床心理基礎実習II※ 教育心理学特論 学校臨床心理学特論 心理実践実習I 心理実践実習II 心理実践実習IV 臨床心理学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	岡本 英生 ( ) <平成30年4月>
		心身健康学特論B※ 臨床心理学面接特論II 臨床心理査定演習II※ 臨床心理実習I※ 臨床心理実習II※ 犯罪心理学特論  臨床心理学特別研究
専	准教授	吉本 光佐 ( ) <平成30年4月>
		心身健康学特論A※ 食と自律神経学特論 食と自律神経学演習 生活健康論A※ 神経生理学特論※ 生活健康学特別研究
専	准教授	石坂 友司 ( ) <平成30年4月>
		心身健康学特論B※ スポーツ社会学特論 スポーツ社会学演習 スポーツ科学特別研究
専	准教授	中田 大貴 ( ) <平成30年4月>
		心身健康学特論A※ スポーツ行動心理学特論  スポーツ行動心理学演習 スポーツ科学特別研究
専	准教授	星野 聡子 ( ) <平成30年4月>
		心身健康学特論C※ スポーツ生理学特論 スポーツ生理学演習 身体運動学演習 スポーツ科学特別研究
専	准教授	黒川 嘉子 ( ) <平成30年4月>
		心身健康学特論A※ 臨床心理学特論II 臨床心理査定演習I※ 臨床心理実習I※ 臨床心理実習II※ 心理療法特論  臨床心理学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	岡本 英生 ( ) <平成30年4月>
		心身健康学特論B※ 臨床心理学面接特論II 臨床心理査定演習II※ 臨床心理実習I※ 臨床心理実習II※ 犯罪心理学特論 <b>心理実践実習I</b> <b>心理実践実習II</b> <b>心理実践実習IV</b> 臨床心理学特別研究
専	准教授	吉本 光佐 ( ) <平成30年4月>
		心身健康学特論A※ 食と自律神経学特論 食と自律神経学演習 生活健康論A※ 神経生理学特論※ 生活健康学特別研究
専	准教授	石坂 友司 ( ) <平成30年4月>
		心身健康学特論B※ スポーツ社会学特論 スポーツ社会学演習 スポーツ科学特別研究
専	准教授	中田 大貴 ( ) <平成30年4月>
		心身健康学特論A※ スポーツ行動心理学特論  スポーツ行動心理学演習 スポーツ科学特別研究
専	准教授	星野 聡子 ( ) <平成30年4月>
		心身健康学特論C※ スポーツ生理学特論 スポーツ生理学演習 身体運動学演習 スポーツ科学特別研究
専	准教授	黒川 嘉子 ( ) <平成30年4月>
		心身健康学特論A※ 臨床心理学特論II 臨床心理査定演習I※ 臨床心理実習I※ 臨床心理実習II※ 心理療法特論 <b>心理実践実習I</b> <b>心理実践実習II</b> <b>心理実践実習IV</b> 臨床心理学特別研究

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	梅垣 佑介 ( ) <平成30年4月> 心身健康学特論C※ 臨床心理査定演習Ⅱ※ 臨床心理基礎実習Ⅰ※ 臨床心理基礎実習Ⅱ※ 心理学研究法特論 心理統計法特論 学習心理学特論 臨床心理学特別研究
専	助教	内田 有希 ( ) <平成30年4月> 心身健康学特論A※ 生活適応学 生活適応学演習 生活健康論B※ 生活健康学特別研究
専	助教	加藤 奈奈子 ( ) <平成30年4月> 心身健康学特論B※ 臨床心理学特論Ⅰ 臨床心理査定演習Ⅱ※ 臨床心理実習Ⅰ※ 臨床心理実習Ⅱ※ 発達心理学特論 臨床心理学特別研究
専	助教	曾山 いつみ ( ) <平成30年4月> 心身健康学特論C※ 臨床心理査定演習Ⅰ※ 臨床心理基礎実習Ⅰ※ 臨床心理基礎実習Ⅱ※ 臨床心理学研究法特論 家族心理学特論 臨床心理学特別研究
兼任	教授	西村 拓生 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	教授	駒谷 昇一 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	教授	高田 将志 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	教授	酒井 敦 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	教授	宮路 淳子 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	教授	才脇 直樹 ( ) <平成30年4月> 技術者倫理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	講師	梅垣 佑介 ( ) <平成30年4月> 心身健康学特論C※ 臨床心理査定演習Ⅱ※ 臨床心理基礎実習Ⅰ※ 臨床心理基礎実習Ⅱ※ 心理学研究法特論 心理統計法特論 学習心理学特論 <b>心理実践実習Ⅰ</b> <b>心理実践実習Ⅱ</b> <b>心理実践実習Ⅳ</b> 臨床心理学特別研究
専	助教	内田 有希 ( ) <平成30年4月> 心身健康学特論A※ 生活適応学 生活適応学演習 生活健康論B※ 生活健康学特別研究
専	助教	加藤 奈奈子 ( ) <平成30年4月> 心身健康学特論B※ 臨床心理学特論Ⅰ 臨床心理査定演習Ⅱ※ 臨床心理実習Ⅰ※ 臨床心理実習Ⅱ※ 発達心理学特論 <b>心理実践実習Ⅰ</b> <b>心理実践実習Ⅱ</b> <b>心理実践実習Ⅳ</b> 臨床心理学特別研究
専	助教	曾山 いつみ ( ) <平成30年4月> 心身健康学特論C※ 臨床心理査定演習Ⅰ※ 臨床心理基礎実習Ⅰ※ 臨床心理基礎実習Ⅱ※ 臨床心理学研究法特論 家族心理学特論 臨床心理学特別研究
兼任	教授	西村 拓生 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	教授	駒谷 昇一 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	教授	高田 将志 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	教授	酒井 敦 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	教授	宮路 淳子 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	教授	才脇 直樹 ( ) <平成30年4月> 技術者倫理

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	黒子 弘道 ( ) <平成30年4月> 技術者倫理
兼任	教授	久保 博子 ( ) <平成30年4月> 環境人間工学特論 環境人間工学演習
兼任	教授	石崎 研二 ( ) <平成30年4月> アクティブ・ゼミ ナール
兼任	副学長	藤原 素子 ( ) <平成30年4月> バイオメカニクス特論 バイオメカニクス演習
兼任	講師	横野 恵 ( ) <平成30年4月> 研究者倫理
兼任	講師	新井 博 ( ) <平成30年4月> 運動文化論特論
兼任	講師	井上 裕美子 ( ) <平成30年4月> 身体運動学特論
兼任	講師	馬場 健一 ( ) <平成30年4月> 臨床心理関連行政論
兼任	講師	吉田 稔 ( ) <平成30年4月> 精神医学特論
兼任	講師	川部 哲也 ( ) <平成30年4月> 投影法特論

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	黒子 弘道 ( ) <平成30年4月> 技術者倫理
兼任	教授	久保 博子 ( ) <平成30年4月> 環境人間工学特論 環境人間工学演習
兼任	教授	石崎 研二 ( ) <平成30年4月> アクティブ・ゼミ ナール
兼任	副学長	藤原 素子 ( ) <平成30年4月> バイオメカニクス特論 バイオメカニクス演習
兼任	講師	横野 恵 ( ) <平成30年4月> 研究者倫理
兼任	講師	新井 博 ( ) <平成30年4月> 運動文化論特論
兼任	講師	井上 裕美子 ( ) <平成30年4月> 身体運動学特論
兼任	講師	馬場 健一 ( ) <平成30年4月> 臨床心理関連行政論
兼任	講師	吉田 稔 ( ) <平成30年4月> 精神医学特論
兼任	講師	川部 哲也 ( ) <平成30年4月> 投影法特論
兼任	講師	杉山 晋平 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐI
兼任	講師	阪中 順子 ( ) <平成30年4月> 心の健康教育に関する 理論と実践

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。  
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・公認心理師の科目に対応するため、阪中順子 兼任教員就任
- ・教養科目においては、より専門分野を超えてものを俯瞰する力を培うため、杉山晋平 兼任教員就任

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	4
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
7	5	1	3	16	7	5	1	3	16	7	5	1	3	16
(7)	(5)	(1)	(3)	(16)						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
16	0	0			16	0	0			16	0	0		
(16)	(0)	(0)								[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記(B)）の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{16}{16} = \boxed{100.00} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{16} = \boxed{0.00} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{16} = 0.00 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計			後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<人間文化研究科 心身健康学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 人間文化研究科FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年数回開催</p> <p>c 委員会の審議事項等 大学院におけるFDの実施及び実施体制に関すること FDの評価に関すること その他FDに関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 大学院FD活動の作成 FD研修会の実施</p> <p>b 実施方法 人間文化研究科で実施する</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 年1回実施</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 学生アンケートについて、結果を大学院担当教員にフィードバックしている</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 学年末に学生アンケートを実施</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 人間文化研究科FD活動報告を含めたFD活動実績報告書を教員に配付するとともに、学生には学術情報センターにおいて閲覧可能にしている</p>
---

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的等、設置計画どおりに実施している。今後も引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施することとしている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

- ・平成31年8月末 公表予定

##### b 公表方法

- ・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

平成31年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）による大学機関別認証評価を受審予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有 ) ・ (  無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成30年 6月 30日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 奈良女子大学

## (2) 大学名

奈良女子大学

## (3) 大学の位置

〒630-8506

奈良県奈良市北魚屋西町（奈良県奈良市北魚屋東町）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(イマオカ ハルキ) 今岡 春樹 (平成29年4月)		
研究科長	(タカダ マサシ) 高田 将志 (平成29年4月)		
専攻長	(ヨシダ テツヤ) 吉田 哲也 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部・学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
人間文化研究科 情報衣環境学専攻 (博士前期課程) 修士(学術) 修士(生活環境学) 修士(家政学)	理学関係	2	10	20	基礎となる学部等
	家政関係				生活環境学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	10 ( - ) [ - ]		( ) ( ) [ ]	1.00 倍				
志願者数	11 ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]						
受験者数	11 ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]						
合格者数	11 ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]						
B 入学者数	10 ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]						
入学定員超過率 B/A	1.00							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成30年度		平成31年度				備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	10 [ - ] ( - )	[ ] ( )					
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			[ ] ( )	[ ] ( )			
計	10 [ - ] ( - )	[ ] ( )					

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	10人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
合計	10人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{10} = \boxed{0.00} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\phantom{0.00}} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<人間文化研究科 情報衣環境学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目群	研究者倫理	1前		1								兼1
	技術者倫理	1後		1								兼2
	学びをつむぐⅠ	1後		1		1						兼4
	学びをつむぐⅡ	2通		1		1						兼4
	アクティブ・ゼミナール	1・2後		1								兼1
専門群 専攻共通	情報衣環境学論	1前	2			3	3	1				
	ウェアラブルコンピューティング特論	1前		2		1						兼1
	ウェアラブルコンピューティング特論演習	1後		2		1						兼1
	スマートテキスタイル特論	1前		2		1						兼1
	スマートテキスタイル特論演習	1後		2		1						兼1
専門群 衣環境学コース	アパレル洗浄論	1後		2			1					
	アパレル洗浄論演習	1後		2			1					
	衣環境管理論	1前		2			1					
	衣環境管理論演習	1前		2			1					
	衣環境科学論	2前		2			1					
	衣環境科学演習	2前		2			1					
	ソーシャルシステム特論	1前		2		1						
	ソーシャルシステム演習	1後		2		1						
	繊維構造論	1前		2								兼1
	繊維構造論演習	1前		2								兼1
	繊維表面分析論	1前		2								兼1
	繊維表面分析論演習	1前		2								兼1
	衣環境材料学	1前		2								兼1
	衣環境材料学演習	1前		2								兼1
	アパレル評価論	1後		2								兼1
アパレル製品設計学	1後		2								兼1	
アパレル感性情報処理論	1前		2								兼1	
プロジェクトマネジメント特論	1前		2		1							
プロジェクトマネジメント特論演習	1後		2		1							
専門群 生活情報通信科学コース	ライフコンピューティング論	1前		2		1						
	ライフコンピューティング論演習	1後		2		1						
	人工知能特論	1前		2		1						
	人工知能特論演習	1後		2		1						
	オペレーティングシステム特論	1前		2		1						
	オペレーティングシステム特論演習	1後		2		1						
	コンピュータアーキテクチャ特論	1前		2		1						
	コンピュータアーキテクチャ特論演習	1後		2		1						

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目群	研究者倫理	1前		1								兼1
	技術者倫理	1後		1								兼2
	学びをつむぐⅠ	1後		1		1						兼5
	学びをつむぐⅡ	2通		1		1						兼4
	アクティブ・ゼミナール	1・2後		1								兼1
専門群 専攻共通	情報衣環境学論	1前	2			3	3	1				
	ウェアラブルコンピューティング特論	1前		2		1						兼1
	ウェアラブルコンピューティング特論演習	1後		2		1						兼1
	スマートテキスタイル特論	1前		2		1						兼1
	スマートテキスタイル特論演習	1後		2		1						兼1
専門群 衣環境学コース	アパレル洗浄論	1後		2			1					
	アパレル洗浄論演習	1後		2			1					
	衣環境管理論	1前		2			1					
	衣環境管理論演習	1前		2			1					
	衣環境科学論	2前		2			1					
	衣環境科学演習	2前		2			1					
	ソーシャルシステム特論	1前		2		1						
	ソーシャルシステム演習	1後		2		1						
	繊維構造論	1前		2								兼1
	繊維構造論演習	1前		2								兼1
	繊維表面分析論	1前		2								兼1
	繊維表面分析論演習	1前		2								兼1
	衣環境材料学	1前		2								兼1
	衣環境材料学演習	1前		2								兼1
	アパレル評価論	1後		2								兼1
アパレル製品設計学	1後		2								兼1	
アパレル感性情報処理論	1前		2								兼1	
プロジェクトマネジメント特論	1前		2		1							
プロジェクトマネジメント特論演習	1後		2		1							
専門群 生活情報通信科学コース	ライフコンピューティング論	1前		2		1						
	ライフコンピューティング論演習	1後		2		1						
	人工知能特論	1前		2		1						
	人工知能特論演習	1後		2		1						
	オペレーティングシステム特論	1前		2		1						
	オペレーティングシステム特論演習	1後		2		1						
	コンピュータアーキテクチャ特論	1前		2		1						
	コンピュータアーキテクチャ特論演習	1後		2		1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門群 生活情報通信科学コース	ソフトウェア工学特論	1前		2		1						
	ソフトウェア工学特論演習	1後		2		1						
	セキュリティ特論	1前		2		1						
	セキュリティ特論演習	1後		2		1						
	アルゴリズム特論	1前		2			1					
	アルゴリズム特論演習	1後		2			1					
	計算理論特論	1前		2			1					
	計算理論特論演習	1後		2			1					
	論理プログラミング特論	1前		2			1					
	論理プログラミング特論演習	1後		2			1					
	知的エージェント特論	1前		2			1					
	知的エージェント特論演習	1後		2			1					
	ネットワーク特論	1前		2		1		1				
	ネットワーク特論演習	1後		2		1		1				
Webプログラミング特論	1前		2				1					
Webプログラミング特論演習	1後		2				1					
作論文群等	衣環境学特別研究	1前~2後		16			1					
	生活情報通信科学特別研究	1前~2後		16		3	2	1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門群 生活情報通信科学コース	ソフトウェア工学特論	1前		2		1						
	ソフトウェア工学特論演習	1後		2		1						
	セキュリティ特論	1前		2		1						
	セキュリティ特論演習	1後		2		1						
	アルゴリズム特論	1前		2			1					
	アルゴリズム特論演習	1後		2			1					
	計算理論特論	1前		2			1					
	計算理論特論演習	1後		2			1					
	論理プログラミング特論	1前		2			1					
	論理プログラミング特論演習	1後		2			1					
	知的エージェント特論	1前		2			1					
	知的エージェント特論演習	1後		2			1					
	ネットワーク特論	1前		2		1		1				
	ネットワーク特論演習	1後		2		1		1				
Webプログラミング特論	1前		2				1					
Webプログラミング特論演習	1後		2				1					
作論文群等	衣環境学特別研究	1前~2後		16			1					
	生活情報通信科学特別研究	1前~2後		16		3	2	1				

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。
- その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

**【平成30年度】**

・教養科目においては、より専門分野を超えてものごとを俯瞰する力を培うため、「学びをつむぐI」の専任教員等の配置を「教授1、兼担4」から「教授1、兼担4、兼任1」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
1 科目	54 科目	0 科目	55 科目	1 科目 [ 0 ]	54 科目 [ 0 ]	0 科目 [ 0 ]	55 科目 [ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{55} = \boxed{0.00}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体  その他には附属学校等 敷地を含む。			
	校 舎 敷 地	66,081㎡	0㎡	0㎡	66,081㎡				
	運 動 場 用 地	10,179㎡	0㎡	0㎡	10,179㎡				
	小 計	76,260㎡	0㎡	0㎡	76,260㎡				
	そ の 他	104,050㎡	0㎡	0㎡	104,050㎡				
	合 計	180,310㎡	0㎡	0㎡	180,310㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		59,605㎡ ( 59,605㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	59,605㎡ ( 59,605㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	他に、大学全体の共用 教室を利用。		
		0室	2室	9室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		大学院人間文化研究科情報衣環境学専攻			9 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	専攻単位での特定が不 能なため、大学全体の 数	
	大学院 人間文化研究科 情報衣環境学専 攻	585,332[160,100] (585,332[160,100])	20,657[6,936] (20,657[6,936])	3,875[3,875] (3,875[3,875])	11,015 (11,015)	1,466 (1,466)	162 (162)		
	計	585,332[160,100] (585,332[160,100])	20,657[6,936] (20,657[6,936])	3,875[3,875] (3,875[3,875])	11,015 (11,015)	1,466 (1,466)	162 (162)		
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		4,523㎡		154	488,253				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
		1,822㎡		テニスコート3面		弓道場			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当たり研究費等	—	—	図書購入費	—	—	—	
	共同研究費等	—	—	設備購入費	—	—	—		
	学生1人当 り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		—	—	—	—	—	—		
学生納付金以外の維持方法の概要			—						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	奈良女子大学								備考	
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年	設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍				
<学部>										
文学部								昭和24年度	奈良県奈良市北魚屋西町	
人文社会学科	4	60		240	学士(文学)	一括募集 1.11	平成7年度			
言語文化学科	4	50		200	学士(文学)		平成7年度			
人間科学科	4	40		160	学士(文学)		平成7年度			
(学部共通)			3年次 16	32						
理学部								昭和28年度	奈良県奈良市北魚屋西町	
数物科学科	4	63		252	学士(理学)	1.21	平成26年度			
化学生物環境学科	4	87		348	学士(理学)	1.19	平成26年度			
数学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	昭和28年度			平成26年度から学生募集停止
物理科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	平成8年度			平成26年度から学生募集停止
化学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	昭和28年度			平成26年度から学生募集停止
生物科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	平成8年度			平成26年度から学生募集停止
情報科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	平成3年度			平成26年度から学生募集停止
(学部共通)			3年次 10	20						
生活環境学部								平成5年度	奈良県奈良市北魚屋西町	
食物栄養学科	4	35	-	140	学士(生活環境学)	1.12	平成17年度			
心身健康学科	4	40		160	学士(生活健康科学)	1.20	平成26年度			
情報衣環境学科	4	35		140	学士(生活環境学)	1.17	平成26年度			
住環境学科	4	35		140	学士(生活環境学)	1.12	平成18年度			
生活文化学科	4	30		120	学士(生活環境学)	1.14	平成18年度			
生活健康・衣環境学科	4	-	-	-	学士(生活環境学)	-	平成17年度			平成26年度から学生募集停止
(学部共通(食物栄養学科除く))			3年次 14	28						

＜大学院＞							
人間文化研究科						昭和56年度	奈良県奈良市 北魚屋西町
(博士前期課程)							
人文社会学専攻	2	24	-	48	0.60	平成10年度	
言語文化学専攻	2	18	-	36	0.30	平成10年度	
人間科学専攻	2	12		12	0.83	平成30年度	
食物栄養学専攻	2	13	-	26	0.92	平成19年度	
心身健康学専攻	2	22	-	22	0.72	平成30年度	
情報衣環境学専攻	2	10		10	1.00	平成30年度	
生活工学共同専攻	2	7	-	14	0.78	平成28年度	
住環境学専攻	2	13	-	26	1.19	平成19年度	
生活文化学専攻	2	9	-	18	0.72	平成19年度	
数物科学専攻	2	28	-	28	1.00	平成30年度	
化学生物環境学専攻	2	42	-	42	1.42	平成30年度	
人間行動科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
心身健康学専攻	2	-	-	-	-	平成26年度	平成30年度から学生募集停止
数学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
物理科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
化学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
生物科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
情報科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
(博士後期課程)							
比較文化学専攻	3	10	-	32	0.63	平成11年度	
社会生活環境学専攻	3	15	-	45	0.64	平成15年度	
共生自然科学専攻	3	8	-	31	0.75	平成15年度	
生活工学共同専攻	3	2	-	6	1.16	平成28年度	
複合現象科学専攻	3	3	-	14	0.66	平成15年度	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
  - ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人間文化研究科 情報衣環境学専攻（博士前期課程）>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】			【平成30年度】		
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	駒谷 昇一 ( ) <平成30年4月>	専	教授	駒谷 昇一 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ 情報衣環境学論※ プロジェクトマネジメント特論 プロジェクトマネジメント特論演習 ソフトウェア工学特論 ソフトウェア工学特論演習 セキュリティ特論 セキュリティ特論演習 生活情報通信科学特別研究			学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ 情報衣環境学論※ プロジェクトマネジメント特論 プロジェクトマネジメント特論演習 ソフトウェア工学特論 ソフトウェア工学特論演習 セキュリティ特論 セキュリティ特論演習 生活情報通信科学特別研究
		城 和貴 ( ) <平成30年4月>			城 和貴 ( ) <平成30年4月>
		情報衣環境学論※ ウェアラブルコンピューティング特論 ウェアラブルコンピューティング特論演習 ソーシャルシステム特論 ソーシャルシステム演習 ライフコンピューティング論 ライフコンピューティング論演習 人工知能特論 人工知能特論演習 生活情報通信科学特別研究			情報衣環境学論※ ウェアラブルコンピューティング特論 ウェアラブルコンピューティング特論演習 ソーシャルシステム特論 ソーシャルシステム演習 ライフコンピューティング論 ライフコンピューティング論演習 人工知能特論 人工知能特論演習 生活情報通信科学特別研究
専	教授	松本 尚 ( ) <平成30年4月>	専	教授	松本 尚 ( ) <平成30年4月>
		情報衣環境学論※ スマートテキスタイル特論 スマートテキスタイル特論演習 オペレーティングシステム特論 オペレーティングシステム特論演習 コンピュータアーキテクチャ特論 コンピュータアーキテクチャ特論演習 ネットワーク特論 ネットワーク特論演習 生活情報通信科学特別研究			情報衣環境学論※ スマートテキスタイル特論 スマートテキスタイル特論演習 オペレーティングシステム特論 オペレーティングシステム特論演習 コンピュータアーキテクチャ特論 コンピュータアーキテクチャ特論演習 ネットワーク特論 ネットワーク特論演習 生活情報通信科学特別研究
		原田 雅史 ( ) <平成30年4月>			原田 雅史 ( ) <平成30年4月>
		情報衣環境学論※ アパレル洗浄論 アパレル洗浄論演習 衣環境管理論 衣環境管理論演習 衣環境科学論 衣環境科学演習 衣環境学特別研究			情報衣環境学論※ アパレル洗浄論 アパレル洗浄論演習 衣環境管理論 衣環境管理論演習 衣環境科学論 衣環境科学演習 衣環境学特別研究

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	鴨 浩靖 ( ) <平成30年4月>
		情報衣環境学論※ アルゴリズム特論 アルゴリズム特論演習 計算理論特論 計算理論特論演習 生活情報通信科学特別研究
専	准教授	新出 尚之 ( ) <平成30年4月>
		情報衣環境学論※ 論理プログラミング 特論 論理プログラミング 特論演習 知的エージェント特論 知的エージェント特論 演習 生活情報通信科学特別研究
専	講師	高田 雅美 ( ) <平成30年4月>
		情報衣環境学論※ ネットワーク特論 ネットワーク特論演習 Webプログラミング特論 Webプログラミング特論 演習 生活情報通信科学特別研究
兼任	教授	西村 拓生 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	教授	高田 将志 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	教授	宮路 淳子 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	教授	酒井 敦 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	教授	才脇 直樹 ( ) <平成30年4月>
		技術者倫理 スマートテキスト スタイル特論 スマートテキスト スタイル特論演習 アパレル感性情報 処理論
兼任	教授	黒子 弘道 ( ) <平成30年4月>
		技術者倫理 繊維構造論 繊維構造論演習
兼任	教授	石崎 研二 ( ) <平成30年4月>
		アクティブ・ゼミ ナール
兼任	准教授	佐野 奈緒子 ( ) <平成30年4月>
		繊維表面分析論 繊維表面分析論演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	鴨 浩靖 ( ) <平成30年4月>
		情報衣環境学論※ アルゴリズム特論 アルゴリズム特論演習 計算理論特論 計算理論特論演習 生活情報通信科学特別研究
専	准教授	新出 尚之 ( ) <平成30年4月>
		情報衣環境学論※ 論理プログラミング 特論 論理プログラミング 特論演習 知的エージェント特論 知的エージェント特論 演習 生活情報通信科学特別研究
専	講師	高田 雅美 ( ) <平成30年4月>
		情報衣環境学論※ ネットワーク特論 ネットワーク特論演習 Webプログラミング特論 Webプログラミング特論 演習 生活情報通信科学特別研究
兼任	教授	西村 拓生 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	教授	高田 将志 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	教授	宮路 淳子 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	教授	酒井 敦 ( ) <平成30年4月> 学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	教授	才脇 直樹 ( ) <平成30年4月>
		技術者倫理 スマートテキスト スタイル特論 スマートテキスト スタイル特論演習 アパレル感性情報 処理論
兼任	教授	黒子 弘道 ( ) <平成30年4月>
		技術者倫理 繊維構造論 繊維構造論演習
兼任	教授	石崎 研二 ( ) <平成30年4月>
		アクティブ・ゼミ ナール
兼任	准教授	佐野 奈緒子 ( ) <平成30年4月>
		繊維表面分析論 繊維表面分析論演習

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 克成 ( ) <平成30年4月>
		ウェアラブルコン ピューティング特論 ウェアラブルコン ピューティング特論 演習
兼任	助教	橋本 朋子 ( ) <平成30年4月>
		衣環境材料学 衣環境材料学演習
兼任	講師	横野 恵 ( ) <平成30年4月>
		研究者倫理
兼任	講師	井上 真理 ( ) <平成30年4月>
		アパレル評価論
兼任	講師	増田 智恵 ( ) <平成30年4月>
		アパレル製品設計学

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	講師	佐藤 克成 ( ) <平成30年4月>
		ウェアラブルコン ピューティング特論 ウェアラブルコン ピューティング特論 演習
兼任	助教	橋本 朋子 ( ) <平成30年4月>
		衣環境材料学 衣環境材料学演習
兼任	講師	横野 恵 ( ) <平成30年4月>
		研究者倫理
兼任	講師	杉山 晋平 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐI
兼任	講師	井上 真理 ( ) <平成30年4月>
		アパレル評価論
兼任	講師	増田 智恵 ( ) <平成30年4月>
		アパレル製品設計学

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。**  
・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。  
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

教養科目においては、より専門分野を超えてものごとを俯瞰する力を培うため、杉山晋平 兼任教員就任

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
3	3	1	0	7	3	3	1	0	7	3	3	1	0	7
(3)	(3)	(1)	(0)	(7)						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
6	1	0			6	1	0			6	1	0		
(6)	(1)	(0)								[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、  
**完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：△1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記(B)）の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{7}{7} = \boxed{100.00} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{7} = \boxed{0.00} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (D)			後任補充状況の集計 (E)				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計 (F)			後任補充状況の集計 (G)				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)				
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{7} = 0.00 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<人間文化研究科 情報衣環境学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 人間文化研究科FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年数回開催</p> <p>c 委員会の審議事項等 大学院におけるFDの実施及び実施体制に関すること FDの評価に関すること その他FDに関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 大学院FD活動の作成 FD研修会の実施</p> <p>b 実施方法 人間文化研究科で実施する</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 年1回実施</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 学生アンケートについて、結果を大学院担当教員にフィードバックしている</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 学年末に学生アンケートを実施</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 人間文化研究科FD活動報告を含めたFD活動実績報告書を教員に配付するとともに、学生には学術情報処理センターにおいて閲覧可能にしている</p>
---

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>設置の趣旨・目的等、設置計画どおりに実施している。今後も引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおりに実施することとしている。</p> <p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成31年8月末 公表予定</li></ul> <p>b 公表方法</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・大学ホームページ上に公開予定</li></ul> <p>③ 認証評価を受ける計画</p> <p>平成31年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）による大学機関別認証評価を受審予定である。</p>
--

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。  
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。  
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表（予定）の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無 )</p> <p>b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成30年 6月 30日 )</p>
---

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。  
・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 奈良女子大学

## (2) 大学名

奈良女子大学

## (3) 大学の位置

〒630-8506

奈良県奈良市北魚屋西町（奈良県奈良市北魚屋東町）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(イマオカ ハルキ) 今岡 春樹 (平成29年4月)		
研究科長	(タカダ マサシ) 高田 将志 (平成29年4月)		
専攻長	(ヤマウチ シゲオ) 山内 茂雄 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
人間文化研究科 数物科学専攻 (博士前期課程) 修士(理学) 修士(学術)	理学関係	2 年	28 人	56 人	基礎となる学部等  理学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	28 ( - ) [ - ]	人 人	( ) ( ) [ ]	1.00 倍				
志願者数	37 ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]						
受験者数	35 ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]						
合格者数	32 ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]						
B 入学者数	28 ( - ) [ - ]	( ) ( ) [ ]						
入学定員超過率 B/A	1.00							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成30年度		平成31年度				備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	28 [ - ] ( - )	[ ] ( )					
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			[ ] ( )	[ ] ( )			
計	28 [ - ] ( - )	[ ] ( )					

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数で**記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	28人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
合計	28人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{28} = \boxed{0.00} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\phantom{0.00}} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<人間文化研究科 数物科学専攻>

### (1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目群	数物科学における研究倫理	1前	1			4						兼5 兼5
	学びをつむぐⅠ	1後	1									
	学びをつむぐⅡ	2通	1									
	現代数物概論A	1・2前	2			6	3		3			
	現代数物概論B	1・2後	2			2	2					
現代数物概論C	1・2後	2			1	3						
専門群 数学コース	位相と多様体論	1・2後	2			1						
	3次元トポロジー	1・2前	2						1			
	応用トポロジー	1・2後	2			1						
	解析と数論	1・2後	2			1						
	対称性の数学	1・2前	2			1						
	低次元位相幾何学	1・2後	2						1			
	幾何学的群論	1・2前	2			1						
	代数概論	1・2前	2				1					
	関数方程式	1・2前	2			1						
	関数解析	1・2後	2			1						
	確率論	1・2前	2			1						
	確率微分方程式	1・2前	2						1			
	数学特別セミナーⅠ	1前	2			6	3		3			兼1
数学特別セミナーⅡ	1後	2			6	3		3			兼1	
数学特別セミナーⅢ	2前	2			6	3		3			兼1	
専門群 物理学コース	非線形・情報統計力学セミナーA	1・2前	2			1						
	非線形・情報統計力学セミナーB	1・2後	2			1						
	プラズマ物理学特論	1・2前	2			1						
	非線形動力学特論	1・2後	2			1						
	非線形・情報統計力学特論	1・2通年	2									兼1
	高エネルギー物理学A	1・2前	2			1						
	高エネルギー物理学B	1・2後	2			1						
	高エネルギー原子核実験物理学	1・2前	2						1			
	高エネルギー物理学セミナーA	1後	2			2						
	高エネルギー物理学セミナーB	2前	2			1			1			
	高エネルギー物理学特論A	1・2通年	2									兼1
	高エネルギー物理学特論B	1・2通年	2									兼1
	原子核物理学特論	1・2前	2			1						
	原子核理論セミナー	1・2後	2			1						
	原子核反応論セミナー	1・2前	2			1						
	中間子物理学	1・2後	2			1						
	ハドロン物理学特論	1・2通年	2									兼1
場の量子論A	1・2前	2			1							
場の量子論B	1・2後	2						1				
素粒子論セミナーA	1・2前	2			1							

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養科目群	数物科学における研究倫理	1前	1			3						兼1
	学びをつむぐⅠ	1後	1									兼6
	学びをつむぐⅡ	2通	1									兼5
	現代数物概論A	1・2前	2			6	3		3			
	現代数物概論B	1・2後	2			3	1					
現代数物概論C	1・2後	2			2	2						
専門群 数学コース	位相と多様体論	1・2後	2			1						
	3次元トポロジー	1・2前	2						1			
	応用トポロジー	1・2後	2			1						
	解析と数論	1・2後	2			1						
	対称性の数学	1・2前	2			1						
	低次元位相幾何学	1・2後	2						1			
	幾何学的群論	1・2前	2			1						
	代数概論	1・2前	2				1					
	関数方程式	1・2前	2			1						
	関数解析	1・2後	2			1						
	確率論	1・2前	2			1						
	確率微分方程式	1・2前	2						1			
	数学特別セミナーⅠ	1前	2			7	3		3			
数学特別セミナーⅡ	1後	2			7	3		3				
数学特別セミナーⅢ	2前	2			7	3		3				
専門群 物理学コース	非線形・情報統計力学セミナーA	1・2前	2			1						
	非線形・情報統計力学セミナーB	1・2後	2			1						
	プラズマ物理学特論	1・2前	2			1						
	非線形動力学特論	1・2後	2			1						
	非線形・情報統計力学特論	1・2通年	2									兼1
	高エネルギー物理学A	1・2前	2			1						
	高エネルギー物理学B	1・2後	2			1						
	高エネルギー原子核実験物理学	1・2前	2						1			
	高エネルギー物理学セミナーA	1後	2			2						
	高エネルギー物理学セミナーB	2前	2			1			1			
	高エネルギー物理学特論A	1・2通年	2									兼1
	高エネルギー物理学特論B	1・2通年	2									兼1
	原子核物理学特論	1・2前	2			1						
	原子核理論セミナー	1・2後	2			1						
	原子核反応論セミナー	1・2前	2			1						
	中間子物理学	1・2後	2			1						
	ハドロン物理学特論	1・2通年	2									兼1
場の量子論A	1・2前	2			1							
場の量子論B	1・2後	2						1				
素粒子論セミナーA	1・2前	2			1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門群 物理学コース	素粒子論セミナーB	1・2後	2			1		1			兼1
	素粒子物理学特論	1・2通年	2								兼1
	宇宙物理学A	1・2後	2		1						
	宇宙物理学B	1・2前	2			1					
	宇宙物理学セミナーA	1・2前	2		1						
	宇宙物理学セミナーB	1・2後	2			1					
	宇宙物理学特論	1・2通年	2								兼1
	統計力学基礎特論	1・2後	2			1					
	非平衡ダイナミクスセミナーA	1・2前	2			2					
	非平衡ダイナミクスセミナーB	1・2前	2			2					
	非平衡ダイナミクス特論	1・2通年	2								兼1
	物性基礎論A	1・2前	2		1						
	物性基礎論B	1・2後	2		1						
	量子多体物理学A	1・2前	2			1					
	量子多体物理学B	1・2後	2			1					
	固体電子論特論	1・2通年	2								兼1
	金属電子論	1・2前	2			1					
	金属電子論セミナー	1・2後	2			1					
	磁性物理学A	1・2前	2			1					
	磁性物理学B	1・2後	2			1					
固体物理学特論	1・2通年	2								兼1	
放射線物性	1・2前	2			1						
放射線物理学セミナーA	1・2前	2			1						
放射線実験学	1・2後	2			1						
放射線物理学セミナーB	1・2後	2			1						
放射線物理学特論	1・2通年	2								兼1	
現代物理の基礎A	1前	1		2							
現代物理の基礎B	1前	1		1	1						
現代物理の基礎C	2前	1			1						
現代物理の基礎D	2前	1			1						
専門群 数物連携コース	計算代数	1・2後	2								兼1
	双曲幾何学特論	1・2後	2		1						
	線形代数統論	1・2前	2			1					
	位相的データ解析	1・2後	2		1						
	数論的多様体上の解析学	1・2後	2								兼1
	熱と波動の数学	1・2前	2		1						
	自然現象と確率解析	1・2前	2						1		
	現象の幾何	1・2前	2		1						
	量子多体系の数理	1・2後	2			1					
	量子多体系の数理セミナー	1・2後	2			1					
	相転移現象の数理	1・2前	2		1						
	相転移現象の数理セミナー	1・2前	2		1						
	パターン形成の数理	1・2後	2			1					
	量子伝導理論A	1・2前	2		1						
	量子伝導理論B	1・2後	2		1						
	凝縮系の場の理論A	1・2前	2			1					
	凝縮系の場の理論B	1・2後	2			1					
	数物特別セミナーA	1・2前	1			2		2			
	数物特別セミナーB	1・2後	1			2		2			
	数物特別セミナーC	1・2前	1			2		2			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門群 物理学コース	素粒子論セミナーB	1・2後	2			1		1			兼1
	素粒子物理学特論	1・2通年	2								兼1
	宇宙物理学A	1・2後	2		1						
	宇宙物理学B	1・2前	2			1					
	宇宙物理学セミナーA	1・2前	2		1						
	宇宙物理学セミナーB	1・2後	2			1					
	宇宙物理学特論	1・2通年	2								兼1
	統計力学基礎特論	1・2後	2			1					
	非平衡ダイナミクスセミナーA	1・2前	2			1	1				
	非平衡ダイナミクスセミナーB	1・2前	2			1	1				
	非平衡ダイナミクス特論	1・2通年	2								兼1
	物性基礎論A	1・2前	2		1						
	物性基礎論B	1・2後	2		1						
	量子多体物理学A	1・2前	2			1					
	量子多体物理学B	1・2後	2			1					
	固体電子論特論	1・2通年	2								兼1
	金属電子論	1・2前	2			1					
	金属電子論セミナー	1・2後	2			1					
	磁性物理学A	1・2前	2			1					
	磁性物理学B	1・2後	2			1					
固体物理学特論	1・2通年	2								兼1	
放射線物性	1・2前	2			1						
放射線物理学セミナーA	1・2前	2			1					兼1	
放射線実験学	1・2後	2			1					兼1	
放射線物理学セミナーB	1・2後	2			1						
放射線物理学特論	1・2通年	2								兼1	
現代物理の基礎A	1前	1		2							
現代物理の基礎B	1前	1		1	1						
現代物理の基礎C	2前	1			1						
現代物理の基礎D	2前	1			1						
専門群 数物連携コース	計算代数	1・2後	2			1					兼1
	双曲幾何学特論	1・2後	2		1						
	線形代数統論	1・2前	2			1					
	位相的データ解析	1・2後	2		1						
	数論的多様体上の解析学	1・2後	2								兼1
	熱と波動の数学	1・2前	2		1						
	自然現象と確率解析	1・2前	2						1		
	現象の幾何	1・2前	2		1						
	量子多体系の数理	1・2後	2			1					
	量子多体系の数理セミナー	1・2後	2			1					
	相転移現象の数理	1・2前	2		1						
	相転移現象の数理セミナー	1・2前	2		1						
	パターン形成の数理	1・2後	2			1					
	量子伝導理論A	1・2前	2		1						
	量子伝導理論B	1・2後	2		1						
	凝縮系の場の理論A	1・2前	2			1					
	凝縮系の場の理論B	1・2後	2			1					
	数物特別セミナーA	1・2前	1			2		2			
	数物特別セミナーB	1・2後	1			2		2			
	数物特別セミナーC	1・2前	1			2		2			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	数物特別セミナーD	1・2後		1			2		2			
数学等作成群 数学コース	数学特別研究Ⅰ	1前	4			6	3		3			兼1
	数学特別研究Ⅱ	1後	4			6	3		3			兼1
	数学特別研究Ⅲ	2前	4			6	3		3			兼1
	数学特別研究Ⅳ	2後	4			6	3		3			兼1
物理学作成群 物理学コース	物理学特別研究Ⅰ	1前	4			7	10		2			
	物理学特別研究Ⅱ	1後	4			7	10		2			
	物理学特別研究Ⅲ	2前	4			7	10		2			
	物理学特別研究Ⅳ	2後	4			7	10		2			
数物連携コース 論文等作成群	数物特別研究Ⅰ	1前	4			5	3					兼1
	数物特別研究Ⅱ	1後	4			5	3					兼1
	数物特別研究Ⅲ	2前	4			5	3					兼1
	数物特別研究Ⅳ	2後	4			5	3					兼1
実践群	双方向型インターン実習A	1・2通		2								兼1
	双方向型インターン実習B	1・2通		2								兼1
	プロジェクト企画運営実習Ⅰ	1・2前		1					1			兼1
	プロジェクト企画運営実習Ⅱ	1・2前		1					1			兼1

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	数物特別セミナーD	1・2後		1			2		2			
数学等作成群 数学コース	数学特別研究Ⅰ	1前	4			7	3		3			
	数学特別研究Ⅱ	1後	4			7	3		3			
	数学特別研究Ⅲ	2前	4			7	3		3			
	数学特別研究Ⅳ	2後	4			7	3		3			
物理学作成群 物理学コース	物理学特別研究Ⅰ	1前	4			8	8		2			兼1
	物理学特別研究Ⅱ	1後	4			8	8		2			兼1
	物理学特別研究Ⅲ	2前	4			8	8		2			兼1
	物理学特別研究Ⅳ	2後	4			8	8		2			兼1
数物連携コース 論文等作成群	数物特別研究Ⅰ	1前	4			7	2					
	数物特別研究Ⅱ	1後	4			7	2					
	数物特別研究Ⅲ	2前	4			7	2					
	数物特別研究Ⅳ	2後	4			7	2					
実践群	双方向型インターン実習A	1・2通		2		1						
	双方向型インターン実習B	1・2通		2		1						
	プロジェクト企画運営実習Ⅰ	1・2前		1		1			1			
	プロジェクト企画運営実習Ⅱ	1・2前		1		1			1			

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
- ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
- ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教養科目においては、より専門分野を超えてものごとを俯瞰する力を培うため、「学びをつむぐⅠ」の専任教員等の配置を「兼任5」から「兼任5、兼任1」に変更。
- ・教授が副学長に就任したことにより、専任教員等の配置を「数物科学における研究倫理」では「教授4」から「教授3、兼任1」に、「放射線物理学セミナーA」、「放射線実験学」では「教授1」から「兼任1」に変更。同様の理由で「現代物理の基礎B」を「教授1、准教授1」から「准教授1、兼任1」に変更。
- ・副学長が教授に就任したことにより、「数学特別セミナーⅠ」、「数学特別セミナーⅡ」、「数学特別セミナーⅢ」、「数学特別研究Ⅰ」、「数学特別研究Ⅱ」、「数学特別研究Ⅲ」、「数学特別研究Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授6、准教授3、助教3、兼任1」から「教授7、准教授3、助教3」に変更。同様の理由で、専任教員等の配置を「数論的多様体上の解析学」、「双方向型インターン実習A」、「双方向型インターン実習B」では「兼任1」から「教授1」に、「プロジェクト企画運営実習Ⅰ」、「プロジェクト企画運営実習Ⅱ」では「助教1、兼任1」から「教授1、助教1」に変更。
- ・専任教員の昇任により、専任教員等の配置を「現代数物概論B」では「教授2名、准教授2名」から「教授3名、准教授1名」に、「現代数物概論C」では「教授1、准教授3」から「教授2、准教授2」に、「非平衡ダイナミクスセミナーA」、「非平衡ダイナミクスセミナーB」では「准教授2」から「教授1、准教授1」に変更。同様の理由で、「非線形・情報統計力学セミナーA」、「プラズマ物理学特論」、「統計力学基礎特論」、「量子多体系の数理」、「量子多体系の数理セミナー」の専任教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
- ・完成年度時退職予定の教員について、平成30年度は専任教員として在籍しているため、「計算代数」を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・教授が副学長に就任し、専任教員が昇任したことにより、「物理学特別研究Ⅰ」、「物理学特別研究Ⅱ」、「物理学特別研究Ⅲ」、「物理学特別研究Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授7、准教授10、助教2」から「教授8、准教授8、助教2、兼任1」に変更。
- ・副学長が教授に就任し、専任教員が昇任したことにより、「数物特別研究Ⅰ」、「数物特別研究Ⅱ」、「数物特別研究Ⅲ」、「数物特別研究Ⅳ」の専任教員等の配置を「教授5、准教授3、兼任1」から「教授7、准教授2」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
12	96	0	108	12	96	0	108	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{108} = \boxed{0.00}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容					備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体  その他には附属学校等 敷地を含む。			
	校舎敷地	66,081㎡	0㎡	0㎡	66,081㎡				
	運動場用地	10,179㎡	0㎡	0㎡	10,179㎡				
	小 計	76,260㎡	0㎡	0㎡	76,260㎡				
	そ の 他	104,050㎡	0㎡	0㎡	104,050㎡				
	合 計	180,310㎡	0㎡	0㎡	180,310㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		59,605㎡ ( 59,605㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	59,605㎡ ( 59,605㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	他に、大学全体の共用 教室を利用。		
		10室	13室	26室	0室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		大学院人間文化研究科数物科学専攻			32 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	専攻単位での特定が不 能なため、大学全体の 数	
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル					
		冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
		大学院 人間文化研究科 数物科学専攻	585,332[160,100] (585,332[160,100])	20,657[6,936] (20,657[6,936])	3,875[3,875] (3,875[3,875])	11,015 (11,015)	1,466 (1,466)		162 (162)
計	585,332[160,100] (585,332[160,100])	20,657[6,936] (20,657[6,936])	3,875[3,875] (3,875[3,875])	11,015 (11,015)	1,466 (1,466)	162 (162)			
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		4,523㎡		154	488,253				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
		1,822㎡		テニスコート3面		弓道場			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当たり研究費等	—	—	図書購入費	—	—	—	
		共同研究費等	—	—	設備購入費	—	—	—	
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		—	—	—	—	—	—		
学生納付金以外の維持方法の概要			—						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	奈良女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員定員	収容量	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
<学部>	年	人	年次人	人		倍			
文学部							昭和24年度	奈良県奈良市北魚屋西町	
人文社会学科	4	60		240	学士(文学)	一括募集 1.11	平成7年度		
言語文化学科	4	50		200	学士(文学)		平成7年度		
人間科学科	4	40		160	学士(文学)		平成7年度		
(学部共通)			3年次 16	32					
理学部							昭和28年度	奈良県奈良市北魚屋西町	
数物科学科	4	63		252	学士(理学)	1.21	平成26年度		
化学生物環境学科	4	87		348	学士(理学)	1.19	平成26年度		
数学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	昭和28年度		平成26年度から学生募集停止
物理科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	平成8年度		平成26年度から学生募集停止
化学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	昭和28年度		平成26年度から学生募集停止
生物科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	平成8年度		平成26年度から学生募集停止
情報科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	平成3年度		平成26年度から学生募集停止
(学部共通)			3年次 10	20					
生活環境学部							平成5年度	奈良県奈良市北魚屋西町	
食物栄養学科	4	35	-	140	学士(生活環境学)	1.12	平成17年度		
心身健康学科	4	40		160	学士(生活健康科学)	1.20	平成26年度		
情報衣環境学科	4	35		140	学士(生活環境学)	1.17	平成26年度		
住環境学科	4	35		140	学士(生活環境学)	1.12	平成18年度		
生活文化学科	4	30		120	学士(生活環境学)	1.14	平成18年度		
生活健康・衣環境学科	4	-	-	-	学士(生活環境学)	-	平成17年度		平成26年度から学生募集停止
(学部共通(食物栄養学科除く))			3年次 14	28					

<大学院>									
人間文化研究科						昭和56年度	奈良県奈良市 北魚屋西町		
(博士前期課程)									
人文社会学専攻	2	24	-	48	0.60	平成10年度			
言語文化学専攻	2	18	-	36	0.30	平成10年度			
人間科学専攻	2	12		12	0.83	平成30年度			
食物栄養学専攻	2	13	-	26	0.92	平成19年度			
心身健康学専攻	2	22	-	22	0.72	平成30年度			
情報衣環境学専攻	2	10		10	1.00	平成30年度			
生活工学共同専攻	2	7	-	14	0.78	平成28年度			
住環境学専攻	2	13	-	26	1.19	平成19年度			
生活文化学専攻	2	9	-	18	0.72	平成19年度			
数物科学専攻	2	28	-	28	1.00	平成30年度			
化学生物環境学専攻	2	42	-	42	1.42	平成30年度			
人間行動科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度			平成30年度から学生募集停止
心身健康学専攻	2	-	-	-	-	平成26年度			平成30年度から学生募集停止
数学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度			平成30年度から学生募集停止
物理科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度			平成30年度から学生募集停止
化学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度			平成30年度から学生募集停止
生物科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度			平成30年度から学生募集停止
情報科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度			平成30年度から学生募集停止
(博士後期課程)									
比較文化学専攻	3	10	-	32	0.63	平成11年度			
社会生活環境学専攻	3	15	-	45	0.64	平成15年度			
共生自然科学専攻	3	8	-	31	0.75	平成15年度			
生活工学共同専攻	3	2	-	6	1.16	平成28年度			
複合現象科学専攻	3	3	-	14	0.66	平成15年度			

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「-」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人間文化研究科 数物科学専攻（博士前期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【平成30年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名	担当授業科目名
兼任	講師	加古 富志雄 ( ) <平成30年4月>	加古 富志雄 ( ) <平成30年4月>
		計算代数	計算代数
専	教授	小林 毅 ( ) <平成30年4月>	小林 毅 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論A※ 応用トポロジー【隔年】 数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 位相的データ解析【隔年】 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ 数物特別研究Ⅰ 数物特別研究Ⅱ 数物特別研究Ⅲ 数物特別研究Ⅳ	現代数物概論A※ 応用トポロジー【隔年】 数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 位相的データ解析【隔年】 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ 数物特別研究Ⅰ 数物特別研究Ⅱ 数物特別研究Ⅲ 数物特別研究Ⅳ
専	教授	篠田 正人 ( ) <平成30年4月>	篠田 正人 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論A※ 確率論 数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ	現代数物概論A※ 確率論 数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ
専	教授	松澤 淳一 ( ) <平成30年4月>	松澤 淳一 ( ) <平成30年4月>
		数物科学における研究倫理 現代数物概論A※ 対称性の数学【隔年】 数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 現象の幾何【隔年】 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ 数物特別研究Ⅰ 数物特別研究Ⅱ 数物特別研究Ⅲ 数物特別研究Ⅳ	数物科学における研究倫理 現代数物概論A※ 対称性の数学【隔年】 数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 現象の幾何【隔年】 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ 数物特別研究Ⅰ 数物特別研究Ⅱ 数物特別研究Ⅲ 数物特別研究Ⅳ
専	教授	森藤 紳哉 ( ) <平成30年4月>	森藤 紳哉 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論A※ 関数解析 数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ	現代数物概論A※ 関数解析 数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	柳沢 卓 ( ) <平成30年4月>
		数物科学における研究倫理 現代数物概論A※ 関数方程式【隔年】 数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 熱と波動の数学【隔年】 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ
		山下 靖 ( ) <平成30年4月>
専	教授	現代数物概論A※ 幾何学的群論【隔年】 数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 双曲幾何学特論【隔年】 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ 数物特別研究Ⅰ 数物特別研究Ⅱ 数物特別研究Ⅲ 数物特別研究Ⅳ
		上江洲 達也 ( ) <平成30年4月>
		数物科学における研究倫理 現代数物概論B※【隔年】 非線形・情報統計力学セミナーB【隔年】 非線形動力学特論【隔年】 相転移現象の数理【隔年】 相転移現象の数理セミナー【隔年】 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ 数物特別研究Ⅰ 数物特別研究Ⅱ 数物特別研究Ⅲ 数物特別研究Ⅳ
専	教授	小川 英巳 ( ) <平成30年4月>
		数物科学における研究倫理 放射線物理学セミナーA 放射線実験学 現代物理の基礎B 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ
		小川 英巳 ( ) <平成30年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	柳沢 卓 ( ) <平成30年4月>
		数物科学における研究倫理 現代数物概論A※ 関数方程式【隔年】 数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 熱と波動の数学【隔年】 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ
		山下 靖 ( ) <平成30年4月>
専	教授	現代数物概論A※ 幾何学的群論【隔年】 数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 双曲幾何学特論【隔年】 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ 数物特別研究Ⅰ 数物特別研究Ⅱ 数物特別研究Ⅲ 数物特別研究Ⅳ
		上江洲 達也 ( ) <平成30年4月>
		数物科学における研究倫理 現代数物概論B※【隔年】 非線形・情報統計力学セミナーB【隔年】 非線形動力学特論【隔年】 相転移現象の数理【隔年】 相転移現象の数理セミナー【隔年】 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ 数物特別研究Ⅰ 数物特別研究Ⅱ 数物特別研究Ⅲ 数物特別研究Ⅳ
兼任	副学長	小川 英巳 ( ) <平成30年4月>
		数物科学における研究倫理 放射線物理学セミナーA 放射線実験学 現代物理の基礎B 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ
		小川 英巳 ( ) <平成30年4月>

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	林井 久樹 ( ) <平成30年4月>
		高エネルギー物理学B 高エネルギー物理学 セミナーA 現代物理の基礎A 物理学特別研究I 物理学特別研究II 物理学特別研究III 物理学特別研究IV
専	教授	比連崎 悟 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論C※【隔年】 原子核反応論セミナー 中間子物理学 物理学特別研究I 物理学特別研究II 物理学特別研究III 物理学特別研究IV
専	教授	宮林 謙吉 ( ) <平成30年4月>
		高エネルギー物理学A 高エネルギー物理学 セミナーA 高エネルギー物理学 セミナーB 現代物理の基礎A 物理学特別研究I 物理学特別研究II 物理学特別研究III 物理学特別研究IV
専	教授	山内 茂雄 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論B※【隔年】 宇宙物理学A 宇宙物理学セミナーA 物理学特別研究I 物理学特別研究II 物理学特別研究III 物理学特別研究IV
専	教授	吉岡 英生 ( ) <平成30年4月>
		物性基礎論A【隔年】 物性基礎論B【隔年】 現代物理の基礎D 量子伝導理論A【隔年】 量子伝導理論B【隔年】 物理学特別研究I 物理学特別研究II 物理学特別研究III 物理学特別研究IV 数物特別研究I 数物特別研究II 数物特別研究III 数物特別研究IV
専	准教授	梅垣 由美子 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論A※ 解析と数論 数学特別セミナーI 数学特別セミナーII 数学特別セミナーIII 数学特別研究I 数学特別研究II 数学特別研究III 数学特別研究IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	林井 久樹 ( ) <平成30年4月>
		高エネルギー物理学B 高エネルギー物理学 セミナーA 現代物理の基礎A 物理学特別研究I 物理学特別研究II 物理学特別研究III 物理学特別研究IV
専	教授	比連崎 悟 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論C※【隔年】 原子核反応論セミナー 中間子物理学 物理学特別研究I 物理学特別研究II 物理学特別研究III 物理学特別研究IV
専	教授	宮林 謙吉 ( ) <平成30年4月>
		高エネルギー物理学A 高エネルギー物理学 セミナーA 高エネルギー物理学 セミナーB 現代物理の基礎A 物理学特別研究I 物理学特別研究II 物理学特別研究III 物理学特別研究IV
専	教授	山内 茂雄 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論B※【隔年】 宇宙物理学A 宇宙物理学セミナーA 物理学特別研究I 物理学特別研究II 物理学特別研究III 物理学特別研究IV
専	教授	吉岡 英生 ( ) <平成30年4月>
		物性基礎論A【隔年】 物性基礎論B【隔年】 現代物理の基礎D 量子伝導理論A【隔年】 量子伝導理論B【隔年】 物理学特別研究I 物理学特別研究II 物理学特別研究III 物理学特別研究IV 数物特別研究I 数物特別研究II 数物特別研究III 数物特別研究IV
専	准教授	梅垣 由美子 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論A※ 解析と数論 数学特別セミナーI 数学特別セミナーII 数学特別セミナーIII 数学特別研究I 数学特別研究II 数学特別研究III 数学特別研究IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	岡崎 武生 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論A※ 代数概論【隔年】 数学特別セミナーI 数学特別セミナーII 数学特別セミナーIII 線形代数統論【隔年】 数学特別研究I 数学特別研究II 数学特別研究III 数学特別研究IV
専	准教授	片桐 民陽 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論A※ 位相と多様体論 数学特別セミナーI 数学特別セミナーII 数学特別セミナーIII 数学特別研究I 数学特別研究II 数学特別研究III 数学特別研究IV
専	准教授	石井 邦和 ( ) <平成30年4月>
		放射線物性 放射線物理学セミナーB 現代物理の基礎B 物理学特別研究I 物理学特別研究II 物理学特別研究III 物理学特別研究IV
専	准教授	太田 直美 ( ) <平成30年4月>
		宇宙物理学B 宇宙物理学セミナーB 数物特別セミナーA【隔年】 数物特別セミナーB【隔年】 数物特別セミナーC【隔年】 数物特別セミナーD【隔年】 物理学特別研究I 物理学特別研究II 物理学特別研究III 物理学特別研究IV
専	准教授	狐崎 創 ( ) <平成30年4月>
		非平衡ダイナミクスセミナーA【隔年】 非平衡ダイナミクスセミナーB【隔年】 現代物理の基礎C パターン形成の数理 物理学特別研究I 物理学特別研究II 物理学特別研究III 物理学特別研究IV 数物特別研究I 数物特別研究II 数物特別研究III 数物特別研究IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	岡崎 武生 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論A※ 代数概論【隔年】 数学特別セミナーI 数学特別セミナーII 数学特別セミナーIII 線形代数統論【隔年】 数学特別研究I 数学特別研究II 数学特別研究III 数学特別研究IV
専	准教授	片桐 民陽 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論A※ 位相と多様体論 数学特別セミナーI 数学特別セミナーII 数学特別セミナーIII 数学特別研究I 数学特別研究II 数学特別研究III 数学特別研究IV
専	准教授	石井 邦和 ( ) <平成30年4月>
		放射線物性 放射線物理学セミナーB 現代物理の基礎B 物理学特別研究I 物理学特別研究II 物理学特別研究III 物理学特別研究IV
専	准教授	太田 直美 ( ) <平成30年4月>
		宇宙物理学B 宇宙物理学セミナーB 数物特別セミナーA【隔年】 数物特別セミナーB【隔年】 数物特別セミナーC【隔年】 数物特別セミナーD【隔年】 物理学特別研究I 物理学特別研究II 物理学特別研究III 物理学特別研究IV
専	准教授	狐崎 創 ( ) <平成30年4月>
		非平衡ダイナミクスセミナーA【隔年】 非平衡ダイナミクスセミナーB【隔年】 現代物理の基礎C パターン形成の数理 物理学特別研究I 物理学特別研究II 物理学特別研究III 物理学特別研究IV 数物特別研究I 数物特別研究II 数物特別研究III 数物特別研究IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	清川 修二 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論C※【隔年】 非線形・情報統計力学セミナーA【隔年】 プラズマ物理学特論【隔年】 量子多体系の数理【隔年】 量子多体系の数理セミナー【隔年】 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ 数物特別研究Ⅰ 数物特別研究Ⅱ 数物特別研究Ⅲ 数物特別研究Ⅳ
		高橋 智彦 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論B※【隔年】 場の量子論A 素粒子論セミナーA 素粒子論セミナーB 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ
専	准教授	土射津 昌久 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論C※【隔年】 量子多体物理学A【隔年】 量子多体物理学B【隔年】 凝縮系の場の理論A【隔年】 凝縮系の場の理論B【隔年】 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ 数物特別研究Ⅰ 数物特別研究Ⅱ 数物特別研究Ⅲ 数物特別研究Ⅳ
		戸田 幹人 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論B※【隔年】 統計力学基礎特論 非平衡ダイナミクスセミナーA【隔年】 非平衡ダイナミクスセミナーB【隔年】 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	清川 修二 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論C※【隔年】 非線形・情報統計力学セミナーA【隔年】 プラズマ物理学特論【隔年】 量子多体系の数理【隔年】 量子多体系の数理セミナー【隔年】 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ 数物特別研究Ⅰ 数物特別研究Ⅱ 数物特別研究Ⅲ 数物特別研究Ⅳ
		高橋 智彦 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論B※【隔年】 場の量子論A 素粒子論セミナーA 素粒子論セミナーB 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ
専	准教授	土射津 昌久 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論C※【隔年】 量子多体物理学A【隔年】 量子多体物理学B【隔年】 凝縮系の場の理論A【隔年】 凝縮系の場の理論B【隔年】 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ 数物特別研究Ⅰ 数物特別研究Ⅱ 数物特別研究Ⅲ 数物特別研究Ⅳ
		戸田 幹人 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論B※【隔年】 統計力学基礎特論 非平衡ダイナミクスセミナーA【隔年】 非平衡ダイナミクスセミナーB【隔年】 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	永廣 秀子 ( ) <平成30年4月>
		原子核物理学特論 原子核理論セミナー 数物特別セミナーA 【隔年】 数物特別セミナーB 【隔年】 数物特別セミナーC 【隔年】 数物特別セミナーD 【隔年】 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ
		松岡 由貴 ( ) <平成30年4月>
		磁性物理学A 磁性物理学B 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ
		山本 一樹 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論C※【隔年】 金属電子論 金属電子論セミナー 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ
		張 娟姫 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論A※ 3次元トポロジー 数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ
		嶽村 智子 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論A※ 確率微分方程式【隔年】 数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 自然現象と確率解析 【隔年】 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ プロジェクト企画運営 実習Ⅰ プロジェクト企画運営 実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	永廣 秀子 ( ) <平成30年4月>
		原子核物理学特論 原子核理論セミナー 数物特別セミナーA 【隔年】 数物特別セミナーB 【隔年】 数物特別セミナーC 【隔年】 数物特別セミナーD 【隔年】 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ
		松岡 由貴 ( ) <平成30年4月>
		磁性物理学A 磁性物理学B 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ
		山本 一樹 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論C※【隔年】 金属電子論 金属電子論セミナー 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ
		張 娟姫 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論A※ 3次元トポロジー 数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ
		嶽村 智子 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論A※ 確率微分方程式【隔年】 数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 自然現象と確率解析 【隔年】 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ プロジェクト企画運営 実習Ⅰ プロジェクト企画運営 実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	村井 紘子 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論A※ 低次元位相幾何学 数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ
専	助教	大木 洋 ( ) <平成30年4月>
		場の量子論B 素粒子論セミナーA 素粒子論セミナーB 数物特別セミナーA 【隔年】 数物特別セミナーB 【隔年】 数物特別セミナーC 【隔年】 数物特別セミナーD 【隔年】 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ
専	助教	下村 真弥 ( ) <平成30年4月>
		高エネルギー原子核 実験物理学 高エネルギー物理学 セミナーB 数物特別セミナーA 【隔年】 数物特別セミナーB 【隔年】 数物特別セミナーC 【隔年】 数物特別セミナーD 【隔年】 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ
兼任	副学長	角田 秀一郎 ( ) <平成30年4月>
		数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 数論的多様体上の解 析学【隔年】 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ 数物特別研究Ⅰ 数物特別研究Ⅱ 数物特別研究Ⅲ 数物特別研究Ⅳ 双方向型インターン 実習A【隔年】 双方向型インターン 実習B【隔年】 プロジェクト企画運 営実習Ⅰ プロジェクト企画運 営実習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	村井 紘子 ( ) <平成30年4月>
		現代数物概論A※ 低次元位相幾何学 数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ
専	助教	大木 洋 ( ) <平成30年4月>
		場の量子論B 素粒子論セミナーA 素粒子論セミナーB 数物特別セミナーA 【隔年】 数物特別セミナーB 【隔年】 数物特別セミナーC 【隔年】 数物特別セミナーD 【隔年】 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ
専	助教	下村 真弥 ( ) <平成30年4月>
		高エネルギー原子核 実験物理学 高エネルギー物理学 セミナーB 数物特別セミナーA 【隔年】 数物特別セミナーB 【隔年】 数物特別セミナーC 【隔年】 数物特別セミナーD 【隔年】 物理学特別研究Ⅰ 物理学特別研究Ⅱ 物理学特別研究Ⅲ 物理学特別研究Ⅳ
専	教授	角田 秀一郎 ( ) <平成30年4月>
		数学特別セミナーⅠ 数学特別セミナーⅡ 数学特別セミナーⅢ 数論的多様体上の解 析学【隔年】 数学特別研究Ⅰ 数学特別研究Ⅱ 数学特別研究Ⅲ 数学特別研究Ⅳ 数物特別研究Ⅰ 数物特別研究Ⅱ 数物特別研究Ⅲ 数物特別研究Ⅳ 双方向型インターン 実習A【隔年】 双方向型インターン 実習B【隔年】 プロジェクト企画運 営実習Ⅰ プロジェクト企画運 営実習Ⅱ

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	西村 拓生 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼担	教授	駒谷 昇一 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼担	教授	高田 将志 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼担	教授	宮路 淳子 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼担	教授	酒井 敦 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	講師	河村 洋史 ( ) <平成30年4月>
		非線形・情報統計力学 特論【隔年】
兼任	講師	中尾 幹彦 ( ) <平成30年4月>
		高エネルギー物理学特 論A【隔年】
兼任	講師	山崎 祐司 ( ) <平成30年4月>
		高エネルギー物理学特 論B【隔年】
兼任	講師	藤岡 宏之 ( ) <平成30年4月>
		ハドロン物理学特論 【隔年】
兼任	講師	伊藤 克美 ( ) <平成30年4月>
		素粒子物理学特論【隔 年】
兼任	講師	上田 佳宏 ( ) <平成30年4月>
		宇宙物理学特論【隔 年】
兼任	講師	高見 利也 ( ) <平成30年4月>
		非平衡ダイナミクス特 論【隔年】
兼任	講師	大野 義章 ( ) <平成30年4月>
		固体電子論特論【隔 年】
兼任	講師	重松 宏武 ( ) <平成30年4月>
		固体物理学特論【隔 年】
兼任	講師	田沼 肇 ( ) <平成30年4月>
		放射線物理学特論【隔 年】

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼担	教授	西村 拓生 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼担	教授	駒谷 昇一 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼担	教授	高田 将志 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼担	教授	宮路 淳子 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼担	教授	酒井 敦 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	講師	杉山 晋平 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐⅠ
兼任	講師	河村 洋史 ( ) <平成30年4月>
		非線形・情報統計力学 特論【隔年】
兼任	講師	中尾 幹彦 ( ) <平成30年4月>
		高エネルギー物理学特 論A【隔年】
兼任	講師	山崎 祐司 ( ) <平成30年4月>
		高エネルギー物理学特 論B【隔年】
兼任	講師	藤岡 宏之 ( ) <平成30年4月>
		ハドロン物理学特論 【隔年】
兼任	講師	伊藤 克美 ( ) <平成30年4月>
		素粒子物理学特論【隔 年】
兼任	講師	上田 佳宏 ( ) <平成30年4月>
		宇宙物理学特論【隔 年】
兼任	講師	高見 利也 ( ) <平成30年4月>
		非平衡ダイナミクス特 論【隔年】
兼任	講師	大野 義章 ( ) <平成30年4月>
		固体電子論特論【隔 年】
兼任	講師	重松 宏武 ( ) <平成30年4月>
		固体物理学特論【隔 年】
兼任	講師	田沼 肇 ( ) <平成30年4月>
		放射線物理学特論【隔 年】

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼担教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。  
・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。  
・ 専任、兼担、兼任の順に記入してください。  
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・兼任講師である加古富志雄について、完成年度時退職予定であるが、平成30年度は専任教員として在籍しているため専任教授に変更。
- ・平成30年2月、小川英巳教授が退職し、副学長に就任。
- ・平成30年2月、角田秀一郎 教授就任。
- ・平成30年1月、戸田幹人、清川修二 教授昇任。
- ・教養科目においては、より専門分野を超えてものごとを俯瞰する力を培うため、杉山晋平 兼任教員就任。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件（平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号）により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在（報告書提出時）の状況					現在（報告書提出時）の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
13	13	0	5	31	16	11	0	5	32	15	11	0	5	31
(16)	(11)	(0)	(5)	(32)						[ 2 ]	[ Δ2 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
31	0	0			31	0	1			31	0	0		
(31)	(0)	(1)								[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、（ ）内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。  
 ・ 「現在（報告書提出時）の完成年度時の計画」には、「現在（報告書提出時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告書提出時（上 記(B)）の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告書提出時）の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{31}{31} = \boxed{100.00} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告書提出時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告書提出時）の状況(B)}} = \frac{0}{32} = \boxed{0.00} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	小川 英巳	選択	数物科学における研究論理	②	H30.2.1付け理事就任のため就任辞退（30）			
			選択	放射線物理学セミナーA	②				
			選択	放射線実験学	②				
			選択	現代物理の基礎B	②				
			必修	物理学特別研究Ⅰ	②				
			必修	物理学特別研究Ⅱ	②				
			必修	物理学特別研究Ⅲ	②				
合計（D）			後任補充状況の集計（E）						
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	4 科目	必修	0 科目
		選択	4 科目	選択	0 科目	選択	4 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	8 科目	計	0 科目	計	8 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計（F）			後任補充状況の集計（G）				
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記(3) -① ・ (3) -② の合計

合計（D）+（F）			後任補充状況の集計（E）+（G）				
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）	
1	人	必修	4 科目	必修	0 科目	必修	4 科目
		選択	4 科目	選択	0 科目	選択	4 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	8 科目	計	0 科目	計	8 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{31} = 3.22\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 一⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( ) 書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

<p>専任教員就任辞退に伴い、同人を兼任教員として授業科目を担当させることとしており、教育の質の維持は確保できる。また学生に対してはガイダンスにより周知がはかられている(30)。</p>
---

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<人間文化研究科 数物科学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 人間文化研究科FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年数回開催</p> <p>c 委員会の審議事項等 大学院におけるFDの実施及び実施体制に関すること FDの評価に関すること その他FDに関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 大学院FD活動の作成 FD研修会の実施</p> <p>b 実施方法 人間文化研究科で実施する</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 年1回実施</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 学生アンケートについて、結果を大学院担当教員にフィードバックしている</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 学年末に学生アンケートを実施</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 人間文化研究科FD活動報告を含めたFD活動実績報告書を教員に配付するとともに、学生には学術情報センターにおいて閲覧可能にしている</p>
---

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的等、設置計画どおりに実施している。今後も引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおりに実施することとしている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成31年8月末 公表予定

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

平成31年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）による大学機関別認証評価を受審予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有  無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成30年 6月 30日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

国立大学法人 奈良女子大学

## (2) 大学名

奈良女子大学

## (3) 大学の位置

〒630-8506

奈良県奈良市北魚屋西町（奈良県奈良市北魚屋東町）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
学長	(イマオカ ハルキ) 今岡 春樹 (平成29年4月)		
研究科長	(タカダ マサシ) 高田 将志 (平成29年4月)		
専攻長	(ヤスダ ケイコ) 安田 恵子 (平成30年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成29年度に報告済の内容 → (29)

平成30年度に報告する内容 → (30)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象研究科等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成28年度開設の博士後期課程の場合(平成30年度までの3年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し, 4年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象研究科等の名称等

調査対象研究科等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画			備考
		修業年限	入学定員	収容定員	
人間文化研究科 化学生物環境学専攻 (博士前期課程) 修士(理学) 修士(学術)	理学関係	2年	42人	84人	基礎となる学部等  理学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。  
 ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前的人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。  
 ・ 「学位又は学科の分野」には, 「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。

(5) - ② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度		平成30年度		平成31年度		平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	42 ( - ) [ - ]		( ) ( ) [ ]	1.42 倍				
志願者数	64 ( 1 ) [ 1 ]	( ) ( ) [ ]						
受験者数	62 ( 0 ) [ 1 ]	( ) ( ) [ ]						
合格者数	61 ( 0 ) [ 1 ]	( ) ( ) [ ]						
B 入学者数	60 ( 0 ) [ 1 ]	( ) ( ) [ ]						
入学定員超過率 B/A	1.42							

- (注) ・ 数字は, 平成30年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( )内には, 社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 「社会人」については, 認可申請書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。  
 ・ [ ]内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 転入学生は記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。

(5) - ③ 調査対象研究科等の在学者の状況

報告年度 学 年	平成30年度		平成31年度				備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	60 [ 1 ] ( - )	[ ] ( )					
2年次	/		[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	[ ] ( )	
3年次			[ ] ( )	[ ] ( )			
計	60 [ 1 ] ( - )	[ ] ( )					

- (注) ・ 数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、**留年者の状況について、内数で記入してください。**該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由
			入学した年度	退学者数	退学者数のうち留学生数	
平成30年度	60人	0人	平成30年度	0人	0人	
平成31年度	人	人	平成30年度	人	人	
			平成31年度	人	人	
合計	60人	0人				

(注)・数字は、平成30年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の在学者数については、該当年度に在学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 在学者数や退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{60} = \boxed{0.00} \%$$

【平成31年度】

$$\frac{\text{平成31年度の退学者数(a)}}{\text{平成31年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\phantom{0.00}} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

## 2 授業科目の概要

<人間文化研究科 化学生物環境学専攻>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目群	科学の文化と倫理	1①		1		1							
	化学のための研究倫理	1①		1		1	1						
	学びをつむぐⅠ	1③④		1		1						兼4	
	学びをつむぐⅡ	2通		1		1						兼4	
	無機化学概論Ⅰ	1①		1		1							
	無機化学概論Ⅱ	1②		1		1							
	有機化学概論Ⅰ	1①		1		1							
	有機化学概論Ⅱ	1②		1		1							
	物理化学概論Ⅰ	1①		1		1							
	物理化学概論Ⅱ	1③		1		1							
	分子細胞生物学概論A	1①		1		1							
	分子細胞生物学概論B	1③		1			1						
	個体機能生物学概論A	1②		1		1							
	個体機能生物学概論B	1③		1		1							
	生態学概論A	1①		1		1							
	生態学概論B	1④		1			1						
	地球環境科学概論	1③		1		1	1		1				
	数理生態学概論	1①		1		1	1						
	地球温暖化問題概論	1③		1		1							
現代環境科学論	1④		1						1				
専門群 化学系科目	溶液化学	1①		1		1							
	ソフトマター化学	1②		1		1							
	ナノ界面物性化学	2②		1		1							
	反応量子化学	2④		1			1						
	分子統計論	1④		1		1							
	計算分子科学	2③		1			1						
	有機金属化学Ⅰ	1③		1			1						
	有機金属化学Ⅱ	1④		1			1						
	有機金属クラスター化学Ⅰ	2③		1		1							
	有機金属クラスター化学Ⅱ	2④		1			1						
	分子性金属鎖の化学	1③		1					1				
	機能性無機錯体化学Ⅰ	2②		1		1							
	生物無機化学	1①		1		1							
	生物無機実験法	1②		1		1							
	光機能分子化学	1③		1			1						
	生物環境化学	1④		1					1				
	有機反応論	1③		1		1							
	分子触媒化学	1④		1		1							
	触媒機能化学	2①		1			1						
	有機構造化学	1③		1		1							
生物有機化学Ⅰ	2②		1		1								
生物有機化学Ⅱ	2③		1					1					
機器分析法Ⅲ	1①		1		1								
機器分析法Ⅳ	1②		1		1								
無機化学特論A	1②		1								兼1		
無機化学特論B	2①		1								兼1		
有機化学特論A	1③		1								兼2		

【平成30年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
教養科目群	科学の文化と倫理	1①		1		1							
	化学のための研究倫理	1①		1		1	1						
	学びをつむぐⅠ	1③④		1		1						兼5	
	学びをつむぐⅡ	2通		1		1						兼4	
	無機化学概論Ⅰ	1①		1		1							
	無機化学概論Ⅱ	1②		1		1							
	有機化学概論Ⅰ	1①		1		1							
	有機化学概論Ⅱ	1②		1		1							
	物理化学概論Ⅰ	1①		1		1							
	物理化学概論Ⅱ	1③		1		1							
	分子細胞生物学概論A	1①		1		1							
	分子細胞生物学概論B	1③		1			1						
	個体機能生物学概論A	1②		1		1							
	個体機能生物学概論B	1③		1		1							
	生態学概論A	1①		1		1							
	生態学概論B	1④		1			1		1				
	地球環境科学概論	1③		1		1	1		1		1		
	数理生態学概論	1①		1		1	1		1				
	地球温暖化問題概論	1③		1		1							
現代環境科学論	1④		1						1				
専門群 化学系科目	溶液化学	1①		1		1							
	ソフトマター化学	1②		1		1							
	ナノ界面物性化学	2②		1		1							
	反応量子化学	2④		1			1						
	分子統計論	1④		1		1							
	計算分子科学	2③		1			1						
	有機金属化学Ⅰ	1③		1			1						
	有機金属化学Ⅱ	1④		1			1						
	有機金属クラスター化学Ⅰ	2③		1		1							
	有機金属クラスター化学Ⅱ	2④		1			1						
	分子性金属鎖の化学	1③		1						1			
	機能性無機錯体化学Ⅰ	2②		1		1							
	生物無機化学	1①		1		1							
	生物無機実験法	1②		1		1							
	光機能分子化学	1③		1			1						
	生物環境化学	1④		1					1				
	有機反応論	1③		1		1							
	分子触媒化学	1④		1		1							
	触媒機能化学	2①		1			1						
	有機構造化学	1③		1		1							
生物有機化学Ⅰ	2②		1		1								
生物有機化学Ⅱ	2③		1					1					
機器分析法Ⅲ	1①		1		1								
機器分析法Ⅳ	1②		1		1								
無機化学特論A	1②		1								兼1		
無機化学特論B	2①		1								兼1		
有機化学特論A	1③		1								兼2		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
専門群 化学系科目	有機化学特論B	2②		1								兼2
	物理化学特論A	1①		1								兼1
	物理化学特論B	2③		1								兼1
	物性反応物理化学セミナーA-I	1③④		1		1						
	物性反応物理化学セミナーA-II	2③④		1		1						
	物性反応物理化学セミナーB-I	1①②		1			1					
	物性反応物理化学セミナーB-II	2①②		1			1					
	理論物理化学セミナーA-I	1①②		1		1						
	理論物理化学セミナーA-II	2①②		1		1						
	理論物理化学セミナーB-I	1③④		1			1					
	理論物理化学セミナーB-II	2③④		1			1					
	有機金属・錯体化学セミナーA-I	1①②		1		1						
	有機金属・錯体化学セミナーA-II	2①②		1		1						
	有機金属・錯体化学セミナーB-I	1③④		1			1					
	有機金属・錯体化学セミナーB-II	2③④		1			1					
	有機金属・錯体化学セミナーC-I	1③④		1					1			
	有機金属・錯体化学セミナーC-II	2③④		1					1			
	有機合成化学セミナーA-I	1①②		1		1						
	有機合成化学セミナーA-II	2①②		1		1						
	有機合成化学セミナーB-I	1③④		1			1					
	有機合成化学セミナーB-II	2③④		1			1					
	生命有機化学セミナーA-I	1①②		1		1						
	生命有機化学セミナーA-II	2①②		1		1						
	生命有機化学セミナーB-I	1③④		1		1						
	生命有機化学セミナーB-II	2③④		1		1						
	生命有機化学セミナーC-I	1①②		1					1			
生命有機化学セミナーC-II	2①②		1					1				
生物無機化学セミナーA-I	1③④		1		1							
生物無機化学セミナーA-II	2③④		1		1							
生物無機化学セミナーB-I	1①②		1			1						
生物無機化学セミナーB-II	2①②		1			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必	選	自	教	准	講	助	助		
			修	択	由	授	授	師	教	手		
専門群 化学系科目	有機化学特論B	2②		1								兼2
	物理化学特論A	1①		1								兼1
	物理化学特論B	2③		1								兼1
	物性反応物理化学セミナーA-I	1③④		1		1						
	物性反応物理化学セミナーA-II	2③④		1		1						
	物性反応物理化学セミナーB-I	1①②		1			1					
	物性反応物理化学セミナーB-II	2①②		1			1					
	理論物理化学セミナーA-I	1①②		1		1						
	理論物理化学セミナーA-II	2①②		1		1						
	理論物理化学セミナーB-I	1③④		1			1					
	理論物理化学セミナーB-II	2③④		1			1					
	有機金属・錯体化学セミナーA-I	1①②		1		1						
	有機金属・錯体化学セミナーA-II	2①②		1		1						
	有機金属・錯体化学セミナーB-I	1③④		1			1					
	有機金属・錯体化学セミナーB-II	2③④		1			1					
	有機金属・錯体化学セミナーC-I	1③④		1					1			
	有機金属・錯体化学セミナーC-II	2③④		1					1			
	有機合成化学セミナーA-I	1①②		1		1						
	有機合成化学セミナーA-II	2①②		1		1						
	有機合成化学セミナーB-I	1③④		1			1					
	有機合成化学セミナーB-II	2③④		1			1					
	生命有機化学セミナーA-I	1①②		1		1						
	生命有機化学セミナーA-II	2①②		1		1						
	生命有機化学セミナーB-I	1③④		1		1						
	生命有機化学セミナーB-II	2③④		1		1						
	生命有機化学セミナーC-I	1①②		1					1			
生命有機化学セミナーC-II	2①②		1					1				
生物無機化学セミナーA-I	1③④		1		1							
生物無機化学セミナーA-II	2③④		1		1							
生物無機化学セミナーB-I	1①②		1			1						
生物無機化学セミナーB-II	2①②		1			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門群 化学系科目	生物無機化学セミナーC-I	1①②	1						1			
	生物無機化学セミナーC-II	2①②	1						1			
	機能性材料化学セミナーA-I	1③④	1			1						
	機能性材料化学セミナーA-II	2③④	1			1						
専門群 生物科学系科目	実践生物科学英語	1③④	1			8	9		1			
	実践サイエンスコミュニケーション	2通	1			8	9		1			
	生物科学個別指導	1通	1			8	9		1			
	生物科学学外研修A	1①②	1			8	9		1			
	生物科学学外研修B	1③④	1			8	9		1			
	生物科学学外研修C	2①②	1			8	9		1			
	生物科学学外研修D	2③④	1			8	9		1			
	細胞分子調節学特論	1①	1			1						
	細胞機構学特論	1②	1			1						
	分子微生物学特論	1③	1				1					
	原生生物学特論	1④	1			1						
	分子細胞情報学特論	2①	1				1					
	細胞情報学特論	2②	1				1					
	細胞生物学特論	1①	1				1					
	動物生理学特論	1②	1			1						
	生殖生理学特論	1③	1			1						
	個体機能学特論	1④	1			1						
	植物生理学特論	2①	1			1						
	細胞調節学特論	2②	1				1					
	植物環境応答学特論	1①	1				1					
	動物環境応答学特論	1②	1						1			
	行動生態学特論	1③	1			1						
	陸水生態学特論	1④	1				1					
	群集生態学特論	2①	1				1					
	植物生態学特論	2②	1				1					
	生物科学特論A	1・2通	1									兼1
	生物科学特論B	1・2通	1									兼1
	生物科学特論C	1・2通	1									兼1
	生物科学特論D	1・2通	1							1		兼1
	細胞分子調節学演習I	1②	1			1						
細胞分子調節学演習II	1④	1			1							
細胞分子調節学演習III	2②	1			1							
細胞分子調節学演習IV	2④	1			1							
細胞機構学演習I	1①	1			1							
細胞機構学演習II	1③	1			1							
細胞機構学演習III	2①	1			1							
細胞機構学演習IV	2③	1			1							
分子微生物学演習I	1②	1				1						
分子微生物学演習II	1④	1				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門群 化学系科目	生物無機化学セミナーC-I	1①②	1						1			
	生物無機化学セミナーC-II	2①②	1						1			
	機能性材料化学セミナーA-I	1③④	1			1						
	機能性材料化学セミナーA-II	2③④	1			1						
専門群 生物科学系科目	実践生物科学英語	1③④	1			8	9		1			
	実践サイエンスコミュニケーション	2通	1			8	9		1			
	生物科学個別指導	1通	1			8	9		1			
	生物科学学外研修A	1①②	1			8	9		1			
	生物科学学外研修B	1③④	1			8	9		1			
	生物科学学外研修C	2①②	1			8	9		1			
	生物科学学外研修D	2③④	1			8	9		1			
	細胞分子調節学特論	1①	1			1						
	細胞機構学特論	1②	1			1						
	分子微生物学特論	1③	1				1					
	原生生物学特論	1④	1			1						
	分子細胞情報学特論	2①	1				1					
	細胞情報学特論	2②	1				1					
	細胞生物学特論	1①	1				1					
	動物生理学特論	1②	1			1						
	生殖生理学特論	1③	1			1						
	個体機能学特論	1④	1			1						
	植物生理学特論	2①	1			1						
	細胞調節学特論	2②	1				1					
	植物環境応答学特論	1①	1				1					
	動物環境応答学特論	1②	1						1			
	行動生態学特論	1③	1			1						
	陸水生態学特論	1④	1				1					
	群集生態学特論	2①	1				1					
	植物生態学特論	2②	1				1					
	生物科学特論A	1・2通	1									兼1
	生物科学特論B	1・2通	1									兼1
	生物科学特論C	1・2通	1							1		兼1
	生物科学特論D	1・2通	1							1		兼1
	細胞分子調節学演習I	1②	1			1						
細胞分子調節学演習II	1④	1			1							
細胞分子調節学演習III	2②	1			1							
細胞分子調節学演習IV	2④	1			1							
細胞機構学演習I	1①	1			1							
細胞機構学演習II	1③	1			1							
細胞機構学演習III	2①	1			1							
細胞機構学演習IV	2③	1			1							
分子微生物学演習I	1②	1				1						
分子微生物学演習II	1④	1				1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門群 生物科学系科目	分子微生物学演習Ⅲ	2②		1			1					
	分子微生物学演習Ⅳ	2④		1			1					
	原生物学演習Ⅰ	1①		1			1					
	原生物学演習Ⅱ	1③		1			1					
	原生物学演習Ⅲ	2①		1			1					
	原生物学演習Ⅳ	2③		1			1					
	分子細胞情報学演習Ⅰ	1②		1				1				
	分子細胞情報学演習Ⅱ	1④		1				1				
	分子細胞情報学演習Ⅲ	2②		1				1				
	分子細胞情報学演習Ⅳ	2④		1				1				
	細胞情報学演習Ⅰ	1①		1				1				
	細胞情報学演習Ⅱ	1③		1				1				
	細胞情報学演習Ⅲ	2①		1				1				
	細胞情報学演習Ⅳ	2③		1				1				
	細胞生物学演習Ⅰ	1②		1				1				
	細胞生物学演習Ⅱ	1④		1				1				
	細胞生物学演習Ⅲ	2②		1				1				
	細胞生物学演習Ⅳ	2④		1				1				
	動物生理学演習Ⅰ	1①		1				1				
	動物生理学演習Ⅱ	1③		1				1				
	動物生理学演習Ⅲ	2①		1				1				
	動物生理学演習Ⅳ	2③		1				1				
	生殖生理学演習Ⅰ	1②		1				1				
	生殖生理学演習Ⅱ	1④		1				1				
	生殖生理学演習Ⅲ	2②		1				1				
	生殖生理学演習Ⅳ	2④		1				1				
	個体機能学演習Ⅰ	1①		1				1				
	個体機能学演習Ⅱ	1③		1				1				
	個体機能学演習Ⅲ	2①		1				1				
	個体機能学演習Ⅳ	2③		1				1				
	植物生理学演習Ⅰ	1②		1				1				
	植物生理学演習Ⅱ	1④		1				1				
	植物生理学演習Ⅲ	2②		1				1				
	植物生理学演習Ⅳ	2④		1				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門群 生物科学系科目	分子微生物学演習Ⅲ	2②		1			1					
	分子微生物学演習Ⅳ	2④		1			1					
	原生物学演習Ⅰ	1①		1			1					
	原生物学演習Ⅱ	1③		1			1					
	原生物学演習Ⅲ	2①		1			1					
	原生物学演習Ⅳ	2③		1			1					
	分子細胞情報学演習Ⅰ	1②		1				1				
	分子細胞情報学演習Ⅱ	1④		1				1				
	分子細胞情報学演習Ⅲ	2②		1				1				
	分子細胞情報学演習Ⅳ	2④		1				1				
	細胞情報学演習Ⅰ	1①		1				1				
	細胞情報学演習Ⅱ	1③		1				1				
	細胞情報学演習Ⅲ	2①		1				1				
	細胞情報学演習Ⅳ	2③		1				1				
	細胞生物学演習Ⅰ	1②		1				1				
	細胞生物学演習Ⅱ	1④		1				1				
	細胞生物学演習Ⅲ	2②		1				1				
	細胞生物学演習Ⅳ	2④		1				1				
	動物生理学演習Ⅰ	1①		1				1				
	動物生理学演習Ⅱ	1③		1				1				
	動物生理学演習Ⅲ	2①		1				1				
	動物生理学演習Ⅳ	2③		1				1				
	生殖生理学演習Ⅰ	1②		1				1				
	生殖生理学演習Ⅱ	1④		1				1				
	生殖生理学演習Ⅲ	2②		1				1				
	生殖生理学演習Ⅳ	2④		1				1				
	個体機能学演習Ⅰ	1①		1				1				
	個体機能学演習Ⅱ	1③		1				1				
	個体機能学演習Ⅲ	2①		1				1				
	個体機能学演習Ⅳ	2③		1				1				
	植物生理学演習Ⅰ	1②		1				1				
	植物生理学演習Ⅱ	1④		1				1				
	植物生理学演習Ⅲ	2②		1				1				
	植物生理学演習Ⅳ	2④		1				1				

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門群 生物科学系科目	細胞調節学演習 I	1①		1			1					
	細胞調節学演習 II	1③		1			1					
	細胞調節学演習 III	2①		1			1					
	細胞調節学演習 IV	2③		1			1					
	植物環境応答学演習 I	1②		1			1					
	植物環境応答学演習 II	1④		1			1					
	植物環境応答学演習 III	2②		1			1					
	植物環境応答学演習 IV	2④		1			1					
	動物環境応答学演習 I	1①		1						1		
	動物環境応答学演習 II	1③		1						1		
	動物環境応答学演習 III	2①		1						1		
	動物環境応答学演習 IV	2③		1						1		
	行動生態学演習 I	1②		1			1					
	行動生態学演習 II	1④		1			1					
	行動生態学演習 III	2②		1			1					
	行動生態学演習 IV	2④		1			1					
	陸水生生態学演習 I	1①		1				1				
	陸水生生態学演習 II	1③		1				1				
	陸水生生態学演習 III	2①		1				1				
	陸水生生態学演習 IV	2③		1				1				
	群集生態学演習 I	1②		1				1				
	群集生態学演習 II	1④		1				1				
	群集生態学演習 III	2②		1				1				
	群集生態学演習 IV	2④		1				1				
	植物生態学演習 I	1①		1				1				
	植物生態学演習 II	1③		1				1				
	植物生態学演習 III	2①		1				1				
	植物生態学演習 IV	2③		1				1				
	細胞分子調節学セミナー I	1通		1			1					
	細胞分子調節学セミナー II	2通		1			1					
	細胞機構学セミナー I	1通		1			1					
	細胞機構学セミナー II	2通		1			1					
	分子微生物学セミナー I	1通		1			1					
	分子微生物学セミナー II	2通		1			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専門群 生物科学系科目	細胞調節学演習 I	1①		1			1					
	細胞調節学演習 II	1③		1			1					
	細胞調節学演習 III	2①		1			1					
	細胞調節学演習 IV	2③		1			1					
	植物環境応答学演習 I	1②		1			1					
	植物環境応答学演習 II	1④		1			1					
	植物環境応答学演習 III	2②		1			1					
	植物環境応答学演習 IV	2④		1			1					
	動物環境応答学演習 I	1①		1						1		
	動物環境応答学演習 II	1③		1						1		
	動物環境応答学演習 III	2①		1						1		
	動物環境応答学演習 IV	2③		1						1		
	行動生態学演習 I	1②		1			1					
	行動生態学演習 II	1④		1			1					
	行動生態学演習 III	2②		1			1					
	行動生態学演習 IV	2④		1			1					
	陸水生生態学演習 I	1①		1				1				
	陸水生生態学演習 II	1③		1				1				
	陸水生生態学演習 III	2①		1				1				
	陸水生生態学演習 IV	2③		1				1				
	群集生態学演習 I	1②		1				1				
	群集生態学演習 II	1④		1				1				
	群集生態学演習 III	2②		1				1				
	群集生態学演習 IV	2④		1				1				
	植物生態学演習 I	1①		1				1				
	植物生態学演習 II	1③		1				1				
	植物生態学演習 III	2①		1				1				
	植物生態学演習 IV	2③		1				1				
	細胞分子調節学セミナー I	1通		1			1					
	細胞分子調節学セミナー II	2通		1			1					
	細胞機構学セミナー I	1通		1			1					
	細胞機構学セミナー II	2通		1			1					
	分子微生物学セミナー I	1通		1			1					
	分子微生物学セミナー II	2通		1			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門群 生物科学系科目	原生物学セミナーⅠ	1通		1		1							
	原生物学セミナーⅡ	2通		1		1							
	分子細胞情報学セミナーⅠ	1通		1			1						
	分子細胞情報学セミナーⅡ	2通		1			1						
	細胞情報学セミナーⅠ	1通		1			1						
	細胞情報学セミナーⅡ	2通		1			1						
	細胞生物学セミナーⅠ	1通		1			1						
	細胞生物学セミナーⅡ	2通		1			1						
	動物生理学セミナーⅠ	1通		1			1						
	動物生理学セミナーⅡ	2通		1			1						
	生殖生理学セミナーⅠ	1通		1			1						
	生殖生理学セミナーⅡ	2通		1			1						
	個体機能学セミナーⅠ	1通		1			1						
	個体機能学セミナーⅡ	2通		1			1						
	植物生理学セミナーⅠ	1通		1			1						
	植物生理学セミナーⅡ	2通		1			1						
	細胞調節学セミナーⅠ	1通		1				1					
	細胞調節学セミナーⅡ	2通		1				1					
	植物環境応答学セミナーⅠ	1通		1				1					
	植物環境応答学セミナーⅡ	2通		1				1					
	動物環境応答学セミナーⅠ	1通		1						1			
	動物環境応答学セミナーⅡ	2通		1						1			
	行動生態学セミナーⅠ	1通		1			1						
	行動生態学セミナーⅡ	2通		1			1						
	陸水生態学セミナーⅠ	1通		1				1					
	陸水生態学セミナーⅡ	2通		1				1					
	群集生態学セミナーⅠ	1通		1				1					
	群集生態学セミナーⅡ	2通		1				1					
	植物生態学セミナーⅠ	1通		1				1					
	植物生態学セミナーⅡ	2通		1				1					
	環境科学専門群 環境科学系科目	地球大気環境科学特論Ⅰ	1・2③		1		1						
		地球大気環境科学特論Ⅱ	1・2④		1		1						
環境気象学特論Ⅰ		1①		1			1						
環境気象学特論Ⅱ		2①		1			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専門群 生物科学系科目	原生物学セミナーⅠ	1通		1		1							
	原生物学セミナーⅡ	2通		1		1							
	分子細胞情報学セミナーⅠ	1通		1			1						
	分子細胞情報学セミナーⅡ	2通		1			1						
	細胞情報学セミナーⅠ	1通		1			1						
	細胞情報学セミナーⅡ	2通		1			1						
	細胞生物学セミナーⅠ	1通		1			1						
	細胞生物学セミナーⅡ	2通		1			1						
	動物生理学セミナーⅠ	1通		1			1						
	動物生理学セミナーⅡ	2通		1			1						
	生殖生理学セミナーⅠ	1通		1			1						
	生殖生理学セミナーⅡ	2通		1			1						
	個体機能学セミナーⅠ	1通		1			1						
	個体機能学セミナーⅡ	2通		1			1						
	植物生理学セミナーⅠ	1通		1			1						
	植物生理学セミナーⅡ	2通		1			1						
	細胞調節学セミナーⅠ	1通		1				1					
	細胞調節学セミナーⅡ	2通		1				1					
	植物環境応答学セミナーⅠ	1通		1				1					
	植物環境応答学セミナーⅡ	2通		1				1					
	動物環境応答学セミナーⅠ	1通		1						1			
	動物環境応答学セミナーⅡ	2通		1						1			
	行動生態学セミナーⅠ	1通		1			1						
	行動生態学セミナーⅡ	2通		1			1						
	陸水生態学セミナーⅠ	1通		1				1					
	陸水生態学セミナーⅡ	2通		1				1					
	群集生態学セミナーⅠ	1通		1				1					
	群集生態学セミナーⅡ	2通		1				1					
	植物生態学セミナーⅠ	1通		1				1					
	植物生態学セミナーⅡ	2通		1				1					
	環境科学専門群 環境科学系科目	地球大気環境科学特論Ⅰ	1・2③		1		1						
		地球大気環境科学特論Ⅱ	1・2④		1		1						
環境気象学特論Ⅰ		1①		1			1						
環境気象学特論Ⅱ		2①		1			1						

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門群 環境科学系科目	地球惑星大気科学特論Ⅰ	1②	1						1		
	地球惑星大気科学特論Ⅱ	2②	1						1		
	陸域リモートセンシング特論Ⅰ	1③	1			1					
	陸域リモートセンシング特論Ⅱ	2①	1			1					
	数理生命科学特論Ⅰ	1①	1			1					
	数理生命科学特論Ⅱ	2②	1			1					
	理論生物学特論Ⅰ	1①	1				1				
	理論生物学特論Ⅱ	2①	1				1				
	生物地球化学特論Ⅰ	1②	1						1		
	生物地球化学特論Ⅱ	2②	1						1		
	環境科学学外研修Ⅰ	1①	1			3	2		2		
	環境科学学外研修Ⅱ	1③	1			3	2		2		
	環境科学学外研修Ⅲ	2①	1			3	2		2		
	環境科学学外研修Ⅳ	2③	1			3	2		2		
	グローバル生物環境科学概論Ⅰ	1①	1			11	11		3		
	グローバル生物環境科学概論Ⅱ	1②	1			11	11		3		
	グローバル生物環境科学概論Ⅲ	2①	1			11	11		3		
	グローバル生物環境科学概論Ⅳ	2②	1			11	11		3		
	環境科学特別講義A	1-2通	1								兼1
	環境科学特別講義B	1-2通	1								兼1
	環境科学特別講義C	1-2通	1								兼1
	環境科学特別講義D	1-2通	1								兼1
	地球大気環境科学セミナーⅠ	1通	1			1					
	地球大気環境科学セミナーⅡ	2通	1			1					
	環境気象学セミナーⅠ	1通	1				1				
	環境気象学セミナーⅡ	2通	1				1				
	地球惑星大気科学セミナーⅠ	1通	1						1		
	地球惑星大気科学セミナーⅡ	2通	1						1		
	陸域リモートセンシングセミナーⅠ	1通	1			1					
	陸域リモートセンシングセミナーⅡ	2通	1			1					
	数理生命科学セミナーⅠ	1通	1			1					
	数理生命科学セミナーⅡ	2通	1			1					
理論生物学セミナーⅠ	1通	1				1					
理論生物学セミナーⅡ	2通	1				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専門群 環境科学系科目	地球惑星大気科学特論Ⅰ	1②	1							1	
	地球惑星大気科学特論Ⅱ	2②	1							1	
	陸域リモートセンシング特論Ⅰ	1③	1			1					
	陸域リモートセンシング特論Ⅱ	2①	1			1					
	数理生命科学特論Ⅰ	1①	1			1					
	数理生命科学特論Ⅱ	2②	1			1					
	理論生物学特論Ⅰ	1①	1				1				
	理論生物学特論Ⅱ	2①	1				1				
	生物地球化学特論Ⅰ	1②	1						1		
	生物地球化学特論Ⅱ	2②	1						1		
	環境科学学外研修Ⅰ	1①	1			3	2		2		
	環境科学学外研修Ⅱ	1③	1			3	2		2		
	環境科学学外研修Ⅲ	2①	1			3	2		2		
	環境科学学外研修Ⅳ	2③	1			3	2		2		
	グローバル生物環境科学概論Ⅰ	1①	1			11	11		3		
	グローバル生物環境科学概論Ⅱ	1②	1			11	11		3		
	グローバル生物環境科学概論Ⅲ	2①	1			11	11		3		
	グローバル生物環境科学概論Ⅳ	2②	1			11	11		3		
	環境科学特別講義A	1-2通	1								兼1
	環境科学特別講義B	1-2通	1								兼1
	環境科学特別講義C	1-2通	1								兼1
	環境科学特別講義D	1-2通	1								兼1
地球大気環境科学セミナーⅠ	1通	1			1						
地球大気環境科学セミナーⅡ	2通	1			1						
環境気象学セミナーⅠ	1通	1				1					
環境気象学セミナーⅡ	2通	1				1					
地球惑星大気科学セミナーⅠ	1通	1						1			
地球惑星大気科学セミナーⅡ	2通	1						1			
陸域リモートセンシングセミナーⅠ	1通	1			1						
陸域リモートセンシングセミナーⅡ	2通	1			1						
数理生命科学セミナーⅠ	1通	1			1						
数理生命科学セミナーⅡ	2通	1			1						
理論生物学セミナーⅠ	1通	1				1					
理論生物学セミナーⅡ	2通	1				1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	生物地球化学セミナーⅠ	1通		1					1			
	生物地球化学セミナーⅡ	2通		1					1			
論文等作成群	化学生物環境学特別研究Ⅰ	1①②	4			19	16		6			
	化学生物環境学特別研究Ⅱ	1③④	4			19	16		6			
	化学生物環境学特別研究Ⅲ	2①②	4			19	16		6			
	化学生物環境学特別研究Ⅳ	2③④	4			19	16		6			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	生物地球化学セミナーⅠ	1通		1						1		
	生物地球化学セミナーⅡ	2通		1						1		
論文等作成群	化学生物環境学特別研究Ⅰ	1①②	4			19	16		6			
	化学生物環境学特別研究Ⅱ	1③④	4			19	16		6			
	化学生物環境学特別研究Ⅲ	2①②	4			19	16		6			
	化学生物環境学特別研究Ⅳ	2③④	4			19	16		6			

- (注) ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字としてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。
  - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と平成30年度の表を記入してください。
  - ・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)

(1) ②授業科目表に関する変更内容

**【平成30年度】**

・教養科目においては、より専門分野を超えてものごとを俯瞰する力を培うため、「学びをつむぐⅠ」では「教授1、兼任4」から「教授1、兼任5、兼任1」に、「学びをつむぐⅡ」では「教授1、兼任4」から「教授1、兼任5」に変更。  
 ・授業科目の充実をはかるため、生物科学特論Cを「兼任1」から「准教授1」に、生物科学特論Dを「兼任1」から「教授1」に変更。

- (注) ・ 変更内容（配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。  
 ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。  
 ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
4 科目	259 科目	0 科目	263 科目	4 科目 [ ]	259 科目 [ ]	0 科目 [ ]	263 科目 [ ]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[ ]内に、設置時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。
  - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし
------

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{0}{263} = \boxed{0.00}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体  その他には附属学校等 敷地を含む。			
	校 舎 敷 地	66,081㎡	0㎡	0㎡	66,081㎡				
	運 動 場 用 地	10,179㎡	0㎡	0㎡	10,179㎡				
	小 計	76,260㎡	0㎡	0㎡	76,260㎡				
	そ の 他	104,050㎡	0㎡	0㎡	104,050㎡				
	合 計	180,310㎡	0㎡	0㎡	180,310㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	大学全体			
		59,605㎡ ( 59,605㎡)	0㎡ ( 0㎡)	0㎡ ( 0㎡)	59,605㎡ ( 59,605㎡)				
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	他に、大学全体の共用 教室を利用。		
		4室	8室	102室	4室 (補助職員 0人)	0室 (補助職員 0人)			
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数				
		大学院人間文化研究科化学生物環境学専攻			43 室				
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕 点	視聴覚資料 点	機 械 ・ 器 具 点	標 本 点	専攻単位での特定が不 能なため、大学全体の 数	
	大学院 人間文化研究科 化学生物環境学 専攻	585,332[160,100] (585,332[160,100])	20,657[6,936] (20,657[6,936])	3,875[3,875] (3,875[3,875])	11,015 (11,015)	1,466 (1,466)	162 (162)		
	計	585,332[160,100] (585,332[160,100])	20,657[6,936] (20,657[6,936])	3,875[3,875] (3,875[3,875])	11,015 (11,015)	1,466 (1,466)	162 (162)		
(6) 図 書 館		面 積		閲 覧 座 席 数	収 納 可 能 冊 数		大学全体		
		4,523㎡		154	488,253				
(7) 体 育 館		面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要			大学全体		
		1,822㎡		テニスコート3面		弓道場			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	国費による
		教員1人当り研究費等	—	—	図書購入費	—	—	—	
	共同研究費等	—	—	設備購入費	—	—	—		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
	学生納付金以外の維持方法の概要	—							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成30年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(30)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
  - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

#### 4 AC対象学部等を含む大学等の状況

大学の名称	奈良女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定学員	編入学員	収定学員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍			
<学部>									
文学部							昭和24年度	奈良県奈良市北魚屋西町	
人文社会学科	4	60		240	学士(文学)	一括募集	平成7年度		
言語文化学科	4	50		200	学士(文学)	1.11	平成7年度		
人間科学科	4	40		160	学士(文学)		平成7年度		
(学部共通)			3年次 16	32					
理学部							昭和28年度	奈良県奈良市北魚屋西町	
数物科学科	4	63		252	学士(理学)	1.21	平成26年度		
化学生物環境学科	4	87		348	学士(理学)	1.19	平成26年度		
数学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	昭和28年度		平成26年度から学生募集停止
物理科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	平成8年度		平成26年度から学生募集停止
化学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	昭和28年度		平成26年度から学生募集停止
生物科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	平成8年度		平成26年度から学生募集停止
情報科学科	4	-	-	-	学士(理学)	-	平成3年度		平成26年度から学生募集停止
(学部共通)			3年次 10	20					
生活環境学部							平成5年度	奈良県奈良市北魚屋西町	
食物栄養学科	4	35	-	140	学士(生活環境学)	1.12	平成17年度		
心身健康学科	4	40		160	学士(生活健康科学)	1.20	平成26年度		
情報衣環境学科	4	35		140	学士(生活環境学)	1.17	平成26年度		
住環境学科	4	35		140	学士(生活環境学)	1.12	平成18年度		
生活文化学科	4	30		120	学士(生活環境学)	1.14	平成18年度		
生活健康・衣環境学科	4	-	-	-	学士(生活環境学)	-	平成17年度		平成26年度から学生募集停止
(学部共通(食物栄養学科除く))			3年次 14	28					

＜大学院＞							
人間文化研究科						昭和56年度	奈良県奈良市 北魚屋西町
(博士前期課程)							
人文社会学専攻	2	24	-	48	0.60	平成10年度	
言語文化学専攻	2	18	-	36	0.30	平成10年度	
人間科学専攻	2	12		12	0.83	平成30年度	
食物栄養学専攻	2	13	-	26	0.92	平成19年度	
心身健康学専攻	2	22	-	22	0.72	平成30年度	
情報衣環境学専攻	2	10		10	1.00	平成30年度	
生活工学共同専攻	2	7	-	14	0.78	平成28年度	
住環境学専攻	2	13	-	26	1.19	平成19年度	
生活文化学専攻	2	9	-	18	0.72	平成19年度	
数物科学専攻	2	28	-	28	1.00	平成30年度	
化学生物環境学専攻	2	42	-	42	1.42	平成30年度	
人間行動科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
心身健康学専攻	2	-	-	-	-	平成26年度	平成30年度から学生募集停止
数学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
物理科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
化学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
生物科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
情報科学専攻	2	-	-	-	-	平成10年度	平成30年度から学生募集停止
(博士後期課程)							
比較文化学専攻	3	10	-	32	0.63	平成11年度	
社会生活環境学専攻	3	15	-	45	0.64	平成15年度	
共生自然科学専攻	3	8	-	31	0.75	平成15年度	
生活工学共同専攻	3	2	-	6	1.16	平成28年度	
複合現象科学専攻	3	3	-	14	0.66	平成15年度	

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成30年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
 ※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
 ※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等については, 必ず記入するとともに, 下線を引いてください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「一」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<人間文化研究科 化学生物環境学専攻（博士前期課程）>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【平成30年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢)
		<就任(予定)年月>			<就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授	梶原 孝志 ( ) <平成30年4月>	専	教授	梶原 孝志 ( ) <平成30年4月>
		無機化学概論Ⅰ			無機化学概論Ⅰ
		機能性無機錯体化学Ⅰ			機能性無機錯体化学Ⅰ
		機器分析法Ⅲ			機器分析法Ⅲ
		機器分析法Ⅳ			機器分析法Ⅳ
		機能性材料化学 セミナーA-I			機能性材料化学 セミナーA-I
		機能性材料化学 セミナーA-II			機能性材料化学 セミナーA-II
		化学生物環境学特別 研究Ⅰ			化学生物環境学特別 研究Ⅰ
		化学生物環境学特別 研究Ⅱ			化学生物環境学特別 研究Ⅱ
		化学生物環境学特別 研究Ⅲ			化学生物環境学特別 研究Ⅲ
化学生物環境学特別 研究Ⅳ	化学生物環境学特別 研究Ⅳ				
専	教授	片岡 靖隆 ( ) <平成30年4月>	専	教授	片岡 靖隆 ( ) <平成30年4月>
		化学のための研究倫理			化学のための研究倫理
		有機反応論			有機反応論
		分子触媒化学			分子触媒化学
		有機合成化学セミ ナーA-I			有機合成化学セミ ナーA-I
		有機合成化学セミ ナーA-II			有機合成化学セミ ナーA-II
		化学生物環境学特別 研究Ⅰ			化学生物環境学特別 研究Ⅰ
		化学生物環境学特別 研究Ⅱ			化学生物環境学特別 研究Ⅱ
		化学生物環境学特別 研究Ⅲ			化学生物環境学特別 研究Ⅲ
		化学生物環境学特別 研究Ⅳ			化学生物環境学特別 研究Ⅳ
専	教授	衣川 健一 ( ) <平成30年4月>	専	教授	衣川 健一 ( ) <平成30年4月>
		物理化学概論Ⅱ			物理化学概論Ⅱ
		分子統計論			分子統計論
		理論物理化学セミ ナーA-I			理論物理化学セミ ナーA-I
		理論物理化学セミ ナーA-II			理論物理化学セミ ナーA-II
		化学生物環境学特別 研究Ⅰ			化学生物環境学特別 研究Ⅰ
		化学生物環境学特別 研究Ⅱ			化学生物環境学特別 研究Ⅱ
		化学生物環境学特別 研究Ⅲ			化学生物環境学特別 研究Ⅲ
		化学生物環境学特別 研究Ⅳ			化学生物環境学特別 研究Ⅳ
		専			教授
無機化学概論Ⅱ	無機化学概論Ⅱ				
有機金属クラスター 化学Ⅰ	有機金属クラスター 化学Ⅰ				
有機金属・錯体化学 セミナーA-I	有機金属・錯体化学 セミナーA-I				
有機金属・錯体化学 セミナーA-II	有機金属・錯体化学 セミナーA-II				
化学生物環境学特別 研究Ⅰ	化学生物環境学特別 研究Ⅰ				
化学生物環境学特別 研究Ⅱ	化学生物環境学特別 研究Ⅱ				
化学生物環境学特別 研究Ⅲ	化学生物環境学特別 研究Ⅲ				
化学生物環境学特別 研究Ⅳ	化学生物環境学特別 研究Ⅳ				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	中澤 隆 ( ) <平成30年4月>
		有機化学概論Ⅱ 有機構造化学 生命有機化学 セミナーA-I 生命有機化学 セミナーA-II 化学生物環境学特別研究Ⅰ 化学生物環境学特別研究Ⅱ 化学生物環境学特別研究Ⅲ 化学生物環境学特別研究Ⅳ
専	教授	藤井 浩 ( ) <平成30年4月>
		生物無機化学【隔年】 生物無機実験法【隔年】 生物無機化学セミナーA-I 生物無機化学セミナーA-II 化学生物環境学特別研究Ⅰ 化学生物環境学特別研究Ⅱ 化学生物環境学特別研究Ⅲ 化学生物環境学特別研究Ⅳ
専	教授	三方 裕司 ( ) <平成30年4月>
		有機化学概論Ⅰ 生物有機化学Ⅰ 生命有機化学 セミナーB-I 生命有機化学 セミナーB-II 化学生物環境学特別研究Ⅰ 化学生物環境学特別研究Ⅱ 化学生物環境学特別研究Ⅲ 化学生物環境学特別研究Ⅳ
専	教授	吉村 倫一 ( ) <平成30年4月>
		物理化学概論Ⅰ 溶液化学 ソフトマター化学 ナノ界面物性化学 物性反応物理化学 セミナーA-I 物性反応物理化学 セミナーA-II 化学生物環境学特別研究Ⅰ 化学生物環境学特別研究Ⅱ 化学生物環境学特別研究Ⅲ 化学生物環境学特別研究Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	中澤 隆 ( ) <平成30年4月>
		有機化学概論Ⅱ 有機構造化学 生命有機化学 セミナーA-I 生命有機化学 セミナーA-II 化学生物環境学特別研究Ⅰ 化学生物環境学特別研究Ⅱ 化学生物環境学特別研究Ⅲ 化学生物環境学特別研究Ⅳ
専	教授	藤井 浩 ( ) <平成30年4月>
		生物無機化学【隔年】 生物無機実験法【隔年】 生物無機化学セミナーA-I 生物無機化学セミナーA-II 化学生物環境学特別研究Ⅰ 化学生物環境学特別研究Ⅱ 化学生物環境学特別研究Ⅲ 化学生物環境学特別研究Ⅳ
専	教授	三方 裕司 ( ) <平成30年4月>
		有機化学概論Ⅰ 生物有機化学Ⅰ 生命有機化学 セミナーB-I 生命有機化学 セミナーB-II 化学生物環境学特別研究Ⅰ 化学生物環境学特別研究Ⅱ 化学生物環境学特別研究Ⅲ 化学生物環境学特別研究Ⅳ
専	教授	吉村 倫一 ( ) <平成30年4月>
		物理化学概論Ⅰ 溶液化学 ソフトマター化学 ナノ界面物性化学 物性反応物理化学 セミナーA-I 物性反応物理化学 セミナーA-II 化学生物環境学特別研究Ⅰ 化学生物環境学特別研究Ⅱ 化学生物環境学特別研究Ⅲ 化学生物環境学特別研究Ⅳ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	鍵和田 聡 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション
		生物科学個別指導
		生物科学学外研修A
		生物科学学外研修B
		生物科学学外研修C
		生物科学学外研修D
		細胞機構学特論
		細胞機構学演習Ⅰ
		細胞機構学演習Ⅱ
		細胞機構学演習Ⅲ
		細胞機構学演習Ⅳ
		細胞機構学セミナーⅠ
		細胞機構学セミナーⅡ
		グローバル生物環境科学概論Ⅰ
		グローバル生物環境科学概論Ⅱ
グローバル生物環境科学概論Ⅲ		
グローバル生物環境科学概論Ⅳ		
化学生物環境学特別研究Ⅰ		
化学生物環境学特別研究Ⅱ		
化学生物環境学特別研究Ⅲ		
化学生物環境学特別研究Ⅳ		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	鍵和田 聡 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション
		生物科学個別指導
		生物科学学外研修A
		生物科学学外研修B
		生物科学学外研修C
		生物科学学外研修D
		細胞機構学特論
		細胞機構学演習Ⅰ
		細胞機構学演習Ⅱ
		細胞機構学演習Ⅲ
		細胞機構学演習Ⅳ
		細胞機構学セミナーⅠ
		細胞機構学セミナーⅡ
		グローバル生物環境科学概論Ⅰ
		グローバル生物環境科学概論Ⅱ
グローバル生物環境科学概論Ⅲ		
グローバル生物環境科学概論Ⅳ		
化学生物環境学特別研究Ⅰ		
化学生物環境学特別研究Ⅱ		
化学生物環境学特別研究Ⅲ		
化学生物環境学特別研究Ⅳ		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	佐伯 和彦 ( ) <平成30年4月>
		分子細胞生物学概論 A
		実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション
		生物学個別指導
		生物学学外研修 A
		生物学学外研修 B
		生物学学外研修 C
		生物学学外研修 D
		細胞分子調節学特論
		細胞分子調節学演習 I
		細胞分子調節学演習 II
		細胞分子調節学演習 III
		細胞分子調節学演習 IV
		細胞分子調節学セミナー I
		細胞分子調節学セミナー II
		グローバル生物環境科学概論 I
		グローバル生物環境科学概論 II
		グローバル生物環境科学概論 III
		グローバル生物環境科学概論 IV
化学生物環境学特別研究 I		
化学生物環境学特別研究 II		
化学生物環境学特別研究 III		
化学生物環境学特別研究 IV		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	佐伯 和彦 ( ) <平成30年4月>
		分子細胞生物学概論 A
		実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション
		生物学個別指導
		生物学学外研修 A
		生物学学外研修 B
		生物学学外研修 C
		生物学学外研修 D
		細胞分子調節学特論
		細胞分子調節学演習 I
		細胞分子調節学演習 II
		細胞分子調節学演習 III
		細胞分子調節学演習 IV
		細胞分子調節学セミナー I
		細胞分子調節学セミナー II
		グローバル生物環境科学概論 I
		グローバル生物環境科学概論 II
		グローバル生物環境科学概論 III
		グローバル生物環境科学概論 IV
化学生物環境学特別研究 I		
化学生物環境学特別研究 II		
化学生物環境学特別研究 III		
化学生物環境学特別研究 IV		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	酒井 敦 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐⅠ
		学びをつむぐⅡ
		科学の文化と倫理
		実践生物学英語
		実践サイエンスコ ミュニケーション
		生物学個別指導
		生物学学外研修A
		生物学学外研修B
		生物学学外研修C
		生物学学外研修D
		植物生理学特論
		植物生理学演習Ⅰ
		植物生理学演習Ⅱ
		植物生理学演習Ⅲ
		植物生理学演習Ⅳ
		植物生理学セミナー Ⅰ
植物生理学セミナー Ⅱ		
グローバル生物環境 科学概論Ⅰ		
グローバル生物環境 科学概論Ⅱ		
グローバル生物環境 科学概論Ⅲ		
グローバル生物環境 科学概論Ⅳ		
化学生物環境学特別 研究Ⅰ		
化学生物環境学特別 研究Ⅱ		
化学生物環境学特別 研究Ⅲ		
化学生物環境学特別 研究Ⅳ		

専任・ 兼任・ 兼任 の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	酒井 敦 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐⅠ
		学びをつむぐⅡ
		科学の文化と倫理
		実践生物学英語
		実践サイエンスコ ミュニケーション
		生物学個別指導
		生物学学外研修A
		生物学学外研修B
		生物学学外研修C
		生物学学外研修D
		植物生理学特論
		植物生理学演習Ⅰ
		植物生理学演習Ⅱ
		植物生理学演習Ⅲ
		植物生理学演習Ⅳ
		植物生理学セミナー Ⅰ
植物生理学セミナー Ⅱ		
グローバル生物環境 科学概論Ⅰ		
グローバル生物環境 科学概論Ⅱ		
グローバル生物環境 科学概論Ⅲ		
グローバル生物環境 科学概論Ⅳ		
化学生物環境学特別 研究Ⅰ		
化学生物環境学特別 研究Ⅱ		
化学生物環境学特別 研究Ⅲ		
化学生物環境学特別 研究Ⅳ		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	保 智己 ( ) <平成30年4月>
		個体機能生物学概論 B 実践生物科学英語 実践サイエンスコミュニケーション 生物学個別指導 生物学学外研修 A 生物学学外研修 B 生物学学外研修 C 生物学学外研修 D 動物生理学特論 動物生理学演習 I 動物生理学演習 II 動物生理学演習 III 動物生理学演習 IV 動物生理学セミナー I 動物生理学セミナー II グローバル生物環境科学概論 I グローバル生物環境科学概論 II グローバル生物環境科学概論 III グローバル生物環境科学概論 IV 化学生物環境学特別研究 I 化学生物環境学特別研究 II 化学生物環境学特別研究 III 化学生物環境学特別研究 IV
専	教授	春本 晃江 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語 実践サイエンスコミュニケーション 生物学個別指導 生物学学外研修 A 生物学学外研修 B 生物学学外研修 C 生物学学外研修 D 原生物学特論 原生物学演習 I 原生物学演習 II 原生物学演習 III 原生物学演習 IV 原生物学セミナー I 原生物学セミナー II グローバル生物環境科学概論 I グローバル生物環境科学概論 II グローバル生物環境科学概論 III グローバル生物環境科学概論 IV 化学生物環境学特別研究 I 化学生物環境学特別研究 II 化学生物環境学特別研究 III 化学生物環境学特別研究 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	保 智己 ( ) <平成30年4月>
		個体機能生物学概論 B 実践生物科学英語 実践サイエンスコミュニケーション 生物学個別指導 生物学学外研修 A 生物学学外研修 B 生物学学外研修 C 生物学学外研修 D 動物生理学特論 動物生理学演習 I 動物生理学演習 II 動物生理学演習 III 動物生理学演習 IV 動物生理学セミナー I 動物生理学セミナー II グローバル生物環境科学概論 I グローバル生物環境科学概論 II グローバル生物環境科学概論 III グローバル生物環境科学概論 IV 化学生物環境学特別研究 I 化学生物環境学特別研究 II 化学生物環境学特別研究 III 化学生物環境学特別研究 IV
専	教授	春本 晃江 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語 実践サイエンスコミュニケーション 生物学個別指導 生物学学外研修 A 生物学学外研修 B 生物学学外研修 C 生物学学外研修 D 原生物学特論 原生物学演習 I 原生物学演習 II 原生物学演習 III 原生物学演習 IV 原生物学セミナー I 原生物学セミナー II グローバル生物環境科学概論 I グローバル生物環境科学概論 II グローバル生物環境科学概論 III グローバル生物環境科学概論 IV 化学生物環境学特別研究 I 化学生物環境学特別研究 II 化学生物環境学特別研究 III 化学生物環境学特別研究 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	安田 恵子 ( ) <平成30年4月>
		個体機能生物学概論 A
		実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション
		生物科学個別指導
		生物科学学外研修 A
		生物科学学外研修 B
		生物科学学外研修 C
		生物科学学外研修 D
		生殖生理学特論
		生殖生理学演習 I
		生殖生理学演習 II
		生殖生理学演習 III
		生殖生理学演習 IV
		生殖生理学セミナー I
		生殖生理学セミナー II
グローバル生物環境科学概論 I		
グローバル生物環境科学概論 II		
グローバル生物環境科学概論 III		
グローバル生物環境科学概論 IV		
化学生物環境学特別研究 I		
化学生物環境学特別研究 II		
化学生物環境学特別研究 III		
化学生物環境学特別研究 IV		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	安田 恵子 ( ) <平成30年4月>
		個体機能生物学概論 A
		実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション
		生物科学個別指導
		生物科学学外研修 A
		生物科学学外研修 B
		生物科学学外研修 C
		生物科学学外研修 D
		生殖生理学特論
		生殖生理学演習 I
		生殖生理学演習 II
		生殖生理学演習 III
		生殖生理学演習 IV
		生殖生理学セミナー I
		生殖生理学セミナー II
グローバル生物環境科学概論 I		
グローバル生物環境科学概論 II		
グローバル生物環境科学概論 III		
グローバル生物環境科学概論 IV		
化学生物環境学特別研究 I		
化学生物環境学特別研究 II		
化学生物環境学特別研究 III		
化学生物環境学特別研究 IV		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	遊佐 陽一 ( ) <平成30年4月>
		生態学概論A
		実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション
		生物科学個別指導
		生物科学学外研修A
		生物科学学外研修B
		生物科学学外研修C
		生物科学学外研修D
		行動生態学特論
		行動生態学演習I
		行動生態学演習II
		行動生態学演習III
		行動生態学演習IV
		行動生態学セミナーI
行動生態学セミナーII		
グローバル生物環境科学概論I		
グローバル生物環境科学概論II		
グローバル生物環境科学概論III		
グローバル生物環境科学概論IV		
化学生物環境学特別研究I		
化学生物環境学特別研究II		
化学生物環境学特別研究III		
化学生物環境学特別研究IV		
兼任	講師	土居 秀幸 ( ) <平成30年4月>
		生物科学特論D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	遊佐 陽一 ( ) <平成30年4月>
		生態学概論A
		実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション
		生物科学個別指導
		生物科学学外研修A
		生物科学学外研修B
		生物科学学外研修C
		生物科学学外研修D
		行動生態学特論
		行動生態学演習I
		行動生態学演習II
		行動生態学演習III
		行動生態学演習IV
		行動生態学セミナーI
行動生態学セミナーII		
グローバル生物環境科学概論I		
グローバル生物環境科学概論II		
グローバル生物環境科学概論III		
グローバル生物環境科学概論IV		
化学生物環境学特別研究I		
化学生物環境学特別研究II		
化学生物環境学特別研究III		
化学生物環境学特別研究IV		
		生物科学特論D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 利雄 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション
		生物科学個別指導
		生物科学学外研修A
		生物科学学外研修B
		生物科学学外研修C
		生物科学学外研修D
		個体機能学特論
		個体機能学演習Ⅰ
		個体機能学演習Ⅱ
		個体機能学演習Ⅲ
		個体機能学演習Ⅳ
		個体機能学セミナーⅠ
		個体機能学セミナーⅡ
		グローバル生物環境科学概論Ⅰ
		グローバル生物環境科学概論Ⅱ
グローバル生物環境科学概論Ⅲ		
グローバル生物環境科学概論Ⅳ		
化学生物環境学特別研究Ⅰ		
化学生物環境学特別研究Ⅱ		
化学生物環境学特別研究Ⅲ		
化学生物環境学特別研究Ⅳ		
専	教授	高須 夫悟 ( ) <平成30年4月>
		数理生態学概論
		数理生命科学特論Ⅰ
		数理生命科学特論Ⅱ
		環境科学学外研修Ⅰ
		環境科学学外研修Ⅱ
		環境科学学外研修Ⅲ
		環境科学学外研修Ⅳ
		グローバル生物環境科学概論Ⅰ
		グローバル生物環境科学概論Ⅱ
		グローバル生物環境科学概論Ⅲ
		グローバル生物環境科学概論Ⅳ
		数理生命科学セミナーⅠ
		数理生命科学セミナーⅡ
		化学生物環境学特別研究Ⅰ
		化学生物環境学特別研究Ⅱ
		化学生物環境学特別研究Ⅲ
化学生物環境学特別研究Ⅳ		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	渡邊 利雄 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション
		生物科学個別指導
		生物科学学外研修A
		生物科学学外研修B
		生物科学学外研修C
		生物科学学外研修D
		個体機能学特論
		個体機能学演習Ⅰ
		個体機能学演習Ⅱ
		個体機能学演習Ⅲ
		個体機能学演習Ⅳ
		個体機能学セミナーⅠ
		個体機能学セミナーⅡ
		グローバル生物環境科学概論Ⅰ
		グローバル生物環境科学概論Ⅱ
グローバル生物環境科学概論Ⅲ		
グローバル生物環境科学概論Ⅳ		
化学生物環境学特別研究Ⅰ		
化学生物環境学特別研究Ⅱ		
化学生物環境学特別研究Ⅲ		
化学生物環境学特別研究Ⅳ		
専	教授	高須 夫悟 ( ) <平成30年4月>
		数理生態学概論
		数理生命科学特論Ⅰ
		数理生命科学特論Ⅱ
		環境科学学外研修Ⅰ
		環境科学学外研修Ⅱ
		環境科学学外研修Ⅲ
		環境科学学外研修Ⅳ
		グローバル生物環境科学概論Ⅰ
		グローバル生物環境科学概論Ⅱ
		グローバル生物環境科学概論Ⅲ
		グローバル生物環境科学概論Ⅳ
		数理生命科学セミナーⅠ
		数理生命科学セミナーⅡ
		化学生物環境学特別研究Ⅰ
		化学生物環境学特別研究Ⅱ
		化学生物環境学特別研究Ⅲ
化学生物環境学特別研究Ⅳ		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	林田 佐智子 ( ) <平成30年4月>
		地球温暖化問題概論
		地球大気環境科学特論 I【隔年】
		地球大気環境科学特論 II【隔年】
		環境科学学外研修 I
		環境科学学外研修 II
		環境科学学外研修 III
		環境科学学外研修 IV
		グローバル生物環境科学概論 I
		グローバル生物環境科学概論 II
		グローバル生物環境科学概論 III
		グローバル生物環境科学概論 IV
		地球大気環境科学セミナー I
		地球大気環境科学セミナー II
専	教授	村松 加奈子 ( ) <平成30年4月>
		地球環境科学概論
		陸域リモートセンシング特論 I
		陸域リモートセンシング特論 II
		環境科学学外研修 I
		環境科学学外研修 II
		環境科学学外研修 III
		環境科学学外研修 IV
		グローバル生物環境科学概論 I
		グローバル生物環境科学概論 II
		グローバル生物環境科学概論 III
		グローバル生物環境科学概論 IV
		陸域リモートセンシングセミナー I
		陸域リモートセンシングセミナー II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	教授	林田 佐智子 ( ) <平成30年4月>
		地球温暖化問題概論
		地球大気環境科学特論 I【隔年】
		地球大気環境科学特論 II【隔年】
		環境科学学外研修 I
		環境科学学外研修 II
		環境科学学外研修 III
		環境科学学外研修 IV
		グローバル生物環境科学概論 I
		グローバル生物環境科学概論 II
		グローバル生物環境科学概論 III
		グローバル生物環境科学概論 IV
		地球大気環境科学セミナー I
		地球大気環境科学セミナー II
専	教授	村松 加奈子 ( ) <平成30年4月>
		地球環境科学概論
		陸域リモートセンシング特論 I
		陸域リモートセンシング特論 II
		環境科学学外研修 I
		環境科学学外研修 II
		環境科学学外研修 III
		環境科学学外研修 IV
		グローバル生物環境科学概論 I
		グローバル生物環境科学概論 II
		グローバル生物環境科学概論 III
		グローバル生物環境科学概論 IV
		陸域リモートセンシングセミナー I
		陸域リモートセンシングセミナー II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	浦 康之 ( ) <平成30年4月>
		触媒機能化学 有機合成化学セミナーB-I 有機合成化学セミナーB-II 化学生物環境学特別研究I 化学生物環境学特別研究II 化学生物環境学特別研究III 化学生物環境学特別研究IV
専	准教授	太田 靖人 ( ) <平成30年4月>
		計算分子科学 理論物理化学セミナーB-I 理論物理化学セミナーB-II 化学生物環境学特別研究I 化学生物環境学特別研究II 化学生物環境学特別研究III 化学生物環境学特別研究IV
専	准教授	高島 弘 ( ) <平成30年4月>
		光機能分子化学 生物無機化学セミナーB-I 生物無機化学セミナーB-II 化学生物環境学特別研究I 化学生物環境学特別研究II 化学生物環境学特別研究III 化学生物環境学特別研究IV 化学のための研究倫理
専	准教授	竹内 孝江 ( ) <平成30年4月>
		反応量子化学 物性反応物理化学セミナーB-I 物性反応物理化学セミナーB-II 化学生物環境学特別研究I 化学生物環境学特別研究II 化学生物環境学特別研究III 化学生物環境学特別研究IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	浦 康之 ( ) <平成30年4月>
		触媒機能化学 有機合成化学セミナーB-I 有機合成化学セミナーB-II 化学生物環境学特別研究I 化学生物環境学特別研究II 化学生物環境学特別研究III 化学生物環境学特別研究IV
専	准教授	太田 靖人 ( ) <平成30年4月>
		計算分子科学 理論物理化学セミナーB-I 理論物理化学セミナーB-II 化学生物環境学特別研究I 化学生物環境学特別研究II 化学生物環境学特別研究III 化学生物環境学特別研究IV
専	准教授	高島 弘 ( ) <平成30年4月>
		光機能分子化学 生物無機化学セミナーB-I 生物無機化学セミナーB-II 化学生物環境学特別研究I 化学生物環境学特別研究II 化学生物環境学特別研究III 化学生物環境学特別研究IV 化学のための研究倫理
専	准教授	竹内 孝江 ( ) <平成30年4月>
		反応量子化学 物性反応物理化学セミナーB-I 物性反応物理化学セミナーB-II 化学生物環境学特別研究I 化学生物環境学特別研究II 化学生物環境学特別研究III 化学生物環境学特別研究IV

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	中島 隆行 ( ) <平成30年4月>
		有機金属化学 I
		有機金属化学 II
		有機金属クラスター化学 II
		有機金属・錯体化学 セミナーB-I
		有機金属・錯体化学 セミナーB-II
		化学生物環境学特別 研究 I
		化学生物環境学特別 研究 II
化学生物環境学特別 研究 III		
化学生物環境学特別 研究 IV		
専	准教授	井田 崇 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語
		実践サイエンスコ ミュニケーション
		生物科学個別指導
		生物科学学外研修A
		生物科学学外研修B
		生物科学学外研修C
		生物科学学外研修D
		植物生態学特論
		植物生態学演習 I
		植物生態学演習 II
		植物生態学演習 III
		植物生態学演習 IV
		植物生態学セミナー I
		植物生態学セミナー II
		グローバル生物環境 科学概論 I
		グローバル生物環境 科学概論 II
グローバル生物環境 科学概論 III		
グローバル生物環境 科学概論 IV		
化学生物環境学特別 研究 I		
化学生物環境学特別 研究 II		
化学生物環境学特別 研究 III		
化学生物環境学特別 研究 IV		

専任・兼担・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	中島 隆行 ( ) <平成30年4月>
		有機金属化学 I
		有機金属化学 II
		有機金属クラスター化学 II
		有機金属・錯体化学 セミナーB-I
		有機金属・錯体化学 セミナーB-II
		化学生物環境学特別 研究 I
		化学生物環境学特別 研究 II
化学生物環境学特別 研究 III		
化学生物環境学特別 研究 IV		
専	准教授	井田 崇 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語
		実践サイエンスコ ミュニケーション
		生物科学個別指導
		生物科学学外研修A
		生物科学学外研修B
		生物科学学外研修C
		生物科学学外研修D
		植物生態学特論
		植物生態学演習 I
		植物生態学演習 II
		植物生態学演習 III
		植物生態学演習 IV
		植物生態学セミナー I
		植物生態学セミナー II
		グローバル生物環境 科学概論 I
		グローバル生物環境 科学概論 II
グローバル生物環境 科学概論 III		
グローバル生物環境 科学概論 IV		
化学生物環境学特別 研究 I		
化学生物環境学特別 研究 II		
化学生物環境学特別 研究 III		
化学生物環境学特別 研究 IV		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	岩口 伸一 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション
		生物科学個別指導
		生物科学学外研修A
		生物科学学外研修B
		生物科学学外研修C
		生物科学学外研修D
		分子微生物学特論
		分子微生物学演習Ⅰ
		分子微生物学演習Ⅱ
		分子微生物学演習Ⅲ
		分子微生物学演習Ⅳ
		分子微生物学セミナーⅠ
		分子微生物学セミナーⅡ
		グローバル生物環境科学概論Ⅰ
		グローバル生物環境科学概論Ⅱ
グローバル生物環境科学概論Ⅲ		
グローバル生物環境科学概論Ⅳ		
化学生物環境学特別研究Ⅰ		
化学生物環境学特別研究Ⅱ		
化学生物環境学特別研究Ⅲ		
化学生物環境学特別研究Ⅳ		
専	准教授	片野 泉 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション
		生物科学個別指導
		生物科学学外研修A
		生物科学学外研修B
		生物科学学外研修C
		生物科学学外研修D
		陸水生態学特論
		陸水生態学演習Ⅰ
		陸水生態学演習Ⅱ
		陸水生態学演習Ⅲ
		陸水生態学演習Ⅳ
		陸水生態学セミナーⅠ
		陸水生態学セミナーⅡ
		グローバル生物環境科学概論Ⅰ
		グローバル生物環境科学概論Ⅱ
グローバル生物環境科学概論Ⅲ		
グローバル生物環境科学概論Ⅳ		
化学生物環境学特別研究Ⅰ		
化学生物環境学特別研究Ⅱ		
化学生物環境学特別研究Ⅲ		
化学生物環境学特別研究Ⅳ		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	岩口 伸一 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション
		生物科学個別指導
		生物科学学外研修A
		生物科学学外研修B
		生物科学学外研修C
		生物科学学外研修D
		分子微生物学特論
		分子微生物学演習Ⅰ
		分子微生物学演習Ⅱ
		分子微生物学演習Ⅲ
		分子微生物学演習Ⅳ
		分子微生物学セミナーⅠ
		分子微生物学セミナーⅡ
		グローバル生物環境科学概論Ⅰ
		グローバル生物環境科学概論Ⅱ
グローバル生物環境科学概論Ⅲ		
グローバル生物環境科学概論Ⅳ		
化学生物環境学特別研究Ⅰ		
化学生物環境学特別研究Ⅱ		
化学生物環境学特別研究Ⅲ		
化学生物環境学特別研究Ⅳ		
専	准教授	片野 泉 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション
		生物科学個別指導
		生物科学学外研修A
		生物科学学外研修B
		生物科学学外研修C
		生物科学学外研修D
		陸水生態学特論
		陸水生態学演習Ⅰ
		陸水生態学演習Ⅱ
		陸水生態学演習Ⅲ
		陸水生態学演習Ⅳ
		陸水生態学セミナーⅠ
		陸水生態学セミナーⅡ
		グローバル生物環境科学概論Ⅰ
		グローバル生物環境科学概論Ⅱ
グローバル生物環境科学概論Ⅲ		
グローバル生物環境科学概論Ⅳ		
化学生物環境学特別研究Ⅰ		
化学生物環境学特別研究Ⅱ		
化学生物環境学特別研究Ⅲ		
化学生物環境学特別研究Ⅳ		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	坂口 修一 ( ) <平成30年4月>	専	准教授	坂口 修一 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語			実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション			実践サイエンスコミュニケーション
		生物科学個別指導			生物科学個別指導
		生物科学学外研修A			生物科学学外研修A
		生物科学学外研修B			生物科学学外研修B
		生物科学学外研修C			生物科学学外研修C
		生物科学学外研修D			生物科学学外研修D
		細胞調節学特論			細胞調節学特論
		細胞調節学演習Ⅰ			細胞調節学演習Ⅰ
		細胞調節学演習Ⅱ			細胞調節学演習Ⅱ
		細胞調節学演習Ⅲ			細胞調節学演習Ⅲ
		細胞調節学演習Ⅳ			細胞調節学演習Ⅳ
		細胞調節学セミナーⅠ			細胞調節学セミナーⅠ
		細胞調節学セミナーⅡ			細胞調節学セミナーⅡ
		グローバル生物環境科学概論Ⅰ			グローバル生物環境科学概論Ⅰ
		グローバル生物環境科学概論Ⅱ			グローバル生物環境科学概論Ⅱ
グローバル生物環境科学概論Ⅲ	グローバル生物環境科学概論Ⅲ				
グローバル生物環境科学概論Ⅳ	グローバル生物環境科学概論Ⅳ				
化学生物環境学特別研究Ⅰ	化学生物環境学特別研究Ⅰ				
化学生物環境学特別研究Ⅱ	化学生物環境学特別研究Ⅱ				
化学生物環境学特別研究Ⅲ	化学生物環境学特別研究Ⅲ				
化学生物環境学特別研究Ⅳ	化学生物環境学特別研究Ⅳ				
専	准教授	佐藤 宏明 ( ) <平成30年4月>	専	准教授	佐藤 宏明 ( ) <平成30年4月>
		生態学概論B			生態学概論B
		実践生物科学英語			実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション			実践サイエンスコミュニケーション
		生物科学個別指導			生物科学個別指導
		生物科学学外研修A			生物科学学外研修A
		生物科学学外研修B			生物科学学外研修B
		生物科学学外研修C			生物科学学外研修C
		生物科学学外研修D			生物科学学外研修D
		群集生態学特論			群集生態学特論
		群集生態学演習Ⅰ			群集生態学演習Ⅰ
		群集生態学演習Ⅱ			群集生態学演習Ⅱ
		群集生態学演習Ⅲ			群集生態学演習Ⅲ
		群集生態学演習Ⅳ			群集生態学演習Ⅳ
		群集生態学セミナーⅠ			群集生態学セミナーⅠ
		群集生態学セミナーⅡ			群集生態学セミナーⅡ
		グローバル生物環境科学概論Ⅰ			グローバル生物環境科学概論Ⅰ
グローバル生物環境科学概論Ⅱ	グローバル生物環境科学概論Ⅱ				
グローバル生物環境科学概論Ⅲ	グローバル生物環境科学概論Ⅲ				
グローバル生物環境科学概論Ⅳ	グローバル生物環境科学概論Ⅳ				
化学生物環境学特別研究Ⅰ	化学生物環境学特別研究Ⅰ				
化学生物環境学特別研究Ⅱ	化学生物環境学特別研究Ⅱ				
化学生物環境学特別研究Ⅲ	化学生物環境学特別研究Ⅲ				
化学生物環境学特別研究Ⅳ	化学生物環境学特別研究Ⅳ				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	杉浦 真由美 ( ) <平成30年4月>	専	准教授	杉浦 真由美 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語			実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション			実践サイエンスコミュニケーション
		生物科学個別指導			生物科学個別指導
		生物科学学外研修A			生物科学学外研修A
		生物科学学外研修B			生物科学学外研修B
		生物科学学外研修C			生物科学学外研修C
		生物科学学外研修D			生物科学学外研修D
		細胞情報学特論			細胞情報学特論
		細胞情報学演習I			細胞情報学演習I
		細胞情報学演習II			細胞情報学演習II
		細胞情報学演習III			細胞情報学演習III
		細胞情報学演習IV			細胞情報学演習IV
		細胞情報学セミナーI			細胞情報学セミナーI
		細胞情報学セミナーII			細胞情報学セミナーII
		グローバル生物環境科学概論I			グローバル生物環境科学概論I
		グローバル生物環境科学概論II			グローバル生物環境科学概論II
		グローバル生物環境科学概論III			グローバル生物環境科学概論III
		グローバル生物環境科学概論IV			グローバル生物環境科学概論IV
化学生物環境学特別研究I	化学生物環境学特別研究I				
化学生物環境学特別研究II	化学生物環境学特別研究II				
化学生物環境学特別研究III	化学生物環境学特別研究III				
化学生物環境学特別研究IV	化学生物環境学特別研究IV				
専	准教授	奈良 久美 ( ) <平成30年4月>	専	准教授	奈良 久美 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語			実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション			実践サイエンスコミュニケーション
		生物科学個別指導			生物科学個別指導
		生物科学学外研修A			生物科学学外研修A
		生物科学学外研修B			生物科学学外研修B
		生物科学学外研修C			生物科学学外研修C
		生物科学学外研修D			生物科学学外研修D
		植物環境応答学特論			植物環境応答学特論
		植物環境応答学演習I			植物環境応答学演習I
		植物環境応答学演習II			植物環境応答学演習II
		植物環境応答学演習III			植物環境応答学演習III
		植物環境応答学演習IV			植物環境応答学演習IV
		植物環境応答学セミナーI			植物環境応答学セミナーI
		植物環境応答学セミナーII			植物環境応答学セミナーII
		グローバル生物環境科学概論I			グローバル生物環境科学概論I
		グローバル生物環境科学概論II			グローバル生物環境科学概論II
		グローバル生物環境科学概論III			グローバル生物環境科学概論III
		グローバル生物環境科学概論IV			グローバル生物環境科学概論IV
化学生物環境学特別研究I	化学生物環境学特別研究I				
化学生物環境学特別研究II	化学生物環境学特別研究II				
化学生物環境学特別研究III	化学生物環境学特別研究III				
化学生物環境学特別研究IV	化学生物環境学特別研究IV				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名			担当授業科目名
専	准教授	西井 一郎 ( ) <平成30年4月>	専	准教授	西井 一郎 ( ) <平成30年4月>
		分子細胞生物学概論 B			分子細胞生物学概論 B
		実践生物科学英語			実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション			実践サイエンスコミュニケーション
		生物学個別指導			生物学個別指導
		生物学学外研修 A			生物学学外研修 A
		生物学学外研修 B			生物学学外研修 B
		生物学学外研修 C			生物学学外研修 C
		生物学学外研修 D			生物学学外研修 D
		細胞生物学特論			細胞生物学特論
		細胞生物学演習 I			細胞生物学演習 I
		細胞生物学演習 II			細胞生物学演習 II
		細胞生物学演習 III			細胞生物学演習 III
		細胞生物学演習 IV			細胞生物学演習 IV
		細胞生物学セミナー I			細胞生物学セミナー I
		細胞生物学セミナー II			細胞生物学セミナー II
		グローバル生物環境科学概論 I			グローバル生物環境科学概論 I
グローバル生物環境科学概論 II	グローバル生物環境科学概論 II				
グローバル生物環境科学概論 III	グローバル生物環境科学概論 III				
グローバル生物環境科学概論 IV	グローバル生物環境科学概論 IV				
化学生物環境学特別研究 I	化学生物環境学特別研究 I				
化学生物環境学特別研究 II	化学生物環境学特別研究 II				
化学生物環境学特別研究 III	化学生物環境学特別研究 III				
化学生物環境学特別研究 IV	化学生物環境学特別研究 IV				

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	吉川 尚男 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション
		生物科学個別指導
		生物科学学外研修A
		生物科学学外研修B
		生物科学学外研修C
		生物科学学外研修D
		分子細胞情報学特論
		分子細胞情報学演習I
		分子細胞情報学演習II
		分子細胞情報学演習III
		分子細胞情報学演習IV
		分子細胞情報学セミナーI
分子細胞情報学セミナーII		
兼任	講師	松尾 和彦 ( ) <平成30年4月>
		生物科学特論C

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	吉川 尚男 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語
		実践サイエンスコミュニケーション
		生物科学個別指導
		生物科学学外研修A
		生物科学学外研修B
		生物科学学外研修C
		生物科学学外研修D
		分子細胞情報学特論
		分子細胞情報学演習I
		分子細胞情報学演習II
		分子細胞情報学演習III
		分子細胞情報学演習IV
		分子細胞情報学セミナーI
分子細胞情報学セミナーII		
兼任	講師	松尾 和彦 ( ) <平成30年4月>
		生物科学特論C

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	久慈 誠 ( ) <平成30年4月>
		地球環境科学概論
		環境気象学特論 I
		環境気象学特論 II
		環境科学学外研修 I
		環境科学学外研修 II
		環境科学学外研修 III
		環境科学学外研修 IV
		グローバル生物環境科学概論 I
		グローバル生物環境科学概論 II
		グローバル生物環境科学概論 III
		グローバル生物環境科学概論 IV
		環境気象学セミナー I
		環境気象学セミナー II
専	准教授	高橋 智 ( ) <平成30年4月>
		数理生態学概論
		理論生物学特論 I
		理論生物学特論 II
		環境科学学外研修 I
		環境科学学外研修 II
		環境科学学外研修 III
		環境科学学外研修 IV
		グローバル生物環境科学概論 I
		グローバル生物環境科学概論 II
		グローバル生物環境科学概論 III
		グローバル生物環境科学概論 IV
		理論生物学セミナー I
		理論生物学セミナー II
専	助教	中前 佳那子 ( ) <平成30年4月>
		分子性金属鎖の化学
		有機金属・錯体化学セミナー C-I
		有機金属・錯体化学セミナー C-II
		化学生物環境学特別研究 I
		化学生物環境学特別研究 II
		化学生物環境学特別研究 III
		化学生物環境学特別研究 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	准教授	久慈 誠 ( ) <平成30年4月>
		地球環境科学概論
		環境気象学特論 I
		環境気象学特論 II
		環境科学学外研修 I
		環境科学学外研修 II
		環境科学学外研修 III
		環境科学学外研修 IV
		グローバル生物環境科学概論 I
		グローバル生物環境科学概論 II
		グローバル生物環境科学概論 III
		グローバル生物環境科学概論 IV
		環境気象学セミナー I
		環境気象学セミナー II
専	准教授	高橋 智 ( ) <平成30年4月>
		数理生態学概論
		理論生物学特論 I
		理論生物学特論 II
		環境科学学外研修 I
		環境科学学外研修 II
		環境科学学外研修 III
		環境科学学外研修 IV
		グローバル生物環境科学概論 I
		グローバル生物環境科学概論 II
		グローバル生物環境科学概論 III
		グローバル生物環境科学概論 IV
		理論生物学セミナー I
		理論生物学セミナー II
専	助教	中前 佳那子 ( ) <平成30年4月>
		分子性金属鎖の化学
		有機金属・錯体化学セミナー C-I
		有機金属・錯体化学セミナー C-II
		化学生物環境学特別研究 I
		化学生物環境学特別研究 II
		化学生物環境学特別研究 III
		化学生物環境学特別研究 IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	本田 裕樹 ( ) <平成30年4月>
		生物環境化学 生物無機化学セミナーC-I 生物無機化学セミナーC-II 化学生物環境学特別研究I 化学生物環境学特別研究II 化学生物環境学特別研究III 化学生物環境学特別研究IV
専	助教	松本 有正 ( ) <平成30年4月>
		生物有機化学II 生命有機化学セミナーC-I 生命有機化学セミナーC-II 化学生物環境学特別研究I 化学生物環境学特別研究II 化学生物環境学特別研究III 化学生物環境学特別研究IV
専	助教	川野 絵美 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語 実践サイエンスコミュニケーション 生物科学個別指導 生物科学学外研修A 生物科学学外研修B 生物科学学外研修C 生物科学学外研修D 動物環境応答学特論 動物環境応答学演習I 動物環境応答学演習II 動物環境応答学演習III 動物環境応答学演習IV 動物環境応答学セミナーI 動物環境応答学セミナーII グローバル生物環境科学概論I グローバル生物環境科学概論II グローバル生物環境科学概論III グローバル生物環境科学概論IV 化学生物環境学特別研究I 化学生物環境学特別研究II 化学生物環境学特別研究III 化学生物環境学特別研究IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	本田 裕樹 ( ) <平成30年4月>
		生物環境化学 生物無機化学セミナーC-I 生物無機化学セミナーC-II 化学生物環境学特別研究I 化学生物環境学特別研究II 化学生物環境学特別研究III 化学生物環境学特別研究IV
専	助教	松本 有正 ( ) <平成30年4月>
		生物有機化学II 生命有機化学セミナーC-I 生命有機化学セミナーC-II 化学生物環境学特別研究I 化学生物環境学特別研究II 化学生物環境学特別研究III 化学生物環境学特別研究IV
専	助教	川野 絵美 ( ) <平成30年4月>
		実践生物科学英語 実践サイエンスコミュニケーション 生物科学個別指導 生物科学学外研修A 生物科学学外研修B 生物科学学外研修C 生物科学学外研修D 動物環境応答学特論 動物環境応答学演習I 動物環境応答学演習II 動物環境応答学演習III 動物環境応答学演習IV 動物環境応答学セミナーI 動物環境応答学セミナーII グローバル生物環境科学概論I グローバル生物環境科学概論II グローバル生物環境科学概論III グローバル生物環境科学概論IV 化学生物環境学特別研究I 化学生物環境学特別研究II 化学生物環境学特別研究III 化学生物環境学特別研究IV

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	瀬戸 蘭美 ( ) <平成30年4月>
		現代環境科学論
		生物地球化学特論 I 【隔年】
		生物地球化学特論 II 【隔年】
		環境科学学外研修 I
		環境科学学外研修 II
		環境科学学外研修 III
		環境科学学外研修 IV
		グローバル生物環境科学概論 I
		グローバル生物環境科学概論 II
		グローバル生物環境科学概論 III
		グローバル生物環境科学概論 IV
		生物地球化学セミナー I
生物地球化学セミナー II		
化学生物環境学特別研究 I		
化学生物環境学特別研究 II		
化学生物環境学特別研究 III		
化学生物環境学特別研究 IV		
専	助教	野口 克行 ( ) <平成30年4月>
		地球環境科学概論
		地球惑星大気科学特論 I
		地球惑星大気科学特論 II
		環境科学学外研修 I
		環境科学学外研修 II
		環境科学学外研修 III
		環境科学学外研修 IV
		グローバル生物環境科学概論 I
		グローバル生物環境科学概論 II
		グローバル生物環境科学概論 III
		グローバル生物環境科学概論 IV
		地球惑星大気科学セミナー I
地球惑星大気科学セミナー II		
化学生物環境学特別研究 I		
化学生物環境学特別研究 II		
化学生物環境学特別研究 III		
化学生物環境学特別研究 IV		
兼任	教授	西村 拓生 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐ I 学びをつむぐ II
兼任	教授	高田 将志 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐ I 学びをつむぐ II
兼任	教授	駒谷 昇一 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐ I 学びをつむぐ II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
専	助教	瀬戸 蘭美 ( ) <平成30年4月>
		現代環境科学論
		生物地球化学特論 I 【隔年】
		生物地球化学特論 II 【隔年】
		環境科学学外研修 I
		環境科学学外研修 II
		環境科学学外研修 III
		環境科学学外研修 IV
		グローバル生物環境科学概論 I
		グローバル生物環境科学概論 II
		グローバル生物環境科学概論 III
		グローバル生物環境科学概論 IV
		生物地球化学セミナー I
生物地球化学セミナー II		
化学生物環境学特別研究 I		
化学生物環境学特別研究 II		
化学生物環境学特別研究 III		
化学生物環境学特別研究 IV		
専	助教	野口 克行 ( ) <平成30年4月>
		地球環境科学概論
		地球惑星大気科学特論 I
		地球惑星大気科学特論 II
		環境科学学外研修 I
		環境科学学外研修 II
		環境科学学外研修 III
		環境科学学外研修 IV
		グローバル生物環境科学概論 I
		グローバル生物環境科学概論 II
		グローバル生物環境科学概論 III
		グローバル生物環境科学概論 IV
		地球惑星大気科学セミナー I
地球惑星大気科学セミナー II		
化学生物環境学特別研究 I		
化学生物環境学特別研究 II		
化学生物環境学特別研究 III		
化学生物環境学特別研究 IV		
兼任	教授	西村 拓生 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐ I 学びをつむぐ II
兼任	教授	高田 将志 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐ I 学びをつむぐ II
兼任	教授	駒谷 昇一 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐ I 学びをつむぐ II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	宮路 淳子 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	講師	山下 正廣 ( ) <平成30年4月>
		無機化学特論A【隔年】
兼任	講師	福住 俊一 ( ) <平成30年4月>
		無機化学特論B【隔年】
兼任	講師	山下 誠 ( ) <平成30年4月>
		有機化学特論A【隔年】
兼任	講師	川上 徹 ( ) <平成30年4月>
		有機化学特論A【隔年】
兼任	講師	松原 誠二郎 ( ) <平成30年4月>
		有機化学特論B【隔年】
兼任	講師	伊東 忍 ( ) <平成30年4月>
		有機化学特論B【隔年】
兼任	講師	玉田 薫 ( ) <平成30年4月>
		物理化学特論A【隔年】
兼任	講師	松岡 圭介 ( ) <平成30年4月>
		物理化学特論B【隔年】
兼任	講師	湯浅 創 ( ) <平成30年4月>
		生物科学特論A
兼任	講師	角山 雄一 ( ) <平成30年4月>
		生物科学特論B
兼任	講師	島田 政信 ( ) <平成30年4月>
		環境科学特別講義A
兼任	講師	坂井 陽一 ( ) <平成30年4月>
		環境科学特別講義B
兼任	講師	榎本 剛 ( ) <平成30年4月>
		環境科学特別講義C
兼任	講師	巖佐 庸 ( ) <平成30年4月>
		環境科学特別講義D

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月>
		担当授業科目名
兼任	教授	宮路 淳子 ( ) <平成30年4月>
		学びをつむぐⅠ 学びをつむぐⅡ
兼任	講師	山下 正廣 ( ) <平成30年4月>
		無機化学特論A【隔年】
兼任	講師	福住 俊一 ( ) <平成30年4月>
		無機化学特論B【隔年】
兼任	講師	山下 誠 ( ) <平成30年4月>
		有機化学特論A【隔年】
兼任	講師	川上 徹 ( ) <平成30年4月>
		有機化学特論A【隔年】
兼任	講師	松原 誠二郎 ( ) <平成30年4月>
		有機化学特論B【隔年】
兼任	講師	伊東 忍 ( ) <平成30年4月>
		有機化学特論B【隔年】
兼任	講師	玉田 薫 ( ) <平成30年4月>
		物理化学特論A【隔年】
兼任	講師	松岡 圭介 ( ) <平成30年4月>
		物理化学特論B【隔年】
兼任	講師	湯浅 創 ( ) <平成30年4月>
		生物科学特論A
兼任	講師	角山 雄一 ( ) <平成30年4月>
		生物科学特論B
兼任	講師	島田 政信 ( ) <平成30年4月>
		環境科学特別講義A
兼任	講師	坂井 陽一 ( ) <平成30年4月>
		環境科学特別講義B
兼任	講師	榎本 剛 ( ) <平成30年4月>
		環境科学特別講義C
兼任	講師	巖佐 庸 ( ) <平成30年4月>
		環境科学特別講義D

- (注) ・ 申請書又は届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。  
・ 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。  
その上で、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。  
・ 年齢は、それぞれの年度の5月1日時点の満年齢を記入してください。  
・ 専任、兼任、兼任の順に記入してください。  
・ 不要な年度(平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度)の表は適宜削除し、結めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【平成30年度】

- ・教養科目においては、より専門分野を超えてものを俯瞰する力を培うため、杉山晋平 兼任教員就任。
- ・授業科目の充実のため、兼任教員である土居秀幸より、専任教員の遊佐陽一教授に変更。
- ・授業科目の充実のため、兼任教員である松尾和彦より、専任教員の吉川尚男准教授に変更。

- (注)
- ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
  - ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
  - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
  - ・ 不要な年度（平成28年度開設であれば平成27年度、平成29年度開設であれば平成27年度及び平成28年度、平成30年度開設であれば平成27年度から平成29年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数	完成年度時における 設置基準上の必要研究 指導補助教員数
4	3	3
名	名	名

(注) ・ 大学院に専攻ごとに置くものとする教員の数について定める件(平成十一年九月十四日文部省告示第百七十五号)により算出される教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員数

設置時の計画					現在(報告書提出時)の状況					現在(報告書提出時)の完成年度時の計画				
教授	准教授	講師	助教	計(A)	教授	准教授	講師	助教	計(B)	教授	准教授	講師	助教	計(C)
19	16	0	6	41	19	16	0	6	41	19	16	0	6	41
(19)	(16)	(0)	(6)	(41)						[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]
研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数			研究指導教員 数	研究指導補助 教員数	講義のみ担当 の教員数		
34	1	0			34	1	0			34	1	0		
(34)	(1)	(0)								[ 0 ]	[ 0 ]	[ 0 ]		

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、( )内に開設時の状況を記入してください。  
 ・ 「現在(報告書提出時)の状況」には、報告書提出年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。  
 ・ 「**現在(報告書提出時)の完成年度時の計画**」には、「**現在(報告書提出時)の状況**」に記入した数字に、**教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入**するとともに、[ ]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: △1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告書提出時(上 記(B))の教員 のうち、定年を延 長して採用してい る教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、および、平成30年5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数および完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。  
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。  
 ・ 専門職大学院の場合は、「研究指導教員」を「研究者教員」と、「研究指導補助教員」を「実務家教員」と修正して記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在(報告書提出時)の完成年度時の計画(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{41}{41} = \boxed{100.00} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告書提出時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告書提出時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告書提出時)の状況(B)}} = \frac{0}{41} = \boxed{0.00} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) -① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由	
		該当なし					
合計 (D)				後任補充状況の集計 (E)			
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。  
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) -②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		該当なし					
合計 (F)				後任補充状況の集計 (G)			
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

- (注) ・ 一度就任した後に、**定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員**について記入してください。  
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および（ ）書きで報告年度を記入してください。  
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」  
 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」  
 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) -③ 上記 (3) -① ・ (3) -② の合計

合計 (D) + (F)				後任補充状況の集計 (E) + (G)			
辞任等した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
		選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
		自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
		計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) -④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{0}{41} = 0.00 \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) -⑤ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合計				後任補充状況の集計						
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ **定年により退職した全ての専任教員**について記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等および( )書きで報告年度を記入してください。
  - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- |   |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」</li> <li>・ 兼任兼任教員が担当する(している)場合は「②」</li> <li>・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」</li> </ul> |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
該当なし			

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時（認可時又は届出時）に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、**当該大学に付された意見を全て記入**するとともに、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 「履行状況」では、履行途中であれば「未履行」、履行済みであれば「履行済」を選択してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。
  - ・ 「設置計画履行状況調査時」の（年月）には、調査結果を公表した月（通常2月）を記入してください。（実地調査や面接調査を実施した日ではありません。）

## 7 その他全般的事項

<人間文化研究科 化学生物環境学専攻>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
該当なし	

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 人間文化研究科FD委員会</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 年数回開催</p> <p>c 委員会の審議事項等 大学院におけるFDの実施及び実施体制に関すること FDの評価に関すること その他FDに関する事項</p> <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容 大学院FD活動の作成 FD研修会の実施</p> <p>b 実施方法 人間文化研究科で実施する</p> <p>c 開催状況（教員の参加状況含む） 年1回実施</p> <p>d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況 学生アンケートについて、結果を大学院担当教員にフィードバックしている</p> <p>③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況</p> <p>a 実施の有無及び実施時期 学年末に学生アンケートを実施</p> <p>b 教員や学生への公開状況、方法等 人間文化研究科FD活動報告を含めたFD活動実績報告書を教員に配付するとともに、学生には学術情報処理センターにおいて閲覧可能にしている</p>
---

(注) ・ 「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的等、設置計画どおりに実施している。今後も引き続き、設置の趣旨・目的に沿って教育・研究活動を計画どおり実施することとしている。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成31年8月末 公表予定

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

平成31年度に評価機関（独立行政法人大学改革支援・学位授与機構）による大学機関別認証評価を受審予定である。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表（予定）の有無 (  有  無 )

b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期 ( 平成30年 6月 30日 )

(注) ・ 「a ホームページに公表（予定）有無」には、5月1日時点で公表している場合、もしくは、今後公表する予定の場合は、「有」にマルを記入してください。今後も公表する予定がない場合は、「無」にマルを記入してください。

・ 「b 公表（予定）有の場合の公表（予定）時期」には、「a ホームページに公表（予定）有無」で「有」にマルを記入した場合のみ、時期を記入してください。